

第2次赤磐市総合計画策定のための 市民アンケート調査 － 報告書 －

平成26年10月
岡山県 赤磐市

～ 目 次 ～

I 調査の概要	1
II 回答者の属性	3
III 調査結果	13
【1】赤磐市のまちについて	13
1. 赤磐市の情報源	13
2. 赤磐市に対する愛着度	14
3. 赤磐市の暮らしやすさ	15
4. 赤磐市への永住意向	17
5. 住みたくない理由	19
【2】赤磐市の取り組みについて	20
1. 本市の取り組みに対する満足度と重要度	20
(1) 満足度	21
(2) 重要度	29
(3) 満足度と重要度の相関図による分析	37
【3】赤磐市の今後のまちづくりについて	39
1. 市民主体の活動への参加状況と参加意向	39
2. 赤磐市にふさわしいキーワードについて	41
3. 赤磐市の今後のまちづくりについて	43
4. 住民の活動への参画が活発なまちづくりに必要な取り組み	45
5. 自然と共生したまちづくりに必要な取り組み	47
6. 防災体制が充実したまちづくりに必要な取り組み	49
7. 保健、医療、福祉が充実したまちづくりに必要な取り組み	51
8. 産業が盛んなまちづくりに必要な取り組み	53
9. 教育、文化を大切にしたまちづくりに必要な取り組み	55
10. 赤磐市を良くするためのまちづくりを進める方法	57

資料／調査票

I 調査の概要

【調査の目的】

本市では、まちづくり全体の方針を定める「第2次赤磐市総合計画」の策定にあたって、市民の皆さまからのご意見をいただき、その結果を活かすことを目的としてアンケート調査を実施しました。

【調査対象】

18歳以上の市民（住民基本台帳による無作為抽出）

【調査方法】

郵送配布、郵送回収

【調査時期】

平成26年（2014年）6月

【回収結果】

発送数-----2,800件

有効回収数-----1,268件

有効回収率-----45.3%

【居住地域別回収数】

◆居住地域別回収状況（上段：件数、下段：構成比％）◆

合計	山陽 小学校区	山陽西 小学校区	山陽東 小学校区	山陽北 小学校区	桜が丘 小学校区	赤坂地域 小学校区	熊山地域 小学校区	吉井地域 小学校区	無回答
1,268	263	160	129	174	124	129	125	124	40
100.0	20.7	12.6	10.2	13.7	9.8	10.2	9.9	9.8	3.2

【報告書の見方について】

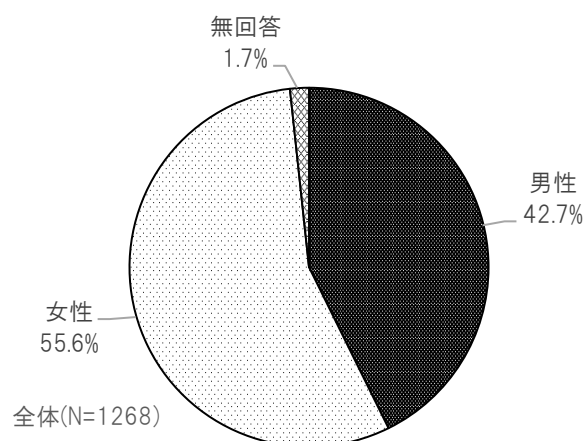
- (1) 集計は小数点以下第2位を四捨五入しています。従って回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合があります。
- (2) 2つ以上の回答が可能な複数回答質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合があります。
- (3) 数表、図表、文中に示すNは、比率算出上の基数（標本数）です。全標本数を示す「全体」を「N」、該当数※を「n」で表記しています。
- (4) 図表中における年齢別などのクロス集計結果については、該当する属性等の設問に対する無回答者（例えば、年齢別でクロス集計する場合における年齢の無回答者）を除いて表記しているため、属性ごとの基数の合計と全体の基数は同じにならない場合があります。
- (5) 図表中においては見やすさを考慮し、回答割合が極端に少ない数値（例：0.0%、0.1%など）は、図と干渉して見えにくい場合などに省略している場合があります。また、複数回答の図表中においては、見やすさを考慮し、回答割合の高い順に並べ替えて表記している場合があります。
- (6) この他、個別に参照事項がある場合は、本報告書の該当箇所に適宜記載しています。

※（例）問Aで1と回答した人のみが、問Bを答える場合の問Bの基数、あるいはクロス集計における各属性（「男性」や「20歳代」・・・）など、限定された回答者数

Ⅱ 回答者の属性

1. 性別構成

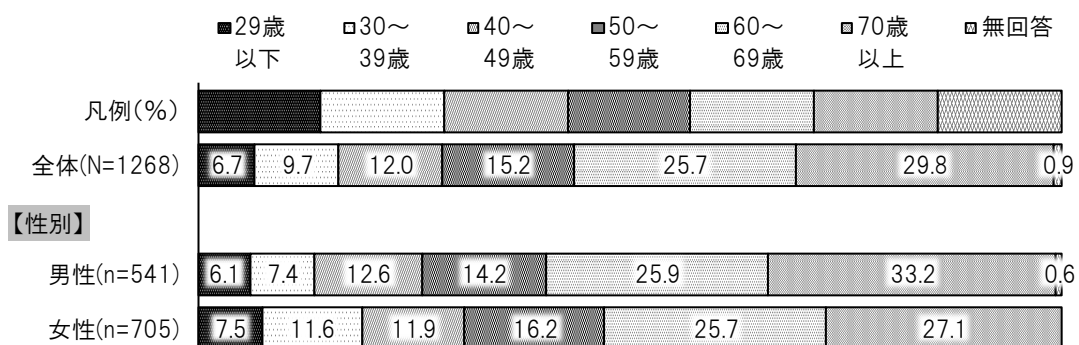
回答者の性別構成は、「男性」が42.7%、「女性」が55.6%となっています。



2. 年齢別構成

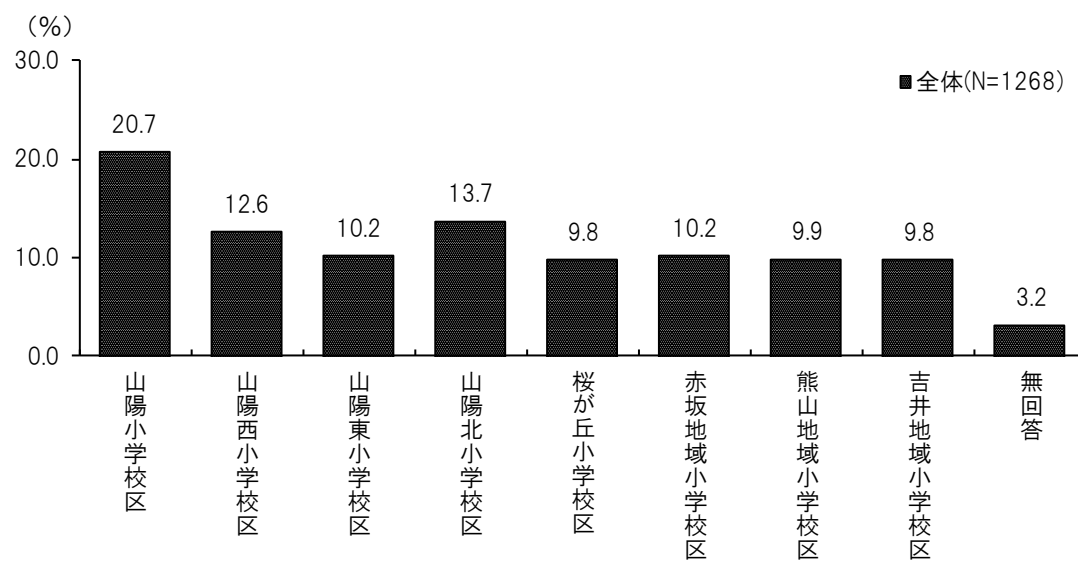
年齢別構成は、「70歳以上」が29.8%と最も高く、次いで「60～69歳」(25.7%)、「50～59歳」(15.2%)の順で、『50歳以上(合計)』で全体の7割(70.7%)を占めています。

性別では、男性は女性に比べ70歳以上の年齢層がやや多くなっていますが、大きな差は目立ちません。



3. 居住地域別構成

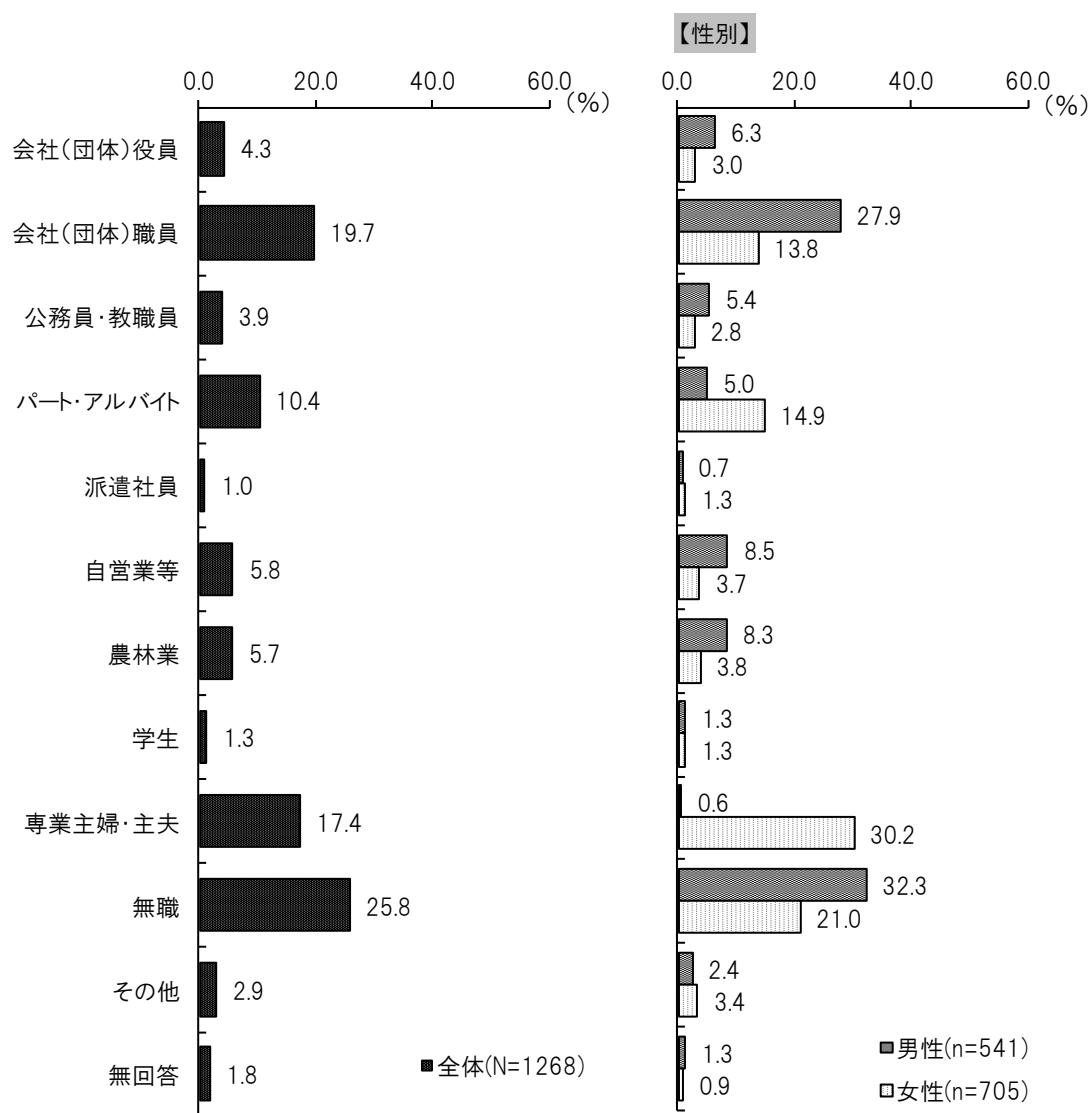
居住地域別構成は、「山陽小学校区」が 20.7%と最も高く、次いで「山陽北小学校区」(13.7%)、「山陽西小学校区」(12.6%) の順となっています。



4. 職業別構成

職業別構成については、「無職」の割合が 25.8%と最も高く、次いで「会社（団体）職員」（19.7%）、「専業主婦・主夫」（17.4%）、「パート・アルバイト」（10.4%）の順となっています。

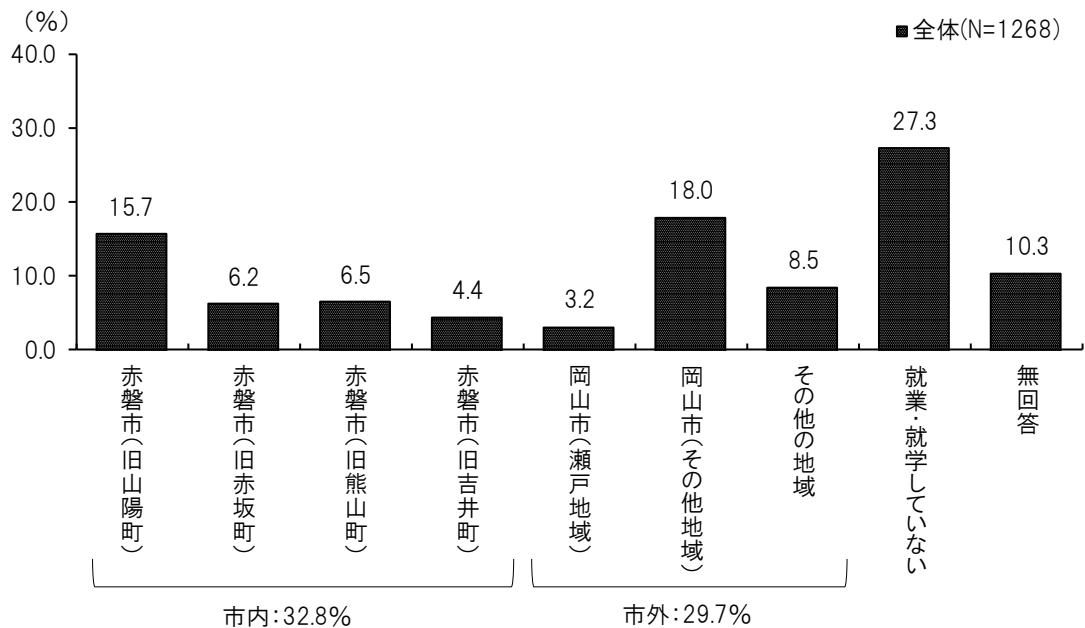
性別でみると、男性は女性に比べ「会社（団体）職員」「無職」などの割合が高く、女性は「パート・アルバイト」「専業主婦・主夫」の割合が高くなっています。



5. 就業・就学地域別構成

就業・就学地域別構成は、「就学・勤務はしていない」が3割近く（27.3%）を占めるものの、「岡山市（その他地域）」が18.0%、「赤磐市（旧山陽町）」が15.7%となっています。また、『市内』の合計は32.8%、『市外』の合計は29.7%となっています。

居住地域別でみると、山陽小学校区で「赤磐市（旧山陽町）」、赤坂地域小学校区で「赤磐市（旧赤坂町）」、熊山地域小学校区で「赤磐市（旧熊山町）」の割合が他の地域に比べて高くなっています。また、山陽西小学校区で「就業・就学していない」の割合が他の地域に比べて高くなっています。

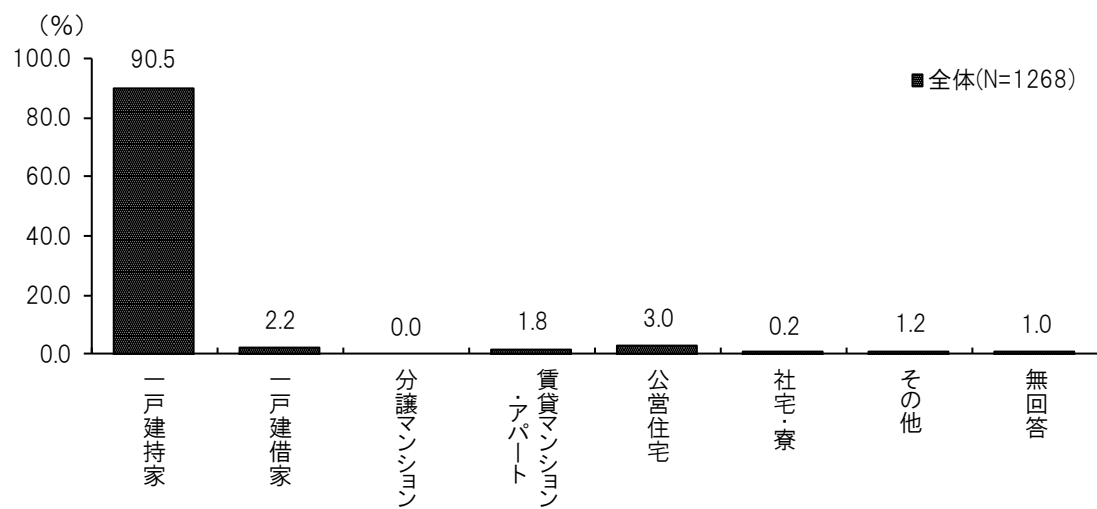


単位(%)		赤磐市 (旧山陽町)	赤磐市 (旧赤坂町)	赤磐市 (旧熊山町)	赤磐市 (旧吉井町)	岡山市 (瀬戸地域)	岡山市 (その他地域)	その他の地域	就業・就学 していない
全体(N=1268)		15.7	6.2	6.5	4.4	3.2	18.0	8.5	27.3
居住地域別	山陽小学校区(n=263)	35.7	2.3	2.7	0.0	3.0	17.1	5.7	24.7
	山陽西小学校区(n=160)	18.8	0.6	0.6	0.6	5.6	17.5	5.6	41.3
	山陽東小学校区(n=129)	15.5	2.3	4.7	0.0	1.6	25.6	10.1	29.5
	山陽北小学校区(n=174)	16.7	2.9	0.6	0.6	2.3	24.7	14.9	31.0
	桜が丘小学校区(n=124)	5.6	3.2	12.9	0.8	5.6	26.6	6.5	24.2
	赤坂地域小学校区(n=129)	3.9	39.5	1.6	2.3	2.3	9.3	5.4	31.0
	熊山地域小学校区(n=125)	2.4	4.0	35.2	1.6	4.0	16.0	10.4	16.8
	吉井地域小学校区(n=124)	4.0	1.6	1.6	37.1	2.4	8.1	8.9	21.0

注：表中の「網掛け」は、クロス集計において最も割合が高い地域を示しています。
また「無回答」は表記から省略しています。

6. 住居形態別構成

居住形態別構成は、「一戸建持家」が90.5%と大半を占めています。

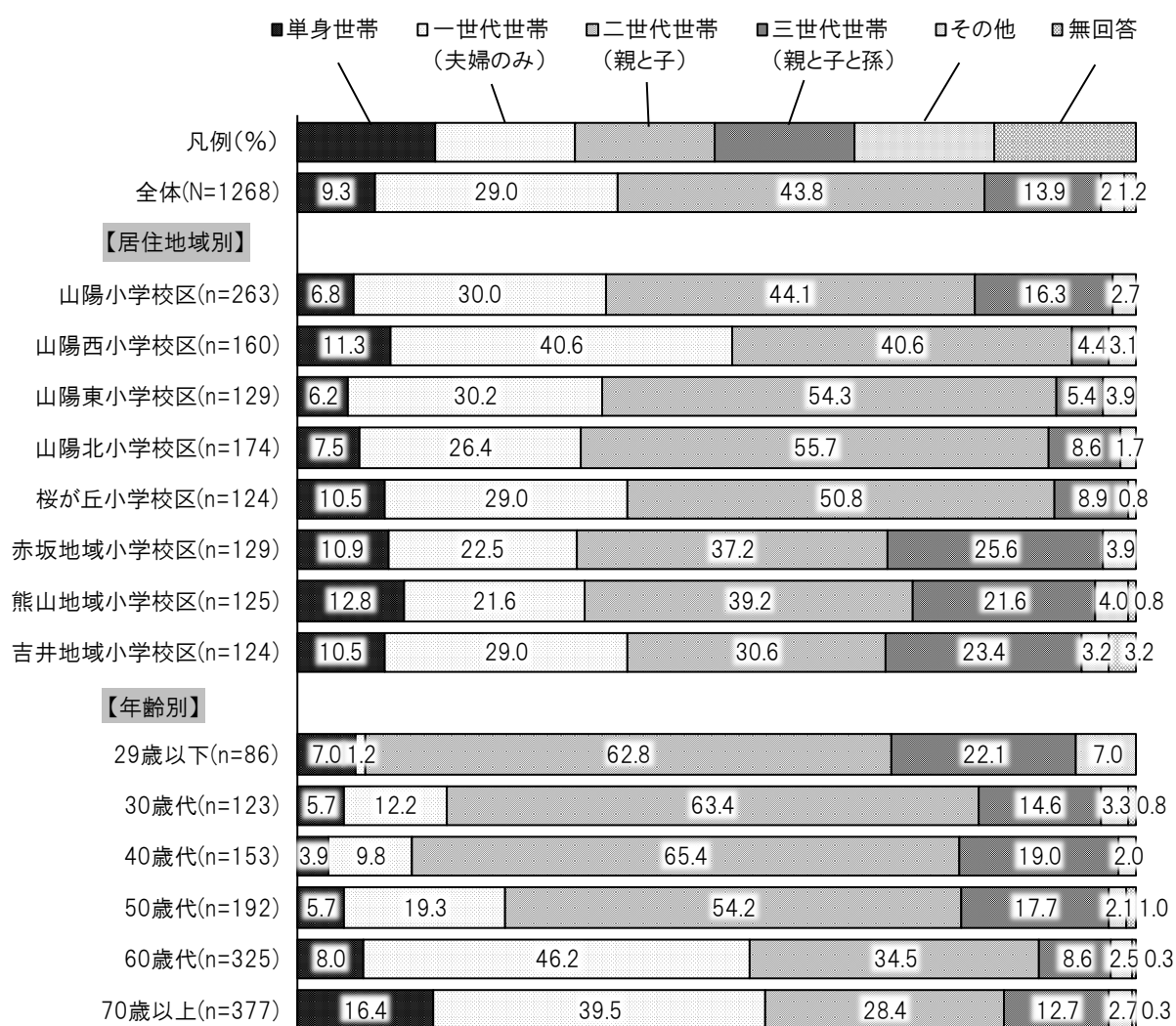


7. 家族別構成

家族別構成は、「二世世代世帯（親と子）」が43.8%と最も高く、次いで「一世世代世帯（夫婦のみ）」（29.0%）、「三世世代世帯（親と子と孫）」（13.9%）の順となっています。

居住地域別でみると、山陽東小学校区、山陽北小学校区、桜が丘小学校区で「二世世代世帯（親と子）」が過半数を占め、他の地域に比べて高くなっています。

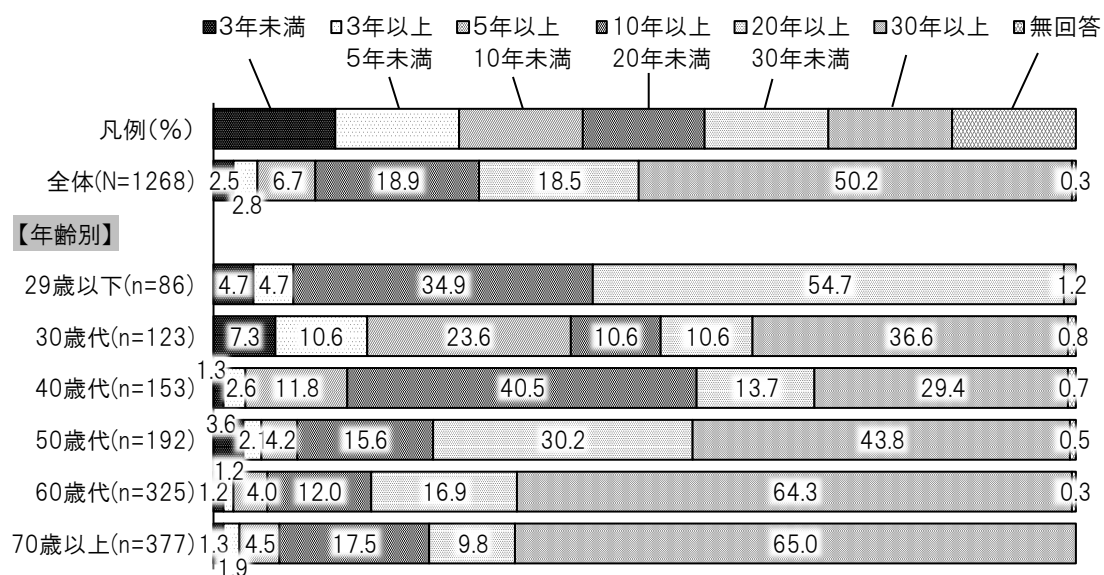
年齢別でみると、50歳代までは「二世世代世帯（親と子）」が過半数を占めています。また、60歳以上で「一世世代世帯（夫婦のみ）」の割合が他の年齢層に比べて高く、70歳以上では「単身世帯」の割合もやや高くなっています。



8. 居住年数別構成

居住年数別構成は、「30 年以上」が 50.2%と半数を占めて最も高く、次いで「10 年以上 20 年未満」(18.9%)、「20 年以上 30 年未満」(18.5%) の順となっています。

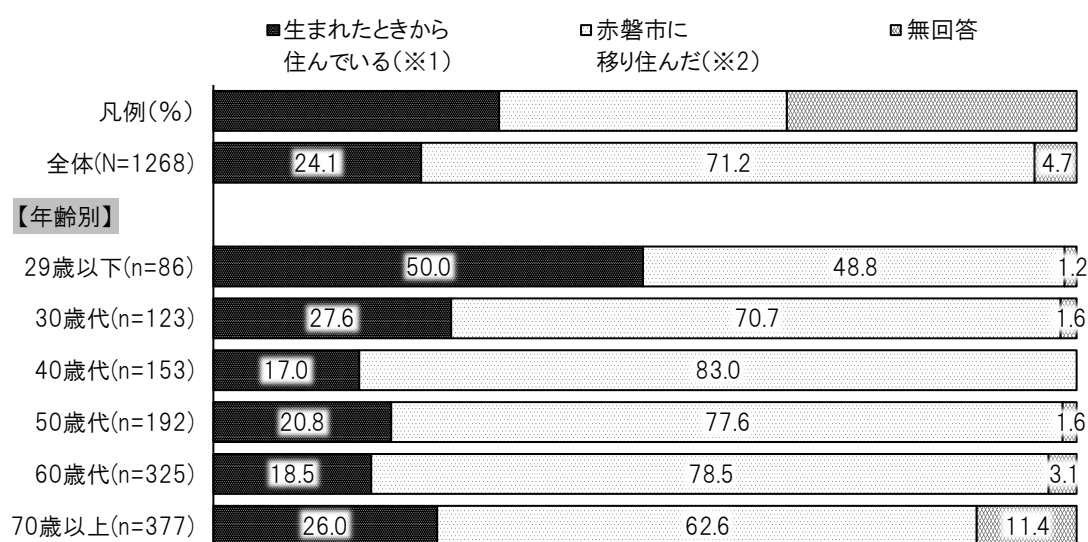
年齢別でみると、29 歳以下で「20 年以上 30 年未満」、30 歳代で「5 年以上 10 年未満」、40 歳代で「10 年以上 20 年未満」、60 歳以上で「30 年以上」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっています。



9. 転入有無別構成

転入有無別構成は、「生まれたときからずっと赤磐市に住んでいる」が24.1%、「生まれてから今までの間に赤磐市に移り住んだ（Ｕターンを含む）」が71.2%となっています。

年齢別でみると、29歳以下は「生まれたときからずっと赤磐市に住んでいる」が半数を占めていますが、30歳以上は6割以上が「生まれてから今までの間に赤磐市に移り住んだ（Ｕターンを含む）」となっています。

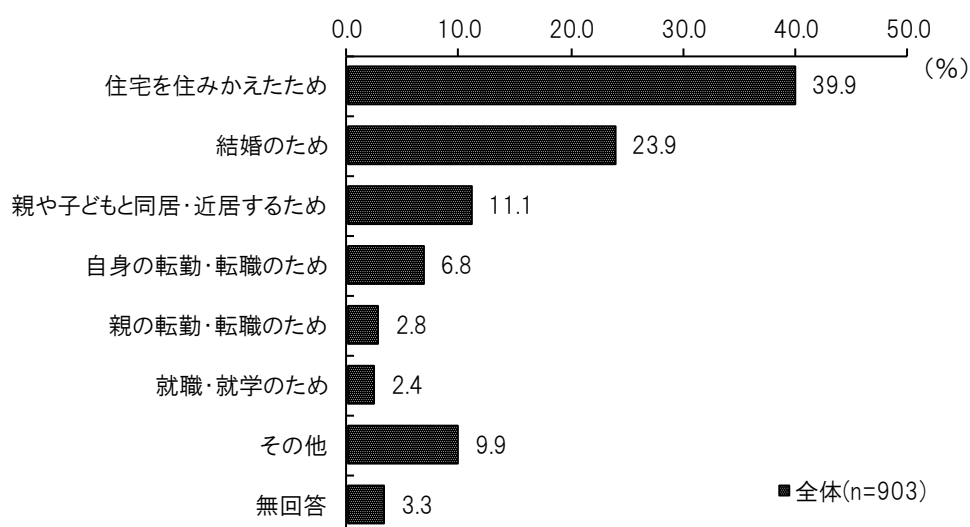


※1 生まれたときからずっと赤磐市に住んでいる

※2 生まれてから今までの間に赤磐市に移り住んだ（Ｕターンを含む）

10. 転入理由別構成

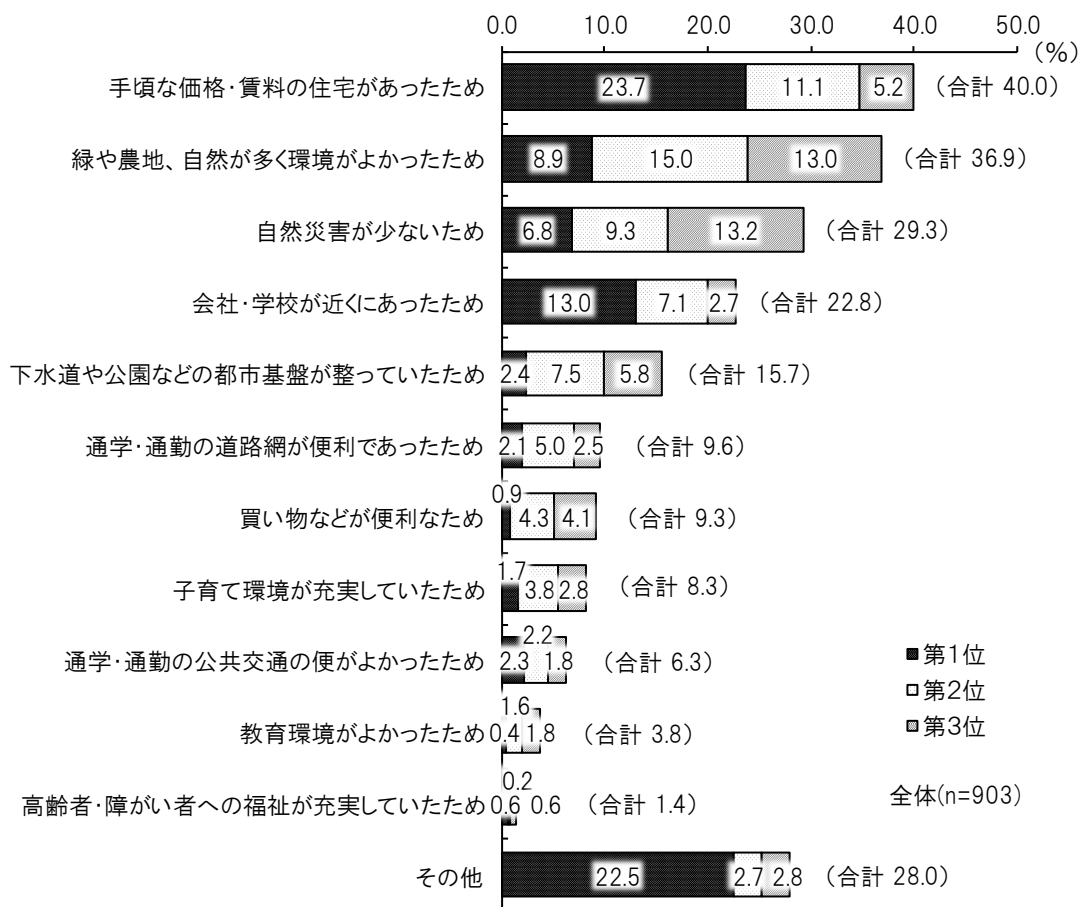
生まれてから今までの間に赤磐市に移り住んだ（Ｕターンを含む）方の転入理由については、「住宅を住みかえたため」が39.9%と最も高く、次いで「結婚のため」（23.9%）、「親や子どもと同居・近居するため」（11.1%）の順となっています。



11. 赤磐市を選択した理由別構成

生まれてから今までの間に赤磐市に移り住んだ（Ｕターンを含む）方の赤磐市を選ぶ際に考慮したことについては、「手頃な価格・賃料の住宅があったため」が 40.0%を占めて最も高く、次いで「緑や農地、自然が多く環境がよかったため」（36.9%）、「自然災害が少ないため」（29.3%）、「会社・学校が近くにあったため」（22.8%）の順となっています。

また、第１位にあげられたこととしては、「手頃な価格・賃料の住宅があったため」が 23.7%と最も高く、次いで「会社・学校が近くにあったため」（13.0%）、「緑や農地、自然が多く環境がよかったため」（8.9%）、「自然災害が少ないため」（6.8%）、の順となっています。



※「特になし」（6.5%）、「無回答」（8.5%）は順位がないため、上グラフから除いています。

注：回答者の考えに最も近いものを、順位をつけて3つ選んでいただいています。

居住地域別でみると、山陽西小学校区、山陽北小学校区、桜が丘小学校区で「手頃な価格・賃料の住宅があったため」の割合が他の地域に比べて高くなっています。また、山陽西小学校区では「下水道や公園などの都市基盤が整っていたため」、山陽北小学校区では「緑や農地、自然が多く環境がよかったため」の割合も高くなっています。

性別でみると、男性で「手頃な価格・賃料の住宅があったため」「緑や農地、自然が多く環境がよかったため」の割合が女性に比べてやや高くなっています。

年齢別でみると、60 歳以上で「緑や農地、自然が多く環境がよかったため」「下水道や公園などの都市基盤が整っていたため」の割合がやや高くなっています。

単位(%)		が手頃な価格・賃料の住宅	境がよかつたため	緑や農地、自然が多く環境	自然災害が少ないため	会社・学校が近くにあり	基盤が整った都市	下水道や公園などの都市	利便性・通勤の道路網が便	通学・通勤の利便性	買い物などが便利	子育て環境が充実	通学・通勤の公共交通の便	教育環境がよかつたため	社が充実している者への福	高齢者・障がい者への福	その他	特になし
全体(n=903)		40.0	36.9	29.3	22.8	15.7	9.6	9.3	8.3	6.3	3.8	1.4	28.0	6.5				
地域別	山陽小学校区(n=168)	26.8	33.3	22.7	26.8	0.6	13.7	15.5	5.4	8.4	3.6	0.6	33.4	8.9				
	山陽西小学校区(n=139)	56.9	27.4	18.7	23.1	39.6	10.8	14.4	7.2	10.8	3.5	0.7	20.1	2.2				
	山陽東小学校区(n=119)	49.6	39.4	31.0	26.9	19.4	11.8	6.6	13.4	7.6	5.9	0.0	20.1	3.4				
	山陽北小学校区(n=152)	55.9	51.3	44.0	23.0	26.3	8.5	4.0	10.5	5.2	3.3	0.7	21.1	1.3				
	桜が丘小学校区(n=107)	53.2	35.5	40.2	12.1	17.8	9.4	6.5	9.3	0.0	2.7	2.8	29.0	5.6				
	赤坂地域小学校区(n=74)	14.9	31.2	25.7	23.1	0.0	2.7	12.2	4.1	2.8	5.5	1.4	39.2	14.9				
	熊山地域小学校区(n=65)	16.9	40.0	27.6	21.6	1.5	7.6	3.1	9.2	7.6	3.1	1.5	38.4	9.2				
	吉井地域小学校区(n=52)	9.5	28.8	17.3	23.0	3.8	5.7	7.7	5.7	1.9	1.9	5.8	38.4	15.4				
性別	男性(n=349)	44.1	41.3	29.6	24.4	19.5	11.7	6.9	8.3	7.2	4.3	0.9	23.8	5.4				
	女性(n=539)	37.5	33.2	28.6	21.9	13.4	8.1	10.6	8.2	5.8	3.6	1.7	31.0	7.2				
年齢別	29歳以下(n=42)	23.8	28.5	11.9	33.4	4.8	12.0	4.8	9.6	12.0	4.8	0.0	47.7	2.4				
	30歳代(n=87)	45.9	32.1	22.9	35.6	4.6	9.1	14.9	16.0	2.2	3.4	0.0	37.8	8.0				
	40歳代(n=127)	48.8	25.2	18.9	36.2	7.8	13.4	12.6	13.3	3.2	4.0	0.0	30.0	7.1				
	50歳代(n=149)	43.0	33.6	26.1	15.5	15.4	11.4	9.4	8.0	4.0	3.4	1.4	34.2	5.4				
	60歳代(n=255)	43.1	40.8	33.4	23.2	21.2	8.2	6.3	7.0	7.4	3.9	0.8	23.5	6.7				
	70歳以上(n=236)	30.9	42.8	37.8	13.1	20.8	7.6	8.9	3.4	8.0	3.8	3.4	20.4	7.2				

注：表中の「網掛け」は、各クロス集計（居住地域・性別・年齢別など）において最も高い割合を示しています。

（例／性別の場合、男性と女性を比べて高い方に、年齢別の場合、最も割合が高い年齢層に網掛け。）

但し、回答割合が10%未満の項目、n数が10未満の項目、及び「その他」については網掛けしていません。

また「無回答」は表記から省略しています。

本報告書においては、以下同様とします。

Ⅲ 調査結果

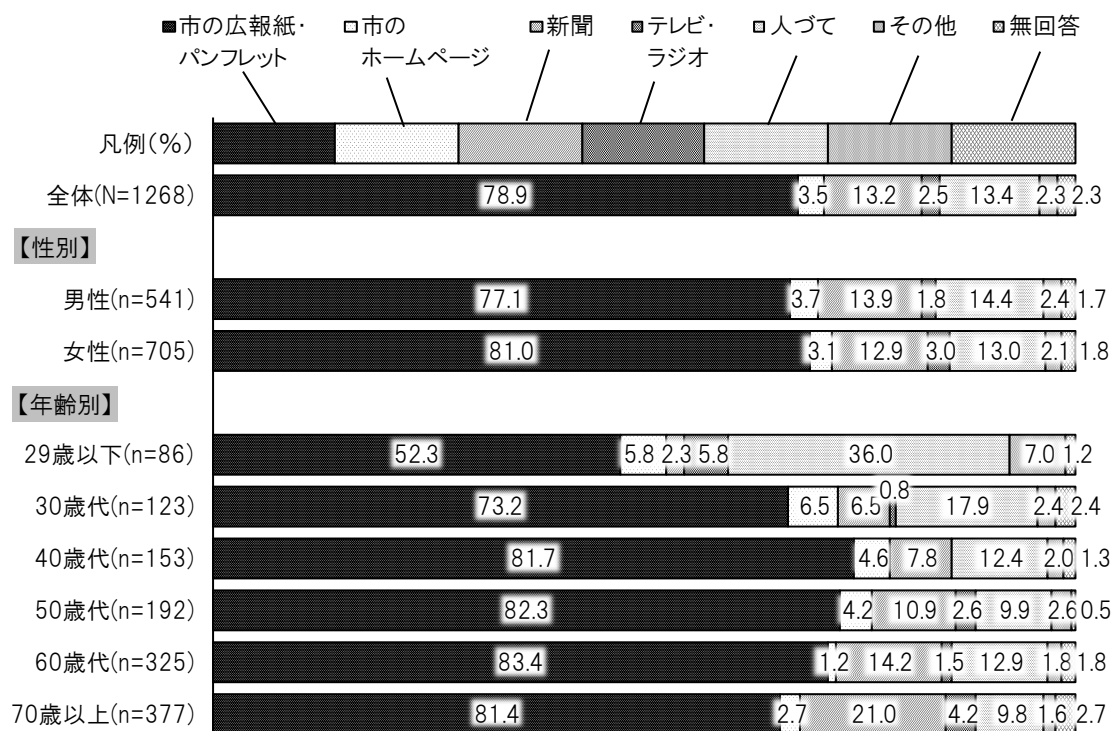
【1】赤磐市のまちについて

1. 赤磐市の情報源

問 12 あなたは、赤磐市の情報を主にどこから得ていますか。

赤磐市の情報源については、「市の広報紙・パンフレット」が 78.9%と約 8 割を占め最も高く、次いで「人づて」(13.4%)、「新聞」が 13.2%の順となっています。

性別による大きな差は目立ちませんが、年齢別では、29 歳以下で「人づて」の割合が他の年齢層に比べ高くなっています。また、年齢が上がるほど「新聞」の割合が高くなる傾向にあります。



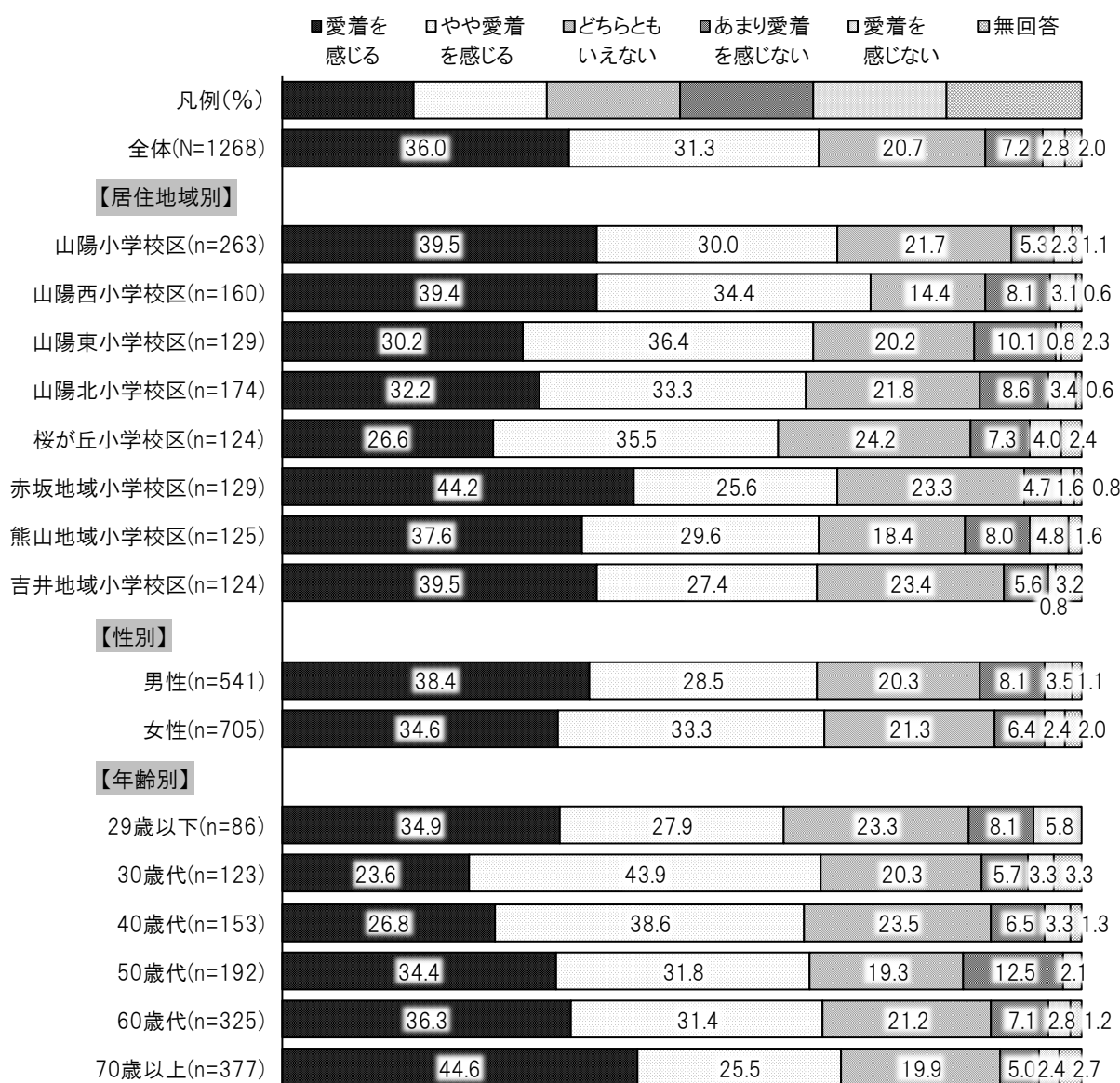
2. 赤磐市に対する愛着度

問 13 あなたは、赤磐市に愛着を感じますか。

赤磐市に対する愛着度については、「愛着を感じる」が36.0%、「やや愛着を感じる」が31.3%で、合計した『愛着を感じる』割合は67.3%となります。一方、「あまり愛着を感じない」(7.2%)と「愛着を感じない」(2.8%)を合計した『愛着を感じない』割合は10.0%となります。

居住地域別でみると、赤坂地域小学校区で「愛着を感じる」の割合が他の地区に比べてやや高くなっています。

性別による大きな差は目立ちませんが、年齢別では、おおむね年齢が上がるほど「愛着を感じる」割合が高くなる傾向にあります。



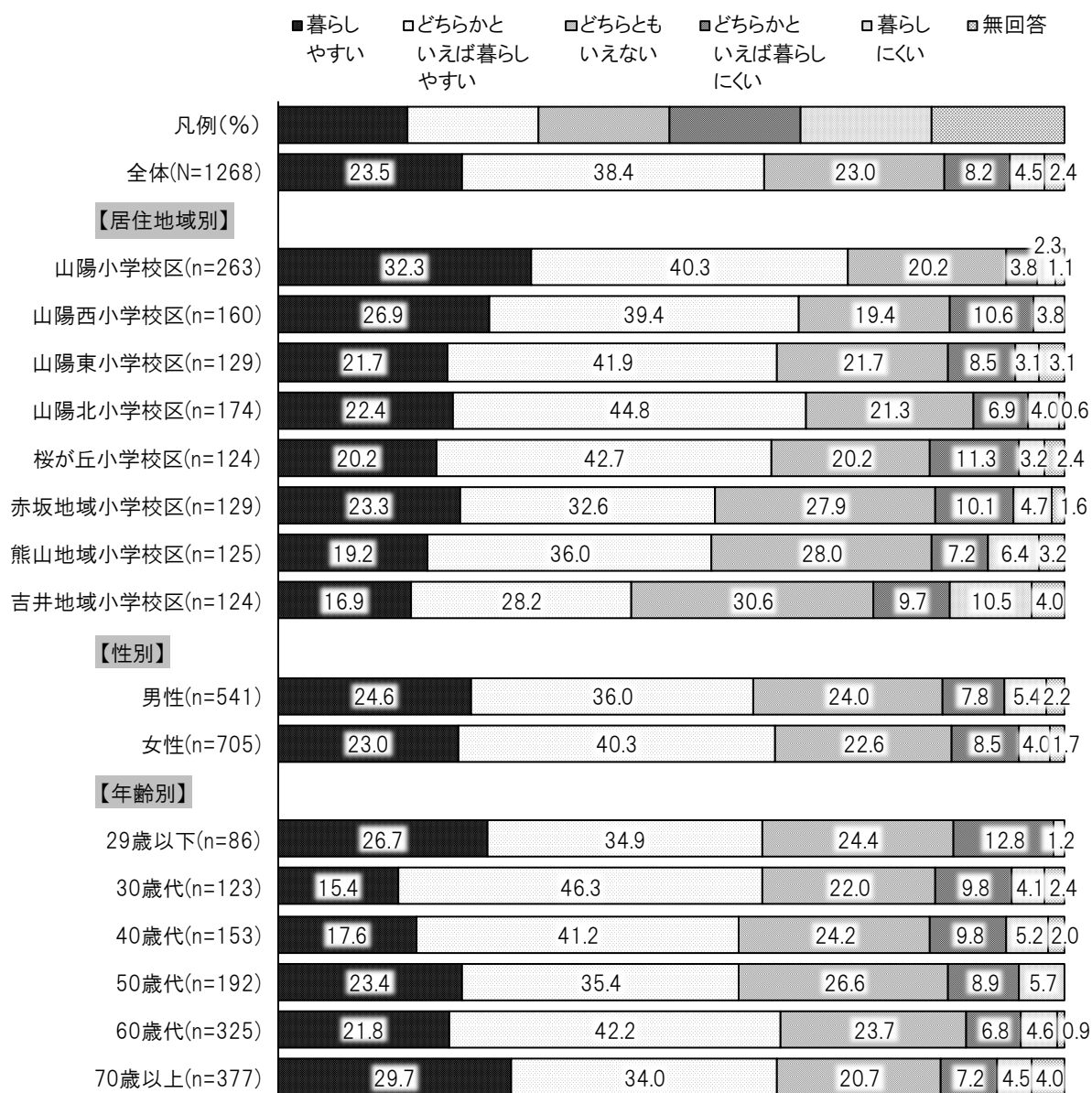
3. 赤磐市の暮らしやすさ

問 14 あなたは、赤磐市は暮らしやすいまちだと思いますか。

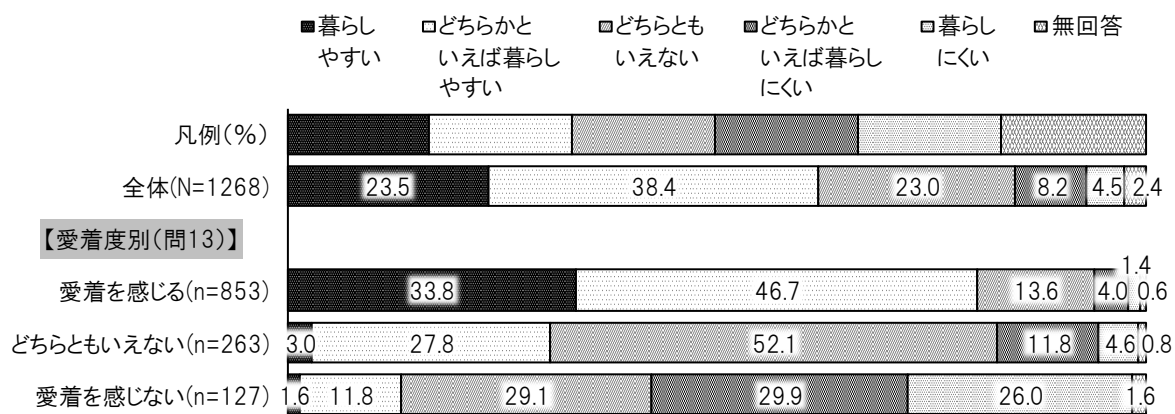
赤磐市の暮らしやすさについては、「暮らしやすい」が23.5%、「どちらかといえば暮らしやすい」が38.4%で、合計した『暮らしやすい』の割合は61.9%となります。一方、「どちらかといえば暮らしにくい」(8.2%)と「暮らしにくい」(4.5%)を合計した『暮らしにくい』の割合は12.7%となります。

居住地域別でみると、山陽小学校区で『暮らしやすい』の割合が他の地域に比べてやや高くなっています。

性別による大きな差は目立ちませんが、年齢別では、70歳以上で「暮らしやすい」の割合が高くなっています。



愛着度別でみると、愛着度が高い層で『暮らしやすい』、愛着を感じない層で『暮らしにくい』の割合がそれぞれ高くなっています。



注：「愛着を感じる」→「愛着を感じる」「やや愛着を感じる」の合計
「愛着を感じない」→「あまり愛着を感じない」「愛着を感じない」の合計（以下同様）

4. 赤磐市への永住意向

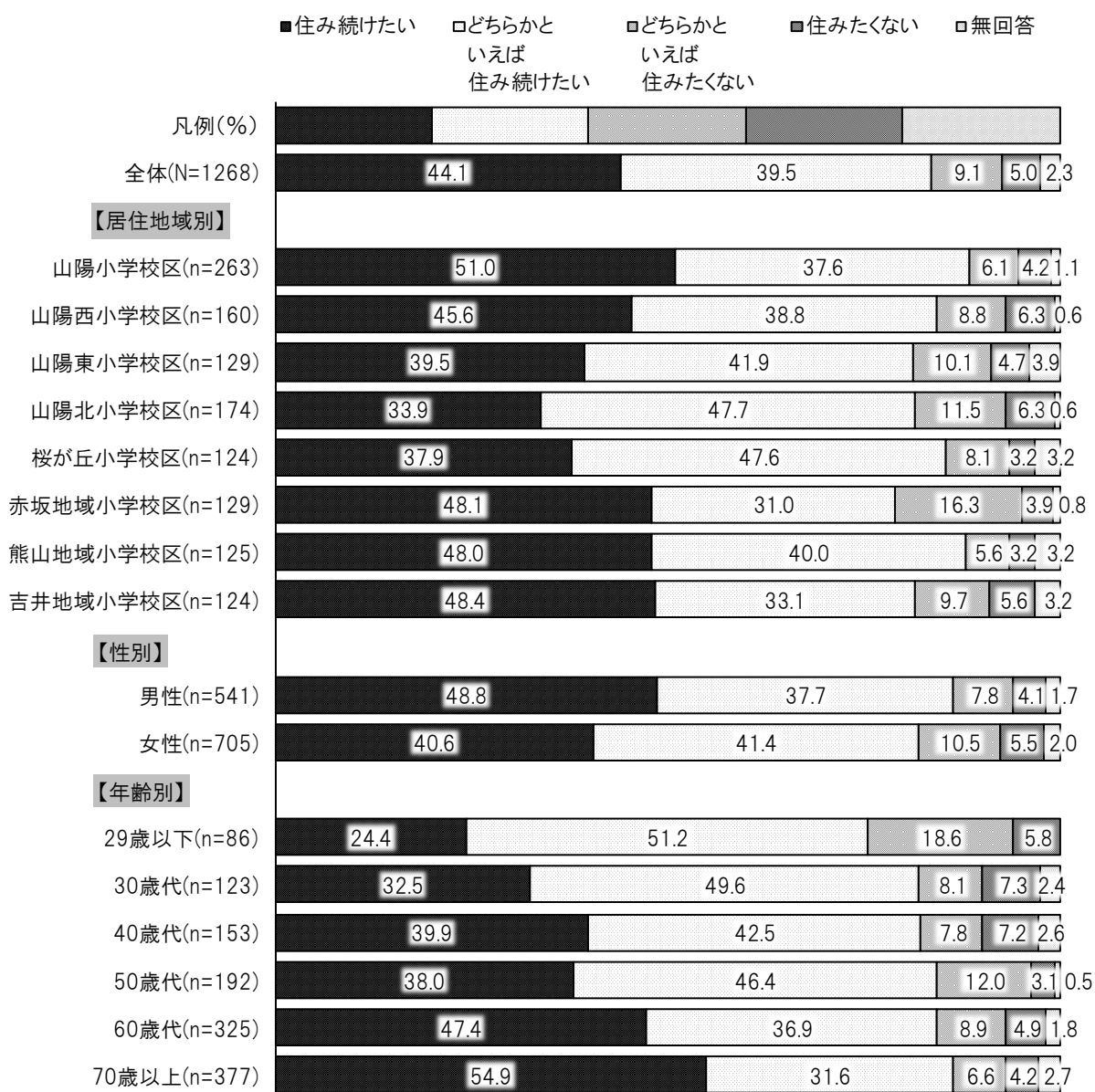
問 15 あなたは、これからも赤磐市に住み続けたいと思いますか。

赤磐市への永住意向については、「住み続けたい」が44.1%、「どちらかといえば住み続けたい」が39.5%で、合計すると『永住意向』の割合は83.6%となります。一方、「どちらかといえば住みたくない」(9.1%)と「住みたくない」(5.0%)の合計は14.1%となります。

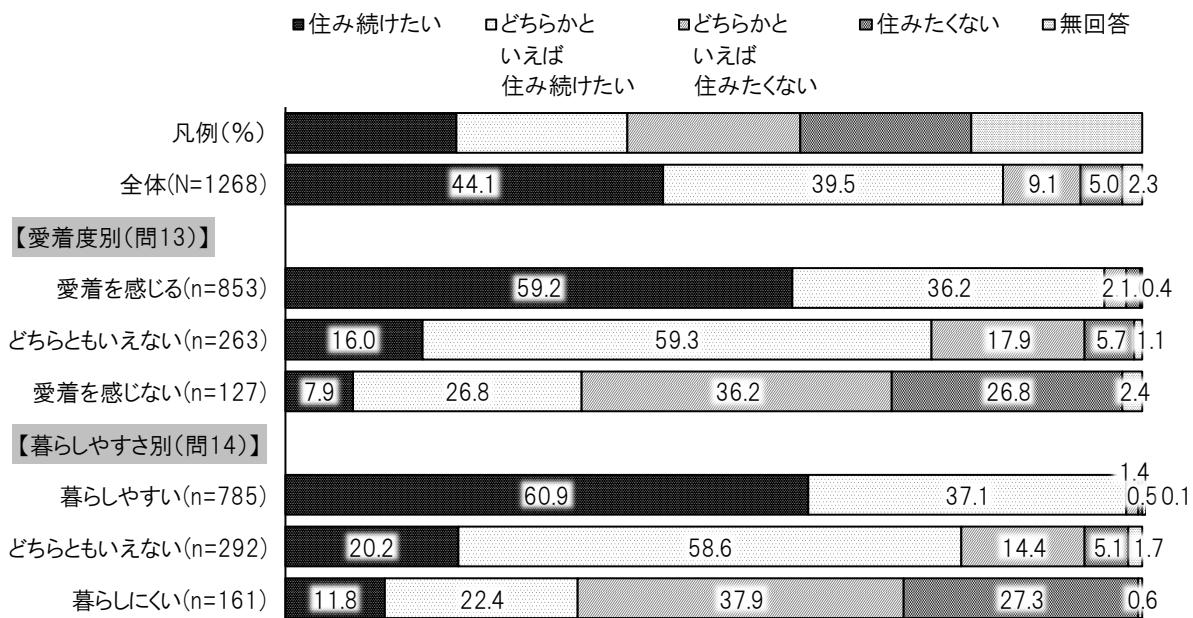
居住地域別でみると、山陽小学校区、桜が丘小学校区、熊山地域小学校区で『永住意向』の割合が他の地域に比べてやや高くなっています。

性別でみると、男性で『永住意向』の割合が女性に比べやや高くなっています。

年齢別でみると、おおむね年齢が上がるほど「住み続けたい」の割合が高くなる傾向にあります。



愛着度別でみると愛着度が高い層、暮らしやすさ別でみると暮らしやすいと感じている層で『永住意向』の割合が高くなっています。



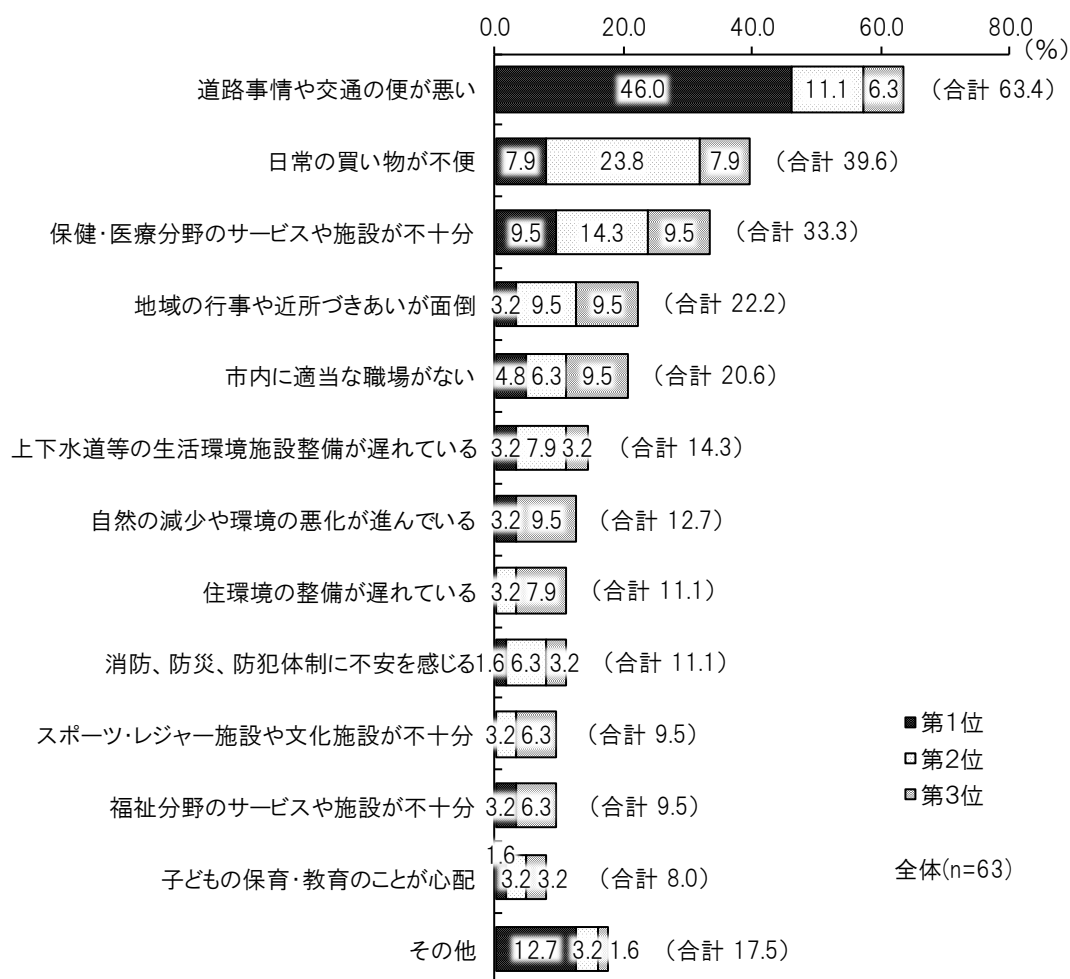
注：「暮らしやすい」→「暮らしやすい」「どちらかといえは暮らしやすい」の合計
「暮らしにくい」→「どちらかといえは暮らしにくい」「暮らしにくい」の合計

5. 住みたくない理由

問 16 問 15 で「4. 住みたくない」を選択された方にお聞きします。あなたが赤磐市に住みたくない主な理由は何ですか。あなたの考えに最も近いものを3つ選び、順位をつけて記入してください。

住みたくない主な理由については、「道路事情や交通の便が悪い」が 63.4%と最も高く、次いで「日常の買い物が不便」(39.6%)、「保健・医療分野のサービスや施設が不十分」(33.3%)、「地域の行事や近所づきあいが面倒」(22.2%)、「市内に適当な職場がない」(20.6%)の順となっています。

また、第1位にあげられたこととしては、「道路事情や交通の便が悪い」が 46.0%と最も高くなっています。



※「無回答」(3.2%)は順位がないため、上グラフから除いています。

【2】赤磐市の取り組みについて

1. 本市の取り組みに対する満足度と重要度

問 17-1 赤磐市の取り組み状況または地域の現状に対する満足度をお聞きます。

下記の項目ごとに、「5（満足）」～「1（不満）」のうち、あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。

問 17-2 今後、赤磐市が重点的・優先的に取り組んでいく必要があるかお聞きます。

下記の項目ごとに、「5（重要）」～「1（重要でない）」のうち、あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。

本市の取り組みについて、39 の項目を掲げ、それぞれの「満足度」「重要度」を5段階評価で尋ねました。各項目の満足度と重要度については、次のようなステップで回答結果を整理し、分析しました。

①満足度、重要度の加重平均値による分析

満足度と重要度は以下に示す加重平均値を算出する方法で点数化しています。

「満足度」については「満足」「やや満足」への回答とともに、「やや不満」「不満」「わからない」という選択肢もあります。そのため、この「満足度」をよりの確に分析するために、加重平均値による指標化を行いました。

加重平均値の算出方法は、「満足」に5点、「やや満足」に4点、「わからない」に3点、「やや不満」に2点、「不満」に1点の係数（ウェイト）を設定し、項目ごとの回答結果を（「満足」の回答件数×5点+「やや満足」の回答件数×4点+「わからない」の回答件数×3点+「やや不満」の回答件数×2点+「不満」の回答件数×1点）÷（回答者件数－無回答件数）として指標としています。

この指標によって、「満足度」の強弱を、より明確に分析することができます。

「重要度」についても、同様な算出方法で加重平均値を算出しています。

②満足度と重要度の相関図による分析

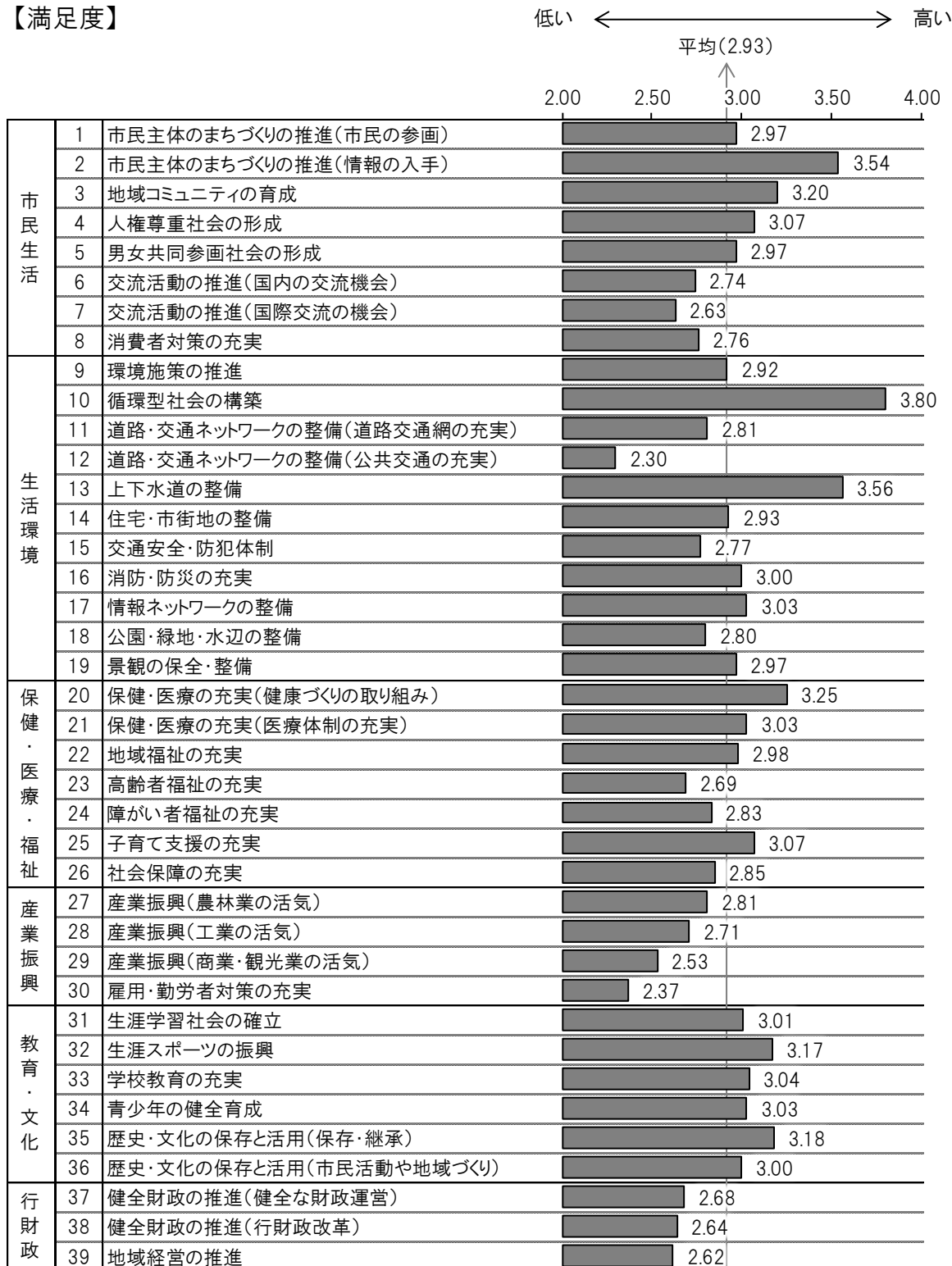
満足度と重要度それぞれの加重平均値をもとに、縦軸に重要度、横軸に満足度を設定し、39 の取り組みを散布図上に相関図として示しました。

(1) 満足度

満足度の高い項目は、「10. 循環型社会の構築」「13. 上下水道の整備」「2. 市民主体のまちづくりの推進(情報の入手)」「20. 保健・医療の充実(健康づくりの取り組み)」「3. 地域コミュニティの育成」などの順となっています。

一方、満足度の低い項目は、「12. 道路・交通ネットワークの整備(公共交通の充実)」「30. 雇用・勤労者対策の充実」「29. 産業振興(商業・観光業の活気)」「39. 地域経営の推進」「7. 交流活動の推進(国際交流の機会)」などです。

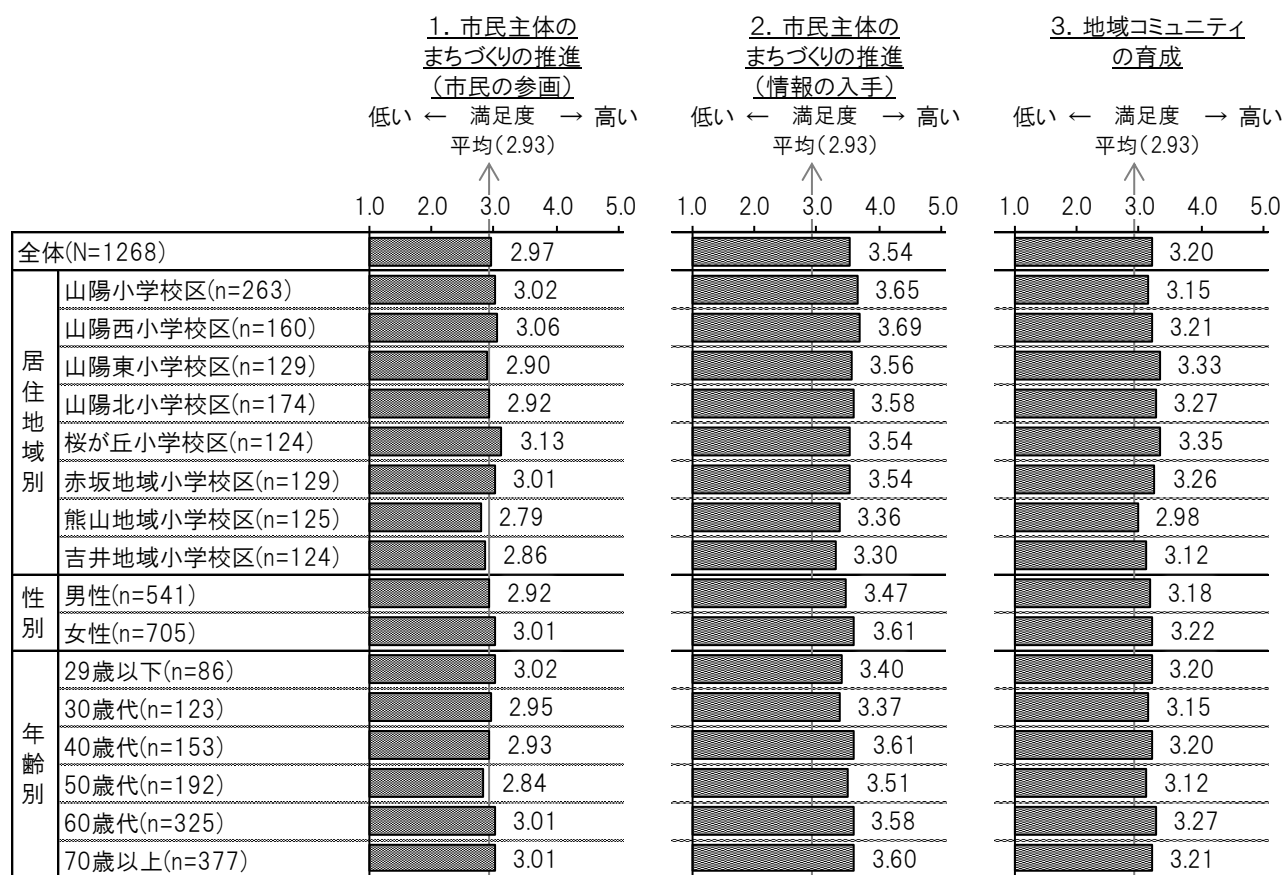
【満足度】



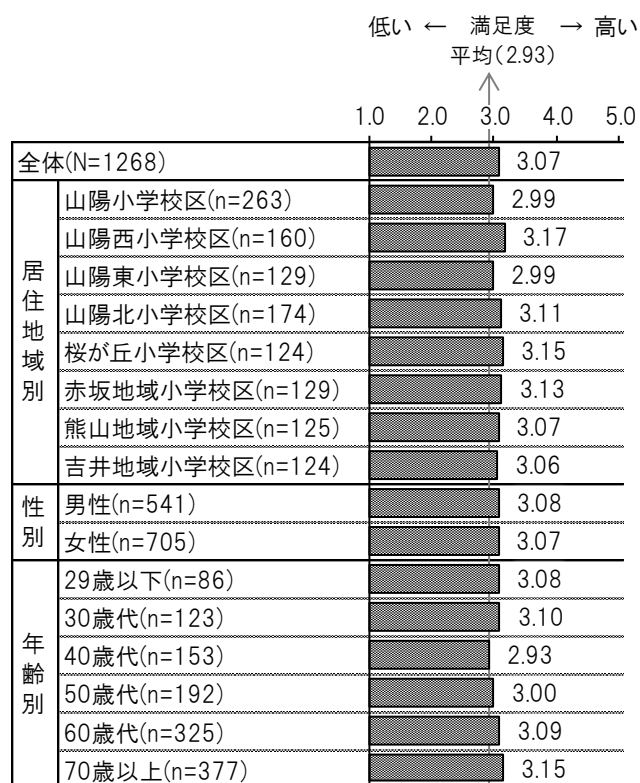
居住地域別でみると、山陽小学校区で「21. 保健・医療の充実（医療体制の充実）」、山陽西小学校区で「11. 道路・交通ネットワークの整備（道路交通網の充実）」「16. 消防・防災の充実」、桜が丘小学校区で「1. 市民主体のまちづくりの推進（市民の参画）」の満足度がやや高くなっています。一方、赤坂地域小学校区と吉井地域小学校区で11. 道路・交通ネットワークの整備（道路交通網の充実）」「12. 道路・交通ネットワークの整備（公共交通の充実）」「14. 住宅・市街地の整備」「19. 景観の保全・整備」の満足度が低くなっています。また、赤坂地域小学校区では「13. 上下水道の整備」、吉井地域小学校区では「21. 保健・医療の充実（医療体制の充実）」「27. 産業振興（農林業の活気）」「30. 雇用・勤労者対策の充実」などの満足度も低くなっています。

性別でみると、女性は男性よりも「2. 市民主体のまちづくりの推進（情報の入手）」「20. 保健・医療の充実（健康づくりの取り組み）」などの満足度が高くなっています。

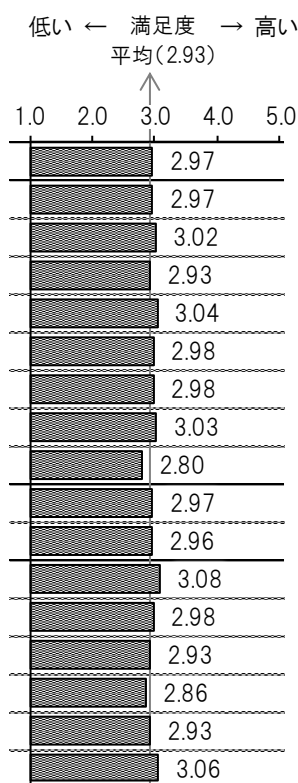
年齢別でみると、29 歳以下で「19. 景観の保全・整備」「33. 学校教育の充実」、70 歳以上で「20. 保健・医療の充実（健康づくりの取り組み）」「21. 保健・医療の充実（医療体制の充実）」「31. 生涯学習社会の確立」などの満足度が高くなっています。一方、50 歳代で「6. 交流活動の推進（国内での交流機会）」「7. 交流活動の推進（国際交流の機会）」「21. 保健・医療の充実（医療体制の充実）」などの満足度が低くなっています。



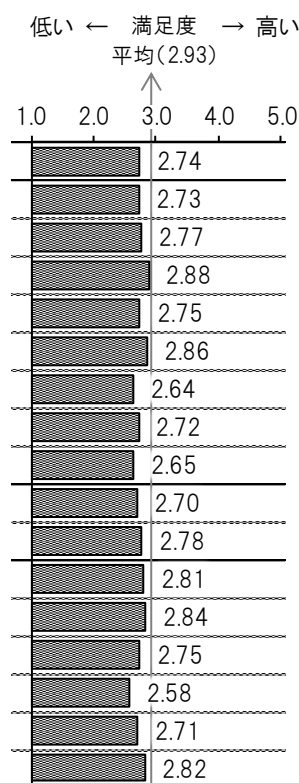
4. 人権尊重社会 の形成



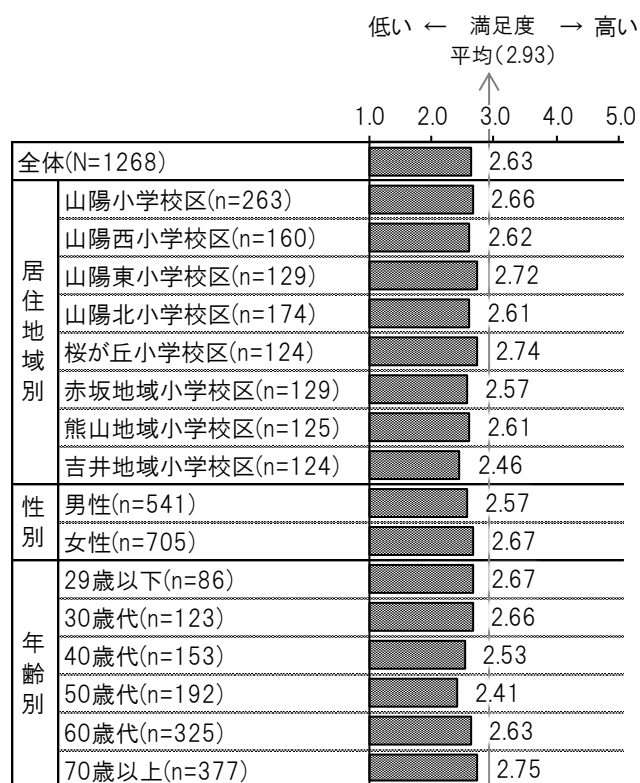
5. 男女共同参画社会 の形成



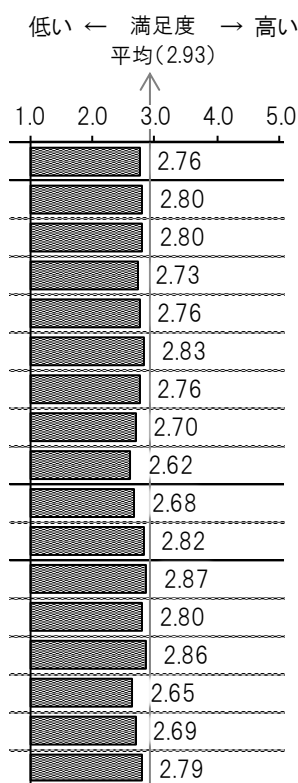
6. 交流活動の推進 (国内の交流機会)



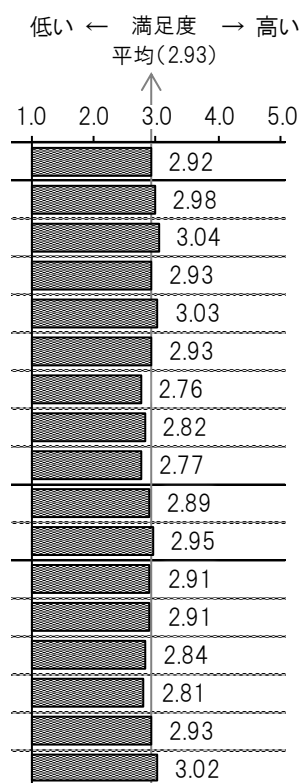
7. 交流活動の推進 (国際交流の機会)



8. 消費者対策の充実

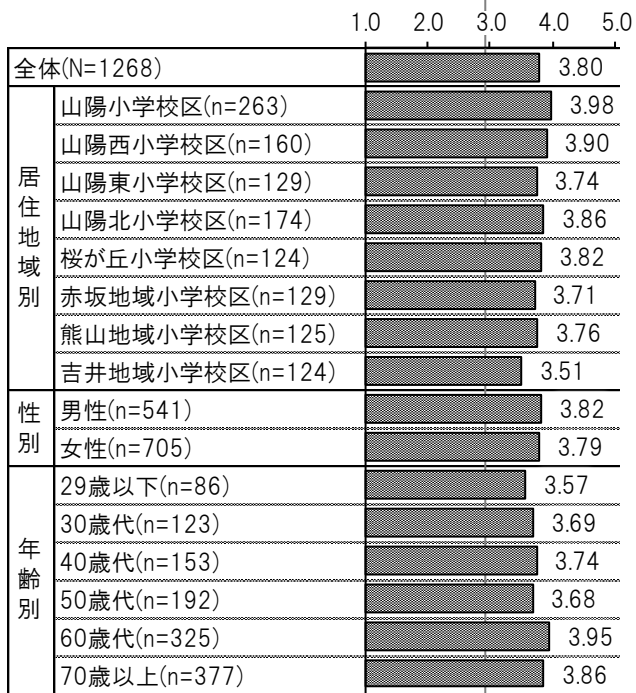


9. 環境施策の推進



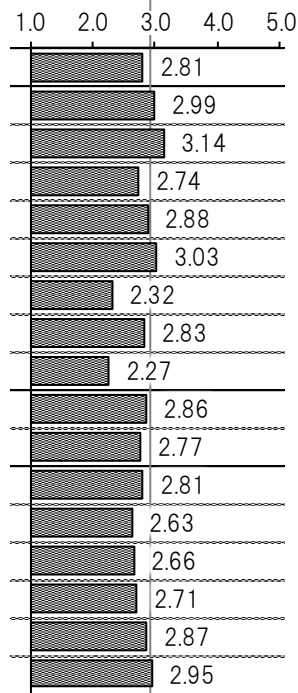
10. 循環型社会
の構築

低い ← 満足度 → 高い
平均(2.93)



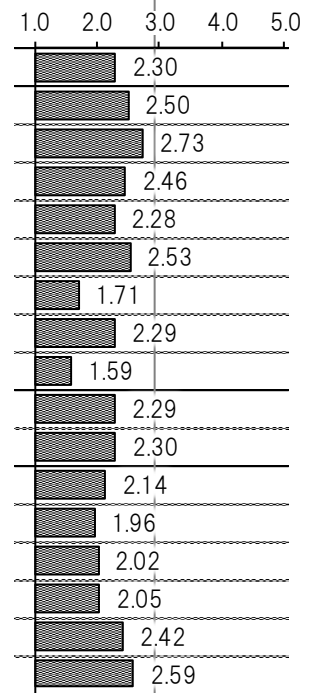
11. 道路・交通ネット
ワークの整備
(道路交通網の充実)

低い ← 満足度 → 高い
平均(2.93)



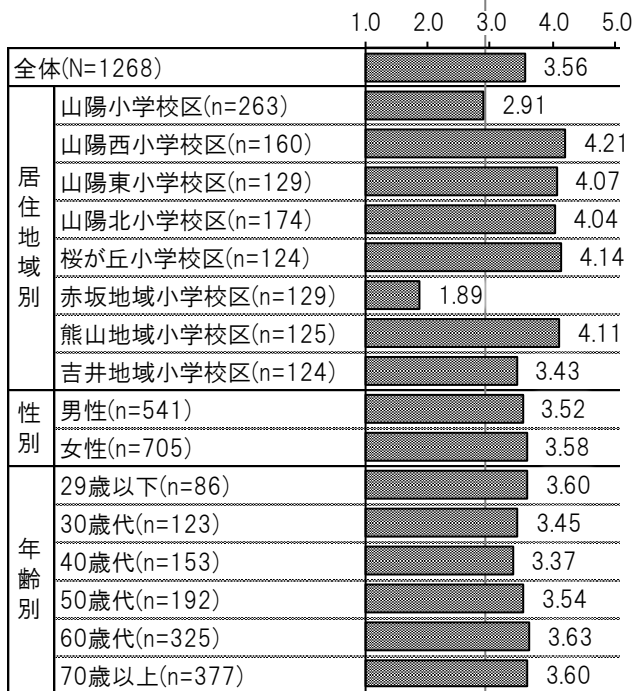
12. 道路・交通ネット
ワークの整備
(公共交通の充実)

低い ← 満足度 → 高い
平均(2.93)



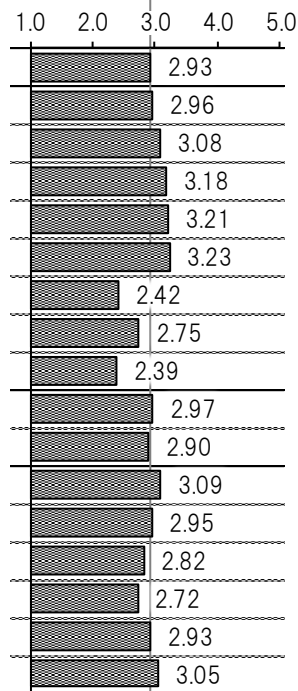
13. 上下水道の整備

低い ← 満足度 → 高い
平均(2.93)



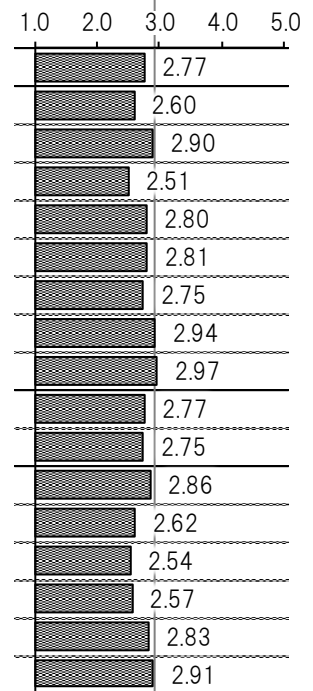
14. 住宅・市街地
の整備

低い ← 満足度 → 高い
平均(2.93)

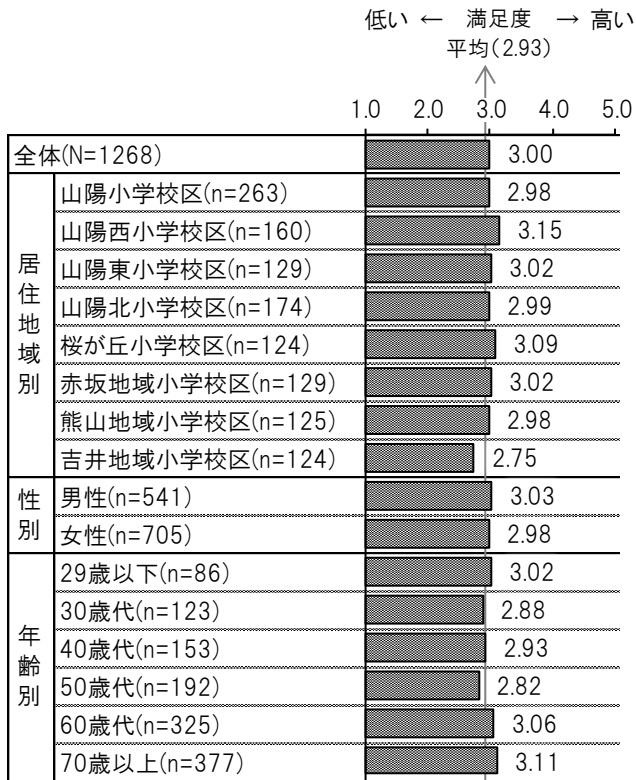


15. 交通安全・
防犯体制

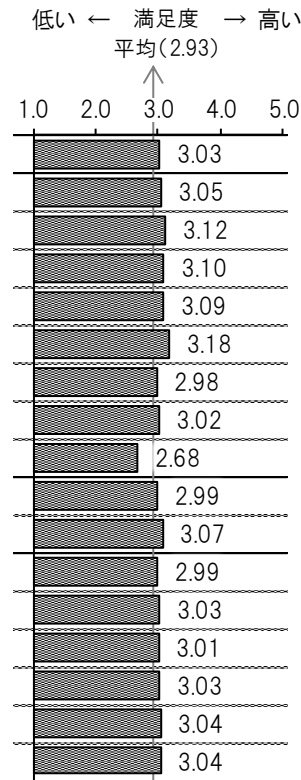
低い ← 満足度 → 高い
平均(2.93)



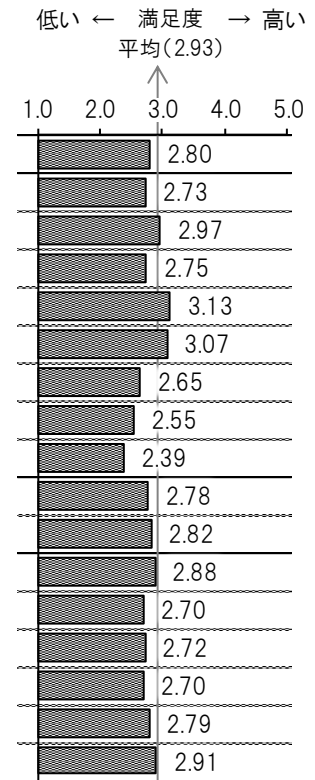
16. 消防・防災の充実



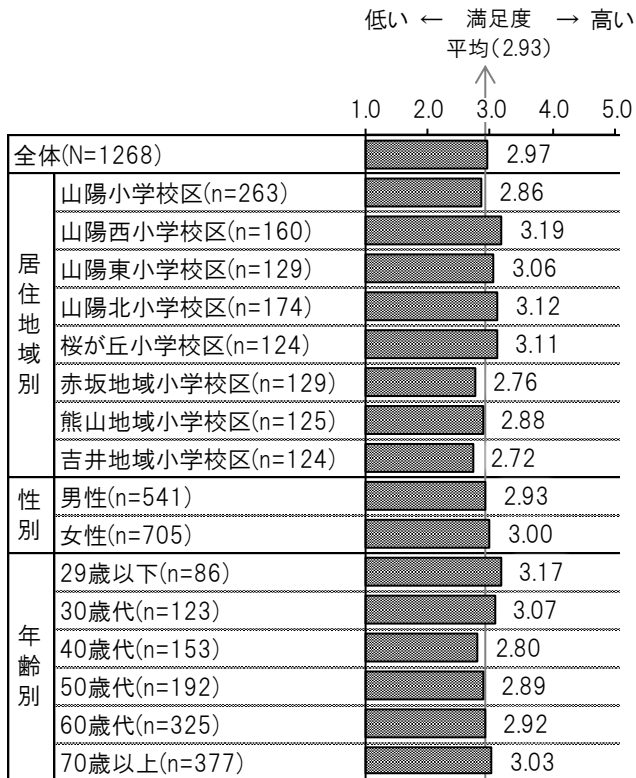
17. 情報ネットワーク
の整備



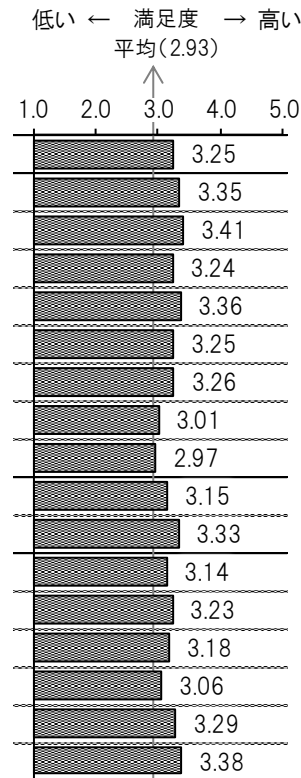
18. 公園・緑地・水辺
の整備



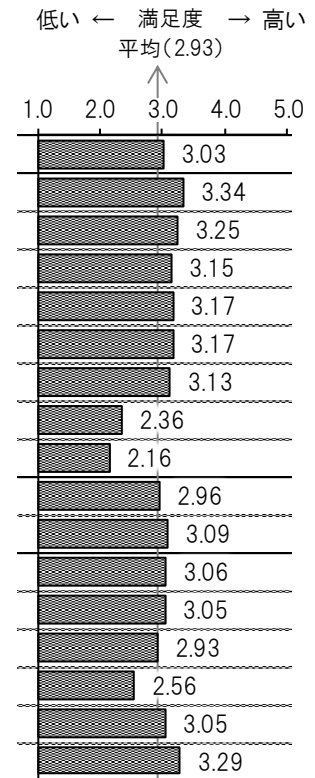
19. 景観の保全・整備



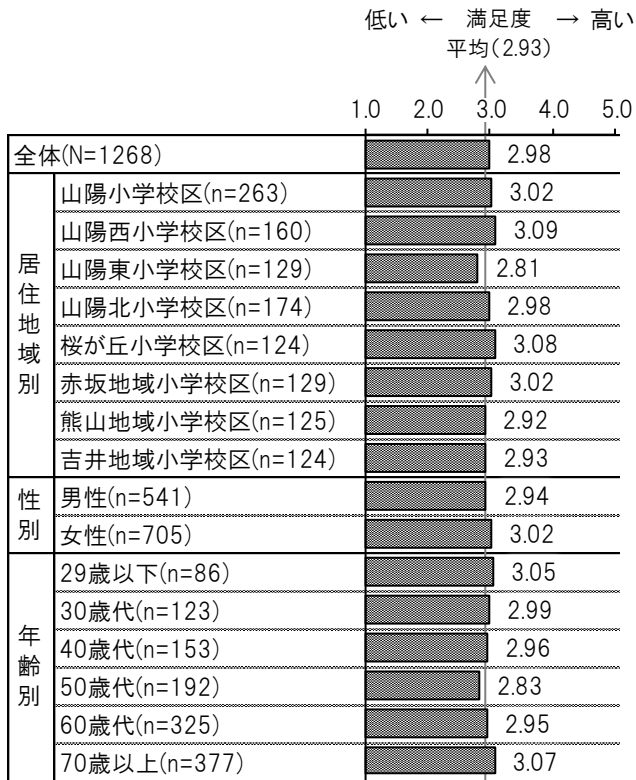
20. 保健・医療の充実
(健康づくりの取り組み)



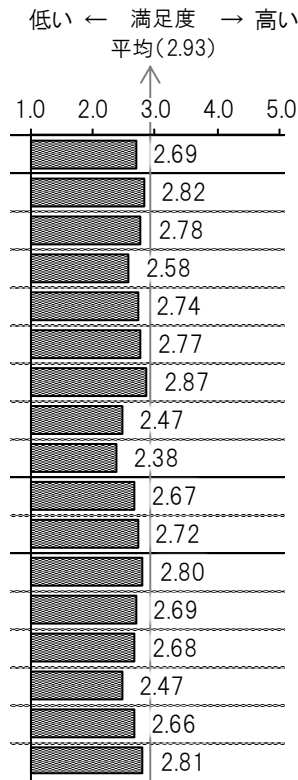
21. 保健・医療の充実
(医療体制の充実)



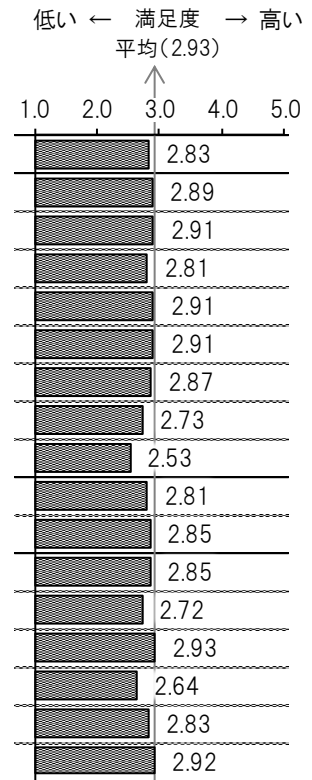
22. 地域福祉の充実



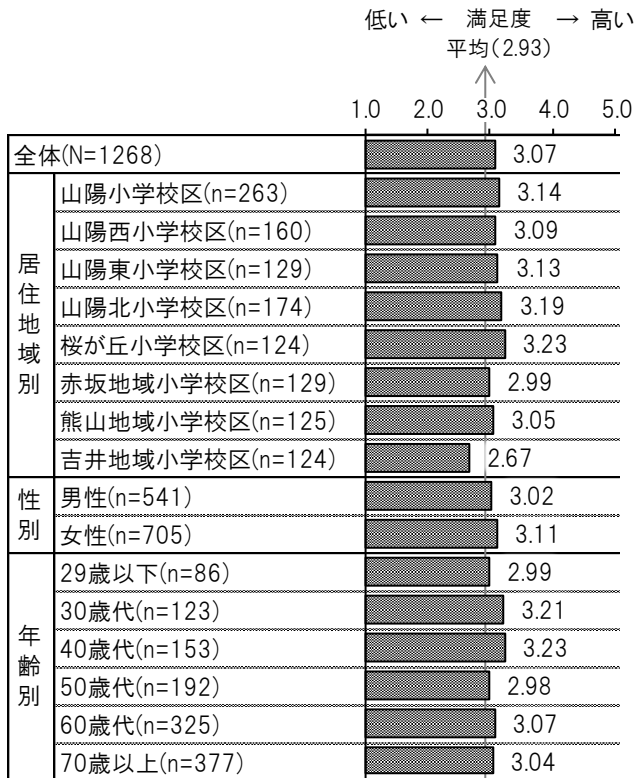
23. 高齢者福祉の充実



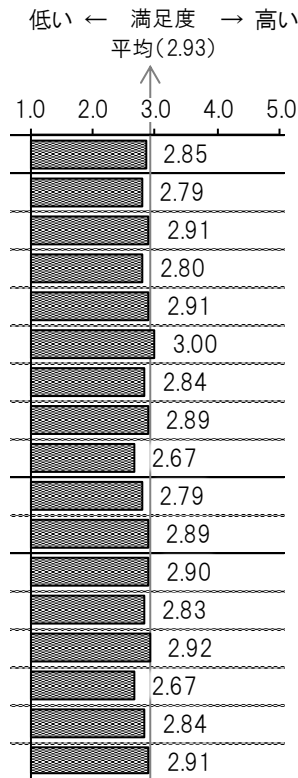
24. 障がい者福祉の充実



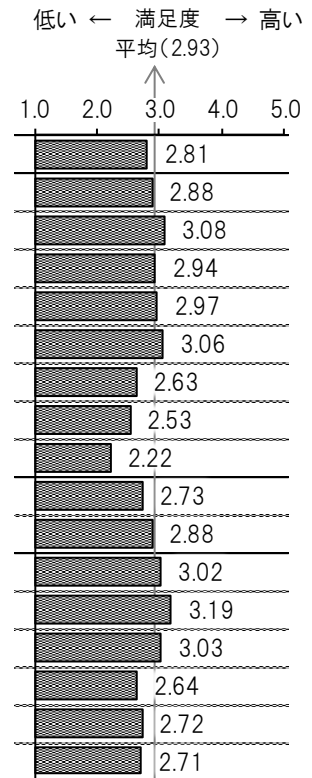
25. 子育て支援の充実



26. 社会保障の充実

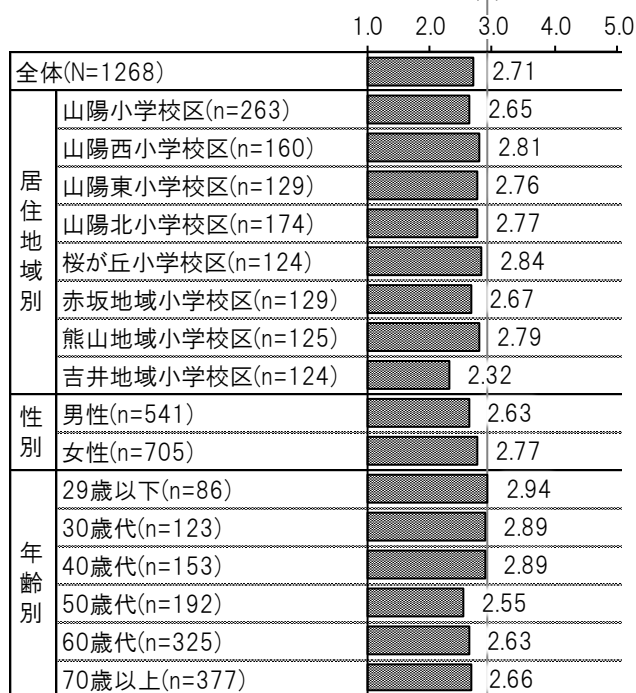


27. 産業振興 (農林業の活気)



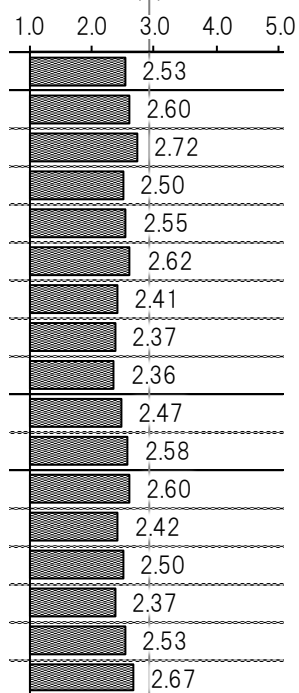
28. 産業振興
(工業の活気)

低い ← 満足度 → 高い
平均(2.93)



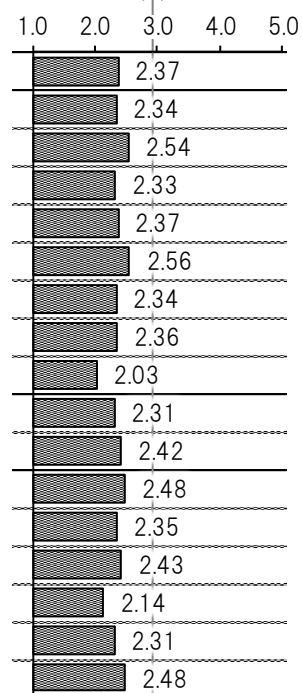
29. 産業振興
(商業・観光業の活気)

低い ← 満足度 → 高い
平均(2.93)



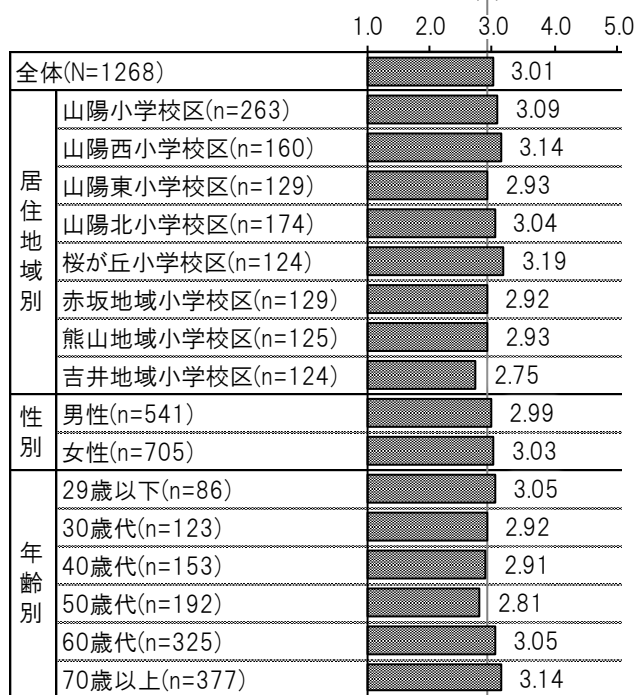
30. 雇用・勤労者対策
の充実

低い ← 満足度 → 高い
平均(2.93)



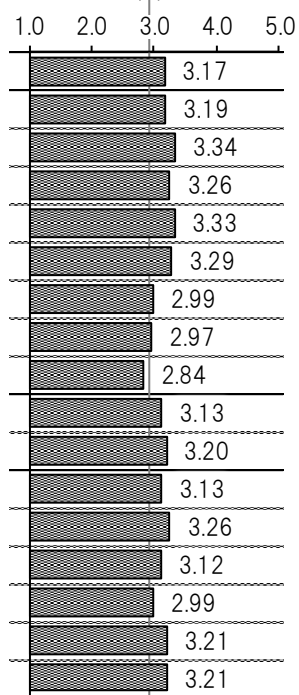
31. 生涯学習社会
の確立

低い ← 満足度 → 高い
平均(2.93)



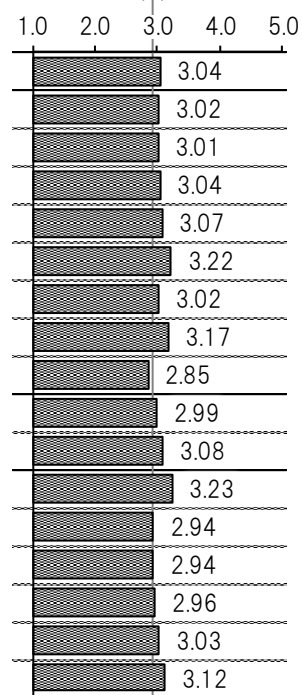
32. 生涯スポーツ
の振興

低い ← 満足度 → 高い
平均(2.93)

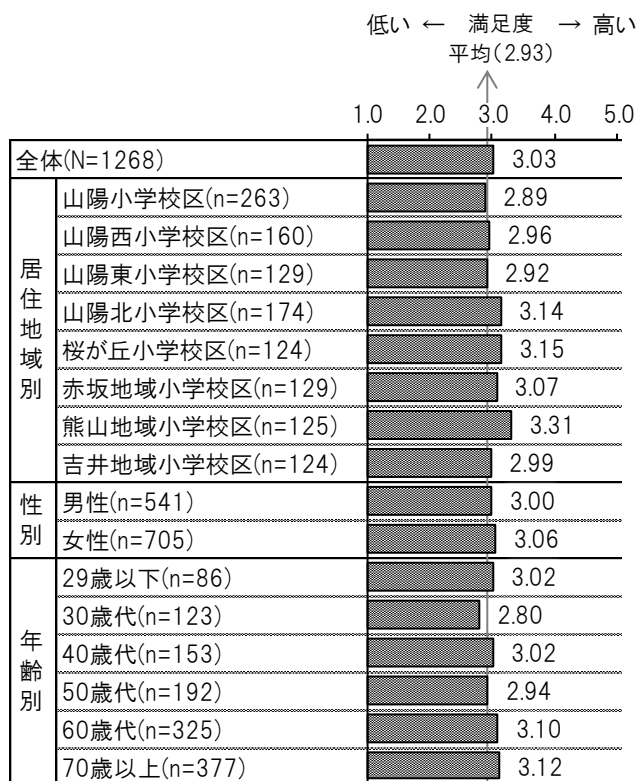


33. 学校教育の充実

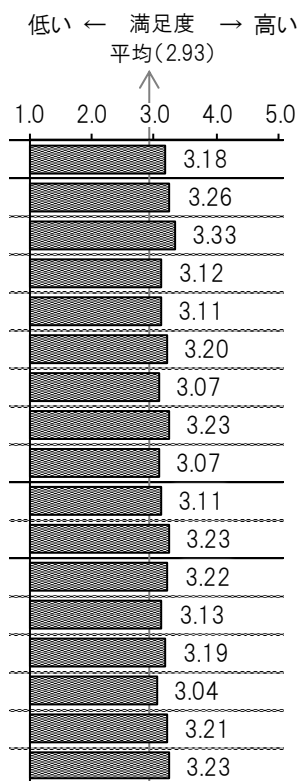
低い ← 満足度 → 高い
平均(2.93)



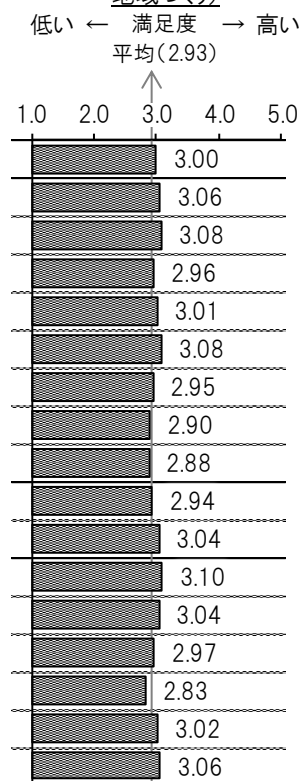
34. 青少年の健全育成



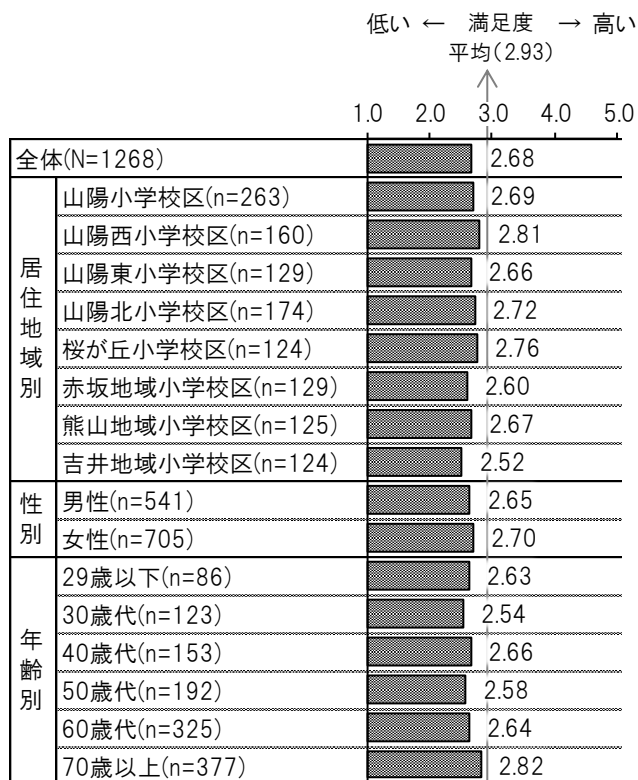
35. 歴史・文化の保存と活用(保存・継承)



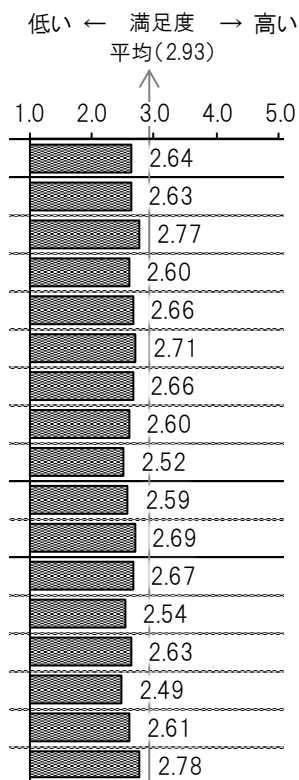
36. 歴史・文化の保存と活用(市民活動や地域づくり)



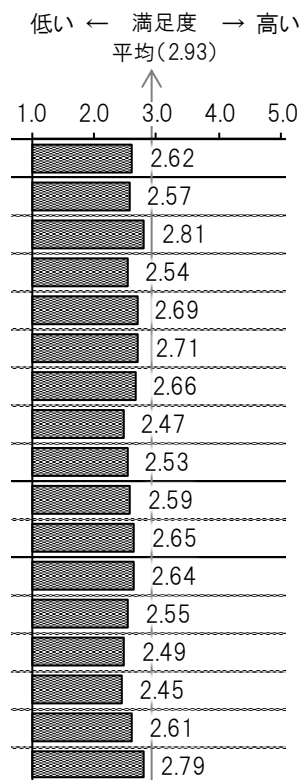
37. 健全財政の推進(健全な財政運営)



38. 健全財政の推進(行財政改革)



39. 地域経営の推進

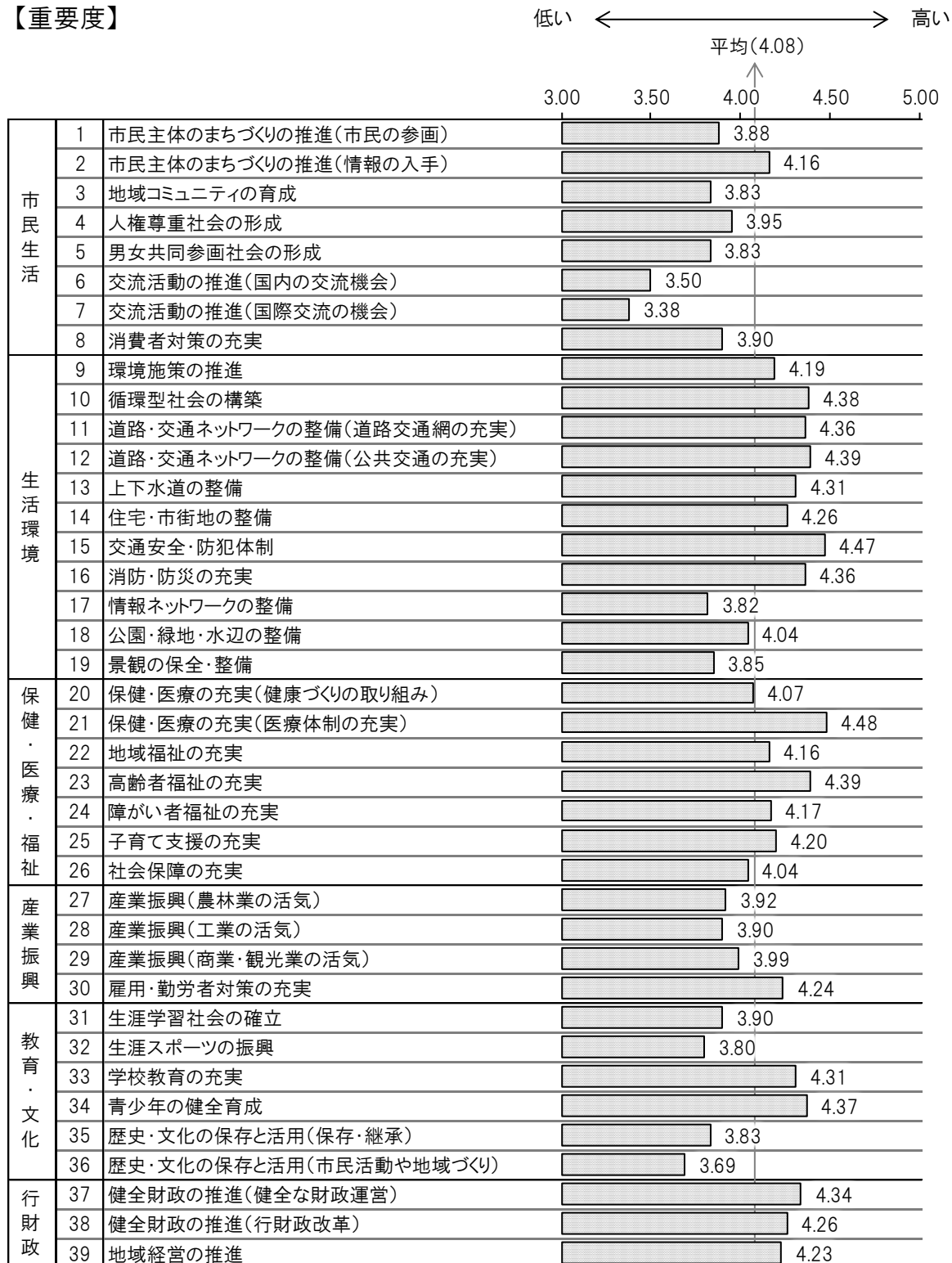


(2) 重要度

重要度の高い項目は、「21. 保健・医療の充実（医療体制の充実）」「15. 交通安全・防犯体制」「12. 道路・交通ネットワークの整備（公共交通の充実）」「23. 高齢者福祉の充実」「10. 循環型社会の構築」などの順となっています。

一方、重要度の低い項目は、「7. 交流活動の推進（国際交流の機会）」「6. 交流活動の推進（国内での交流機会）」「36. 歴史・文化の保存と活用（市民活動や地域づくり）」「32. 生涯スポーツの振興」「17. 情報ネットワークの整備」などです。

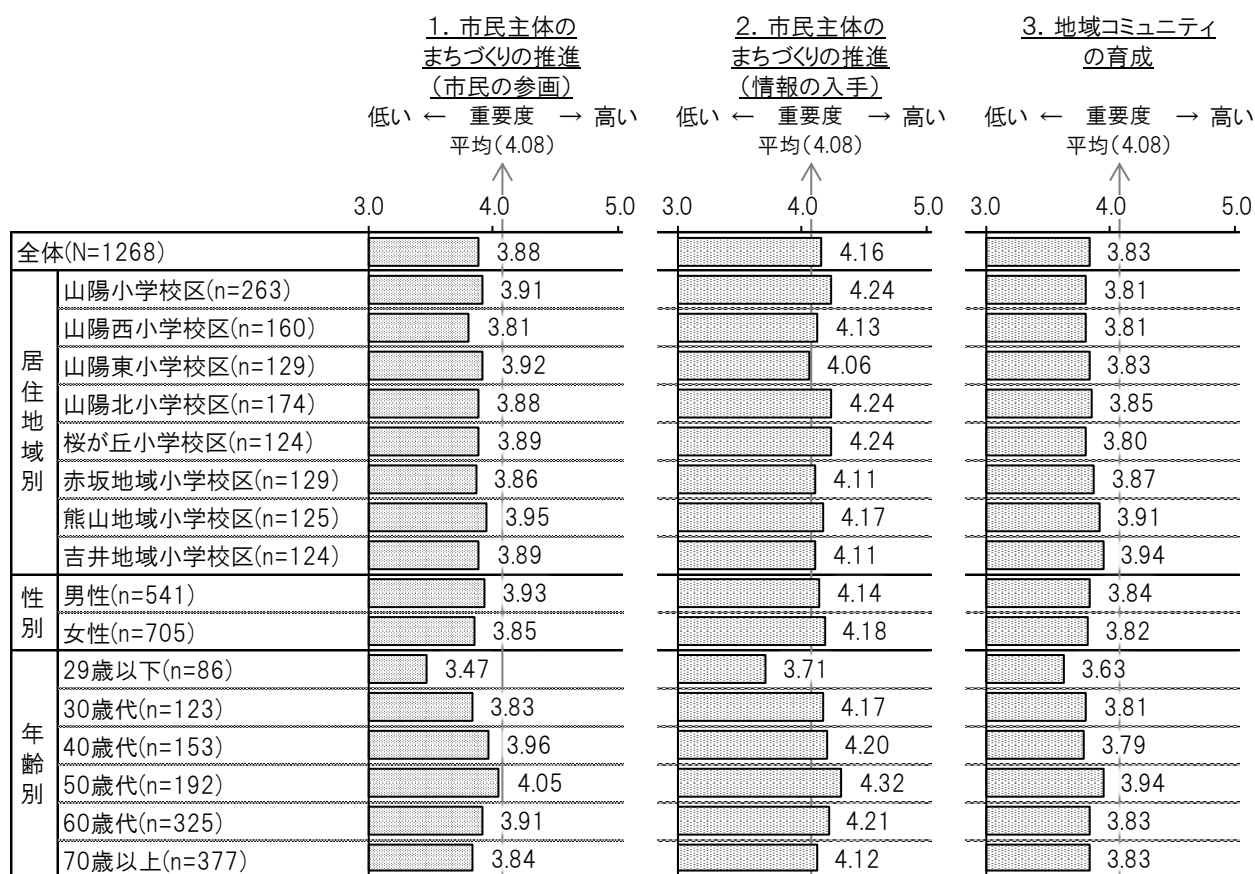
【重要度】



居住地域別でみると、山陽北小学校区で「18. 公園・緑地・水辺の整備」などの重要度がやや高くなっています。一方、桜が丘小学校区で「35. 歴史・文化の保存と活用（保存・継承）」「36. 歴史・文化の保存と活用（市民活動や地域づくり）」などの重要度がやや低くなっています。

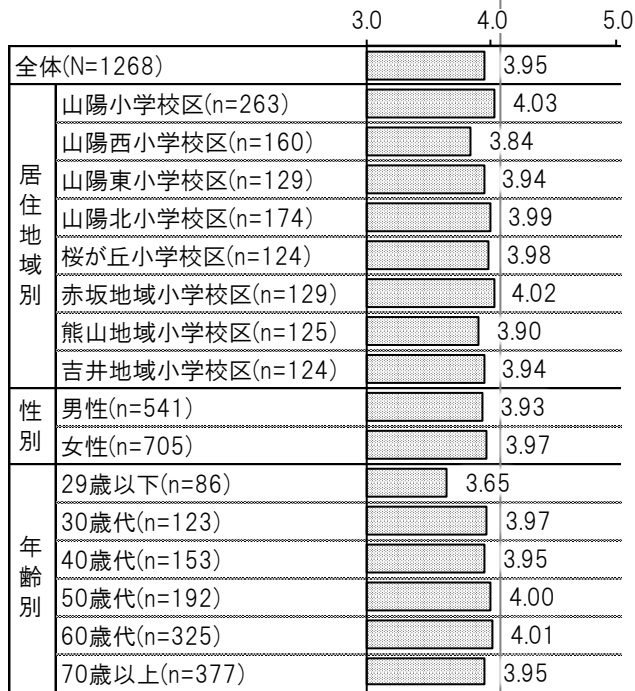
性別でみると、女性は男性よりも「12. 道路・交通ネットワークの整備（公共交通の充実）」「19. 景観の保全・整備」「22. 地域福祉の充実」「23. 高齢者福祉の充実」「24. 障がい者福祉の充実」「25. 子育て支援の充実」などの重要度がやや高くなっています。

年齢別でみると、29歳以下で他の年齢層に比べて重要度が低い項目が多くなっています。また、30歳代で「18. 公園・緑地・水辺の整備」「25. 子育て支援の充実」「34. 青少年の健全育成」、50歳代で「2. 市民主体のまちづくりの推進（情報の入手）」「3. 地域コミュニティの育成」「16. 消防・防災の充実」「24. 障がい者福祉の充実」「28. 産業振興（工業の活気）」「29. 産業振興（商業・観光業の活気）」「37. 健全財政の推進（健全な財政運営）」などの重要度がそれぞれ高くなっています。



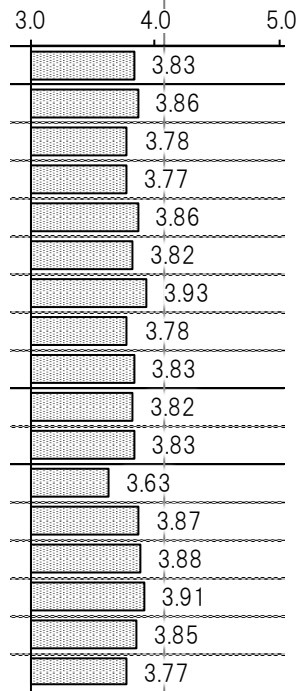
4. 人権尊重社会 の形成

低い ← 重要度 → 高い
平均(4.08)



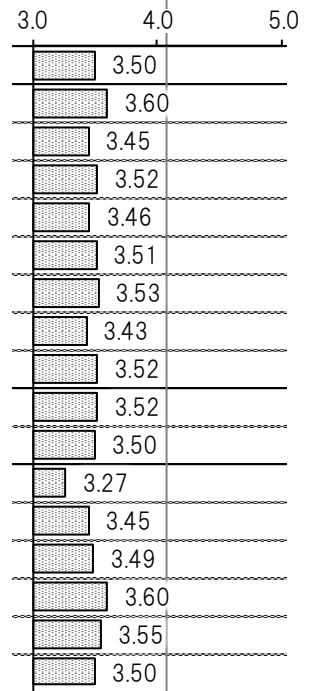
5. 男女共同参画社会 の形成

低い ← 重要度 → 高い
平均(4.08)



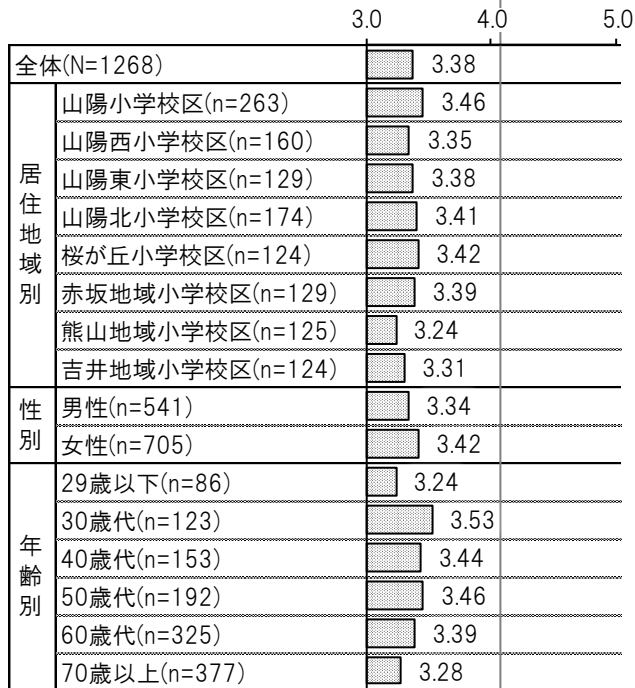
6. 交流活動の推進 (国内の交流機会)

低い ← 重要度 → 高い
平均(4.08)



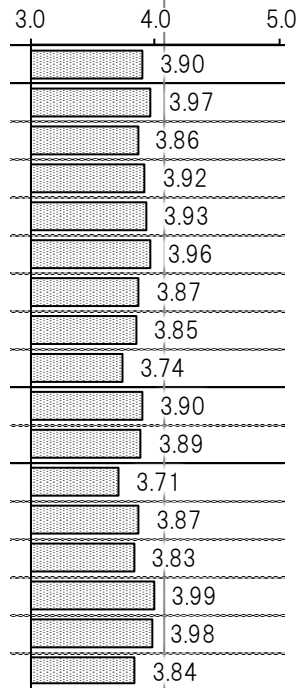
7. 交流活動の推進 (国際交流の機会)

低い ← 重要度 → 高い
平均(4.08)



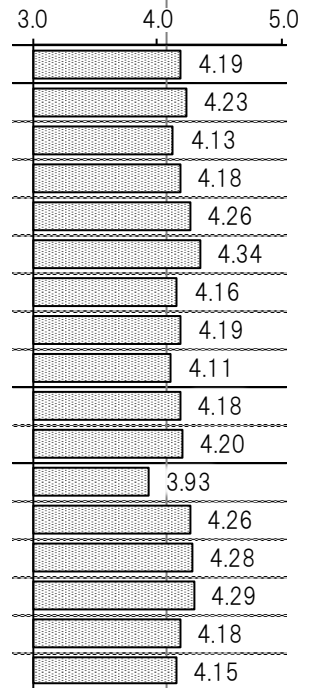
8. 消費者対策の充実

低い ← 重要度 → 高い
平均(4.08)



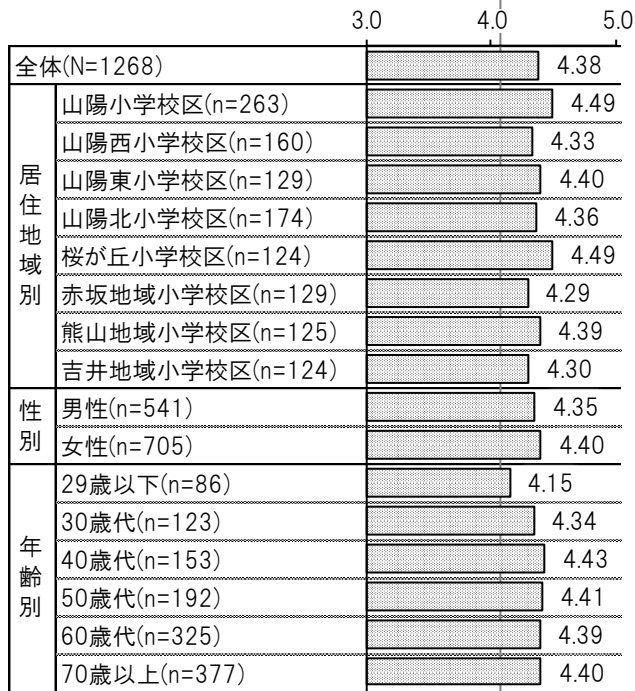
9. 環境施策の推進

低い ← 重要度 → 高い
平均(4.08)



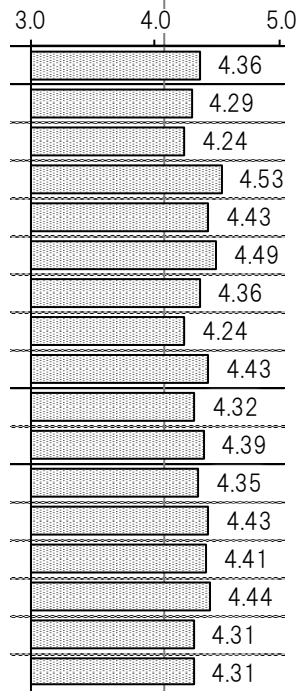
10. 循環型社会の構築

低い ← 重要度 → 高い
平均(4.08)



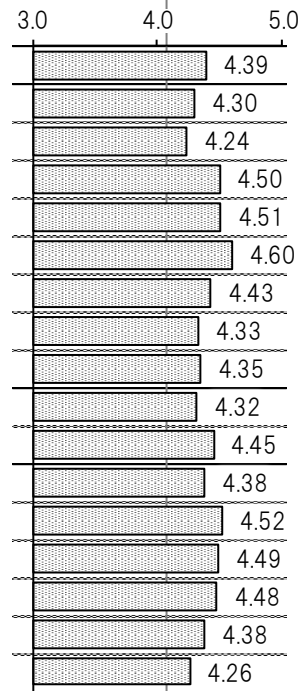
11. 道路・交通ネットワークの整備 (道路交通網の充実)

低い ← 重要度 → 高い
平均(4.08)



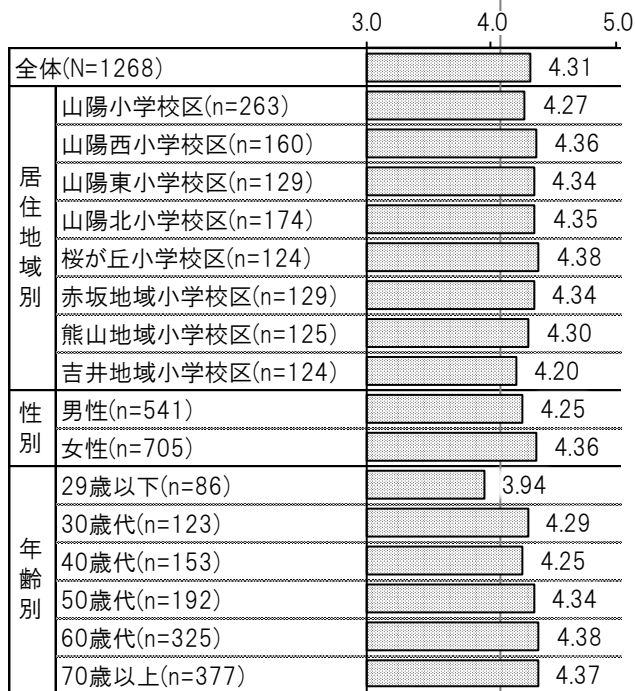
12. 道路・交通ネットワークの整備 (公共交通の充実)

低い ← 重要度 → 高い
平均(4.08)



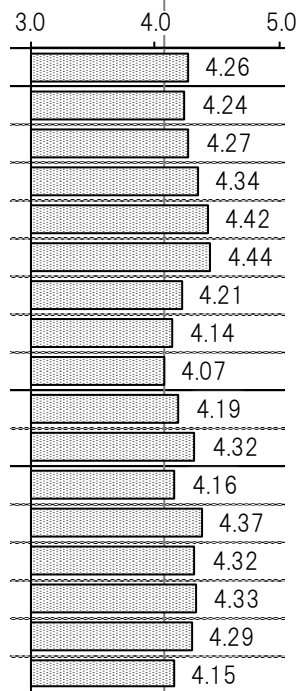
13. 上下水道の整備

低い ← 重要度 → 高い
平均(4.08)



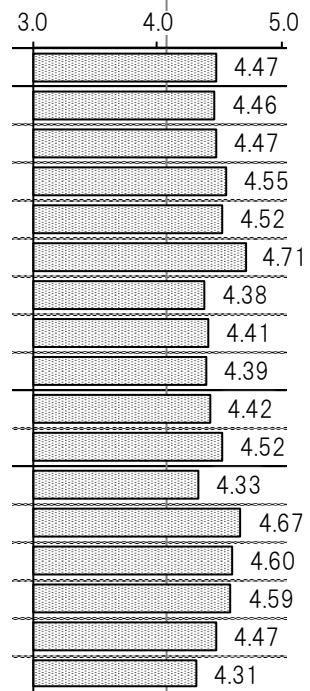
14. 住宅・市街地の整備

低い ← 重要度 → 高い
平均(4.08)



15. 交通安全・防犯体制

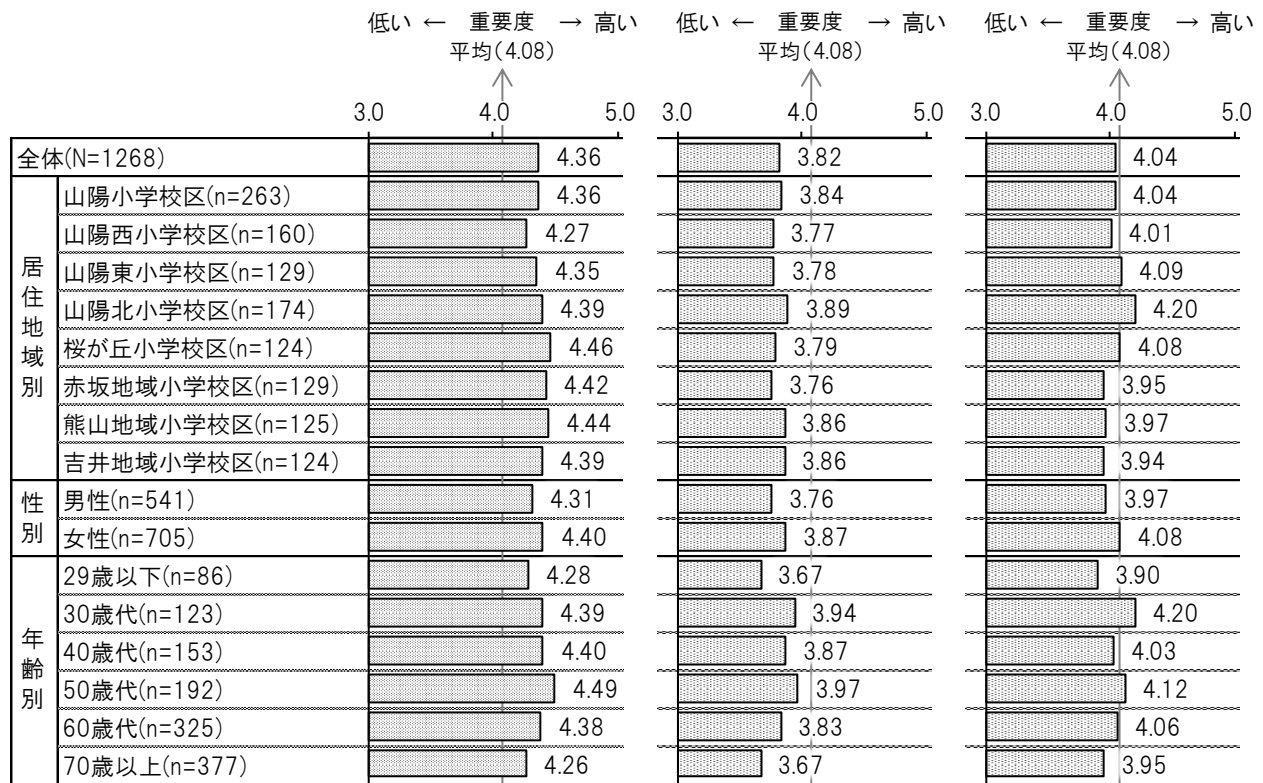
低い ← 重要度 → 高い
平均(4.08)



16. 消防・防災の充実

17. 情報ネットワーク
の整備

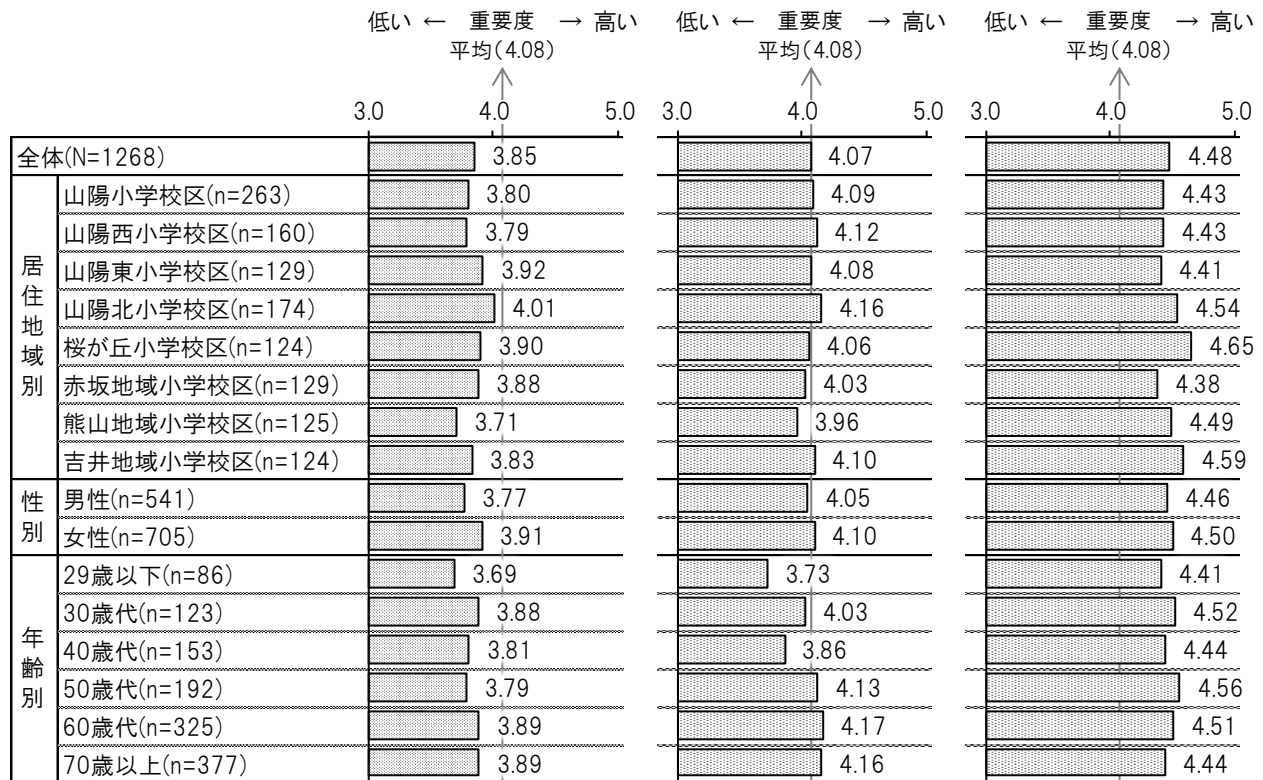
18. 公園・緑地・水辺
の整備



19. 景観の保全・整備

20. 保健・医療の充実
(健康づくりの取り組み)

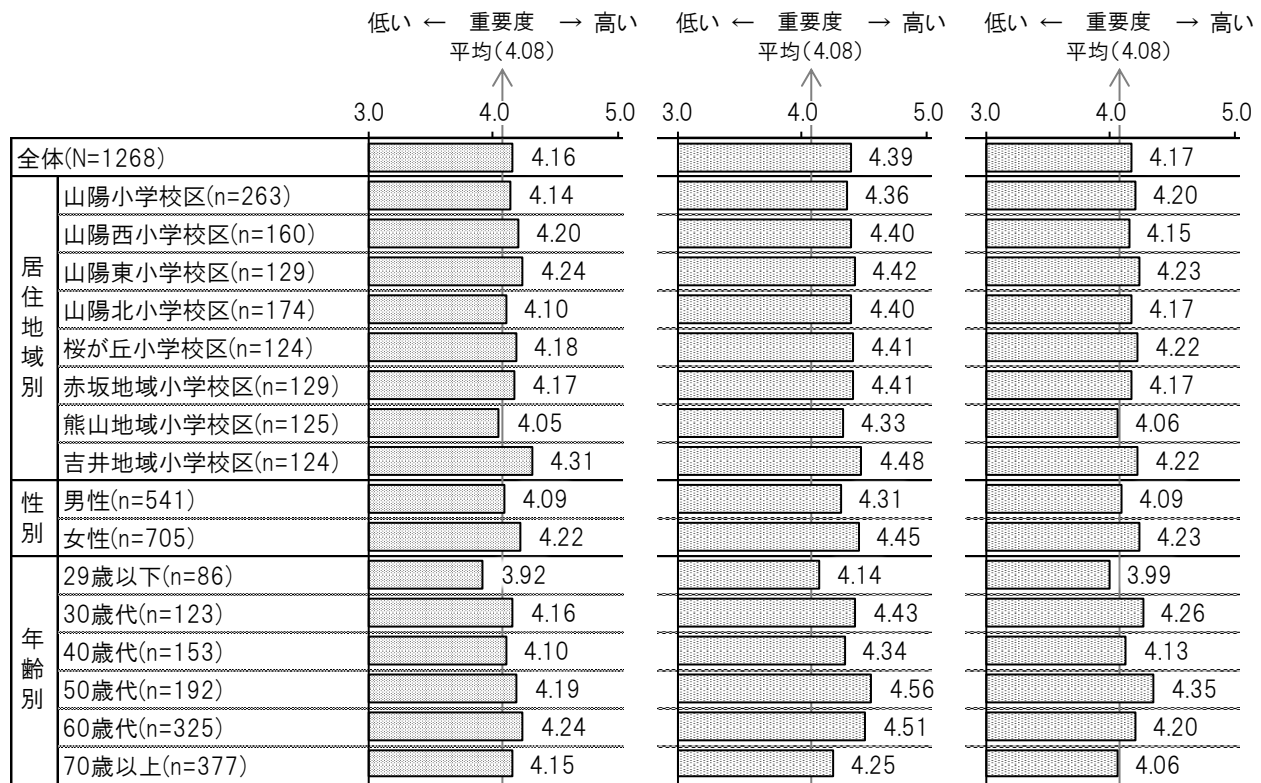
21. 保健・医療の充実
(医療体制の充実)



22. 地域福祉の充実

23. 高齢者福祉の充実

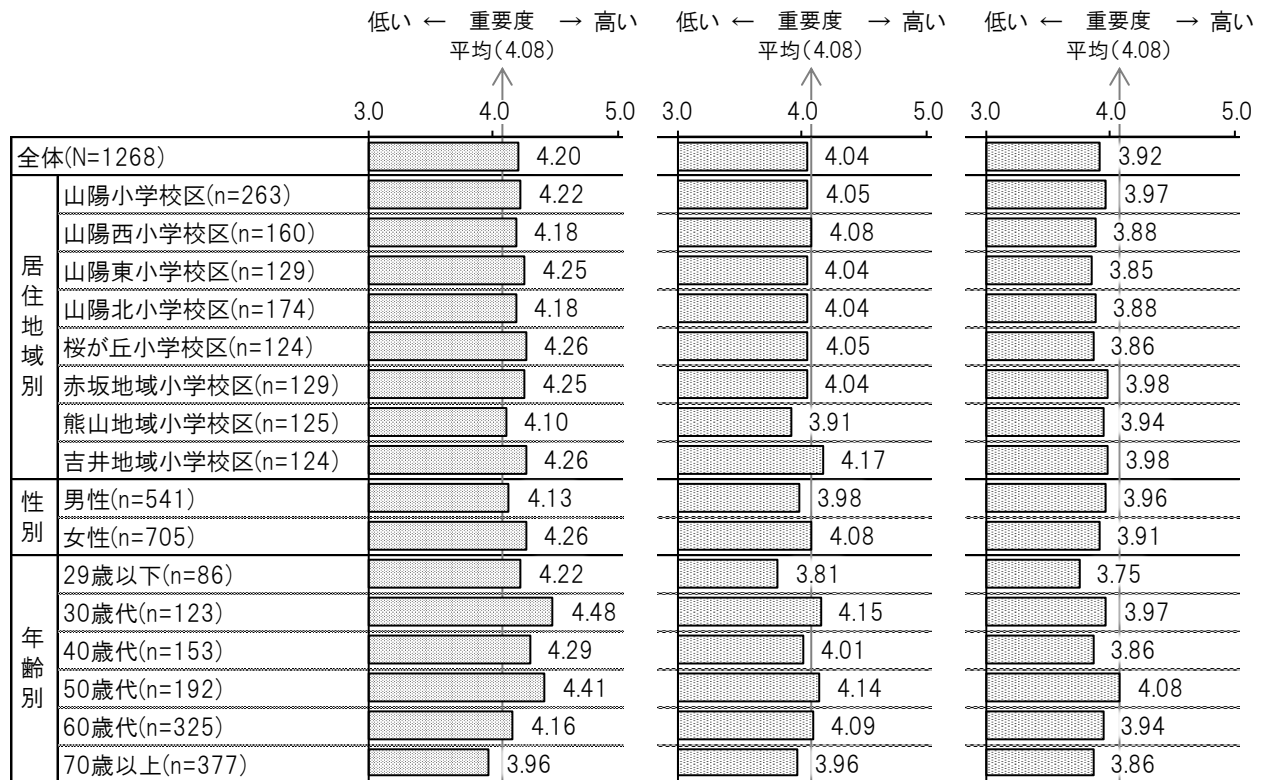
24. 障がい者福祉の充実



25. 子育て支援の充実

26. 社会保障の充実

27. 産業振興 (農林業の活気)



28. 産業振興
(工業の活気)

低い ← 重要度 → 高い
平均(4.08)

3.0 4.0 5.0

全体(N=1268)	3.90
居住地別	
山陽小学校区(n=263)	3.91
山陽西小学校区(n=160)	3.83
山陽東小学校区(n=129)	3.87
山陽北小学校区(n=174)	3.95
桜が丘小学校区(n=124)	3.89
赤坂地域小学校区(n=129)	3.87
熊山地域小学校区(n=125)	3.93
吉井地域小学校区(n=124)	3.96
性別	
男性(n=541)	3.94
女性(n=705)	3.87
年齢別	
29歳以下(n=86)	3.71
30歳代(n=123)	3.85
40歳代(n=153)	3.89
50歳代(n=192)	4.04
60歳代(n=325)	3.96
70歳以上(n=377)	3.82

29. 産業振興
(商業・観光業の活気)

低い ← 重要度 → 高い
平均(4.08)

3.0 4.0 5.0

3.99
4.02
3.95
3.97
4.08
3.97
3.96
3.88
4.02
3.96
4.01
3.80
4.11
3.89
4.22
4.01
3.87

30. 雇用・勤労者対策
の充実

低い ← 重要度 → 高い
平均(4.08)

3.0 4.0 5.0

4.24
4.22
4.12
4.24
4.38
4.24
4.23
4.21
4.34
4.23
4.25
4.19
4.41
4.21
4.45
4.29
4.04

31. 生涯学習社会
の確立

低い ← 重要度 → 高い
平均(4.08)

3.0 4.0 5.0

全体(N=1268)	3.90
居住地別	
山陽小学校区(n=263)	3.95
山陽西小学校区(n=160)	3.88
山陽東小学校区(n=129)	4.02
山陽北小学校区(n=174)	3.95
桜が丘小学校区(n=124)	3.89
赤坂地域小学校区(n=129)	3.96
熊山地域小学校区(n=125)	3.78
吉井地域小学校区(n=124)	3.75
性別	
男性(n=541)	3.84
女性(n=705)	3.94
年齢別	
29歳以下(n=86)	3.79
30歳代(n=123)	3.98
40歳代(n=153)	3.91
50歳代(n=192)	3.95
60歳代(n=325)	3.93
70歳以上(n=377)	3.82

32. 生涯スポーツ
の振興

低い ← 重要度 → 高い
平均(4.08)

3.0 4.0 5.0

3.80
3.76
3.89
3.94
3.88
3.83
3.82
3.69
3.64
3.78
3.82
3.72
3.84
3.86
3.74
3.87
3.75

33. 学校教育の充実

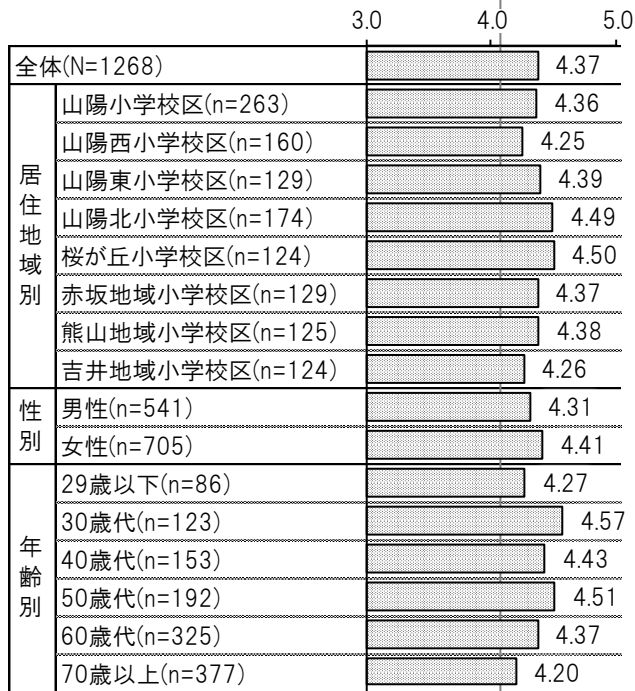
低い ← 重要度 → 高い
平均(4.08)

3.0 4.0 5.0

4.31
4.29
4.22
4.39
4.39
4.39
4.34
4.29
4.24
4.26
4.35
4.23
4.45
4.39
4.45
4.30
4.16

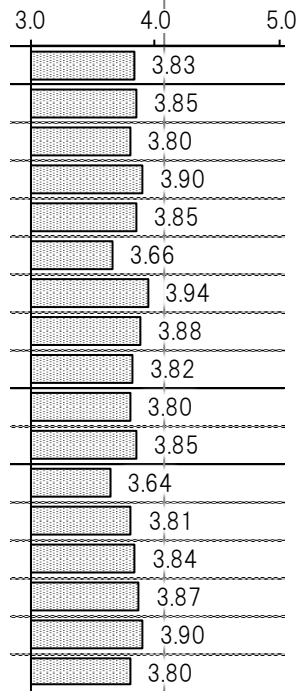
34. 青少年の健全育成

低い ← 重要度 → 高い
平均(4.08)



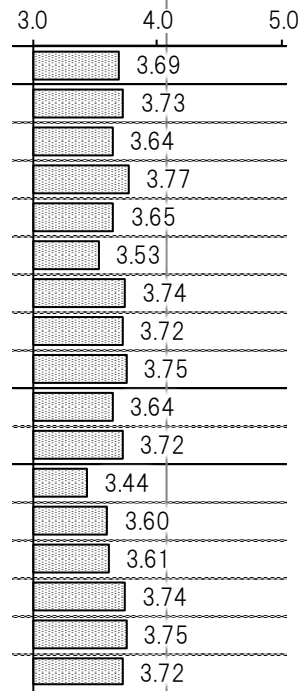
35. 歴史・文化の保存と活用(保存・継承)

低い ← 重要度 → 高い
平均(4.08)



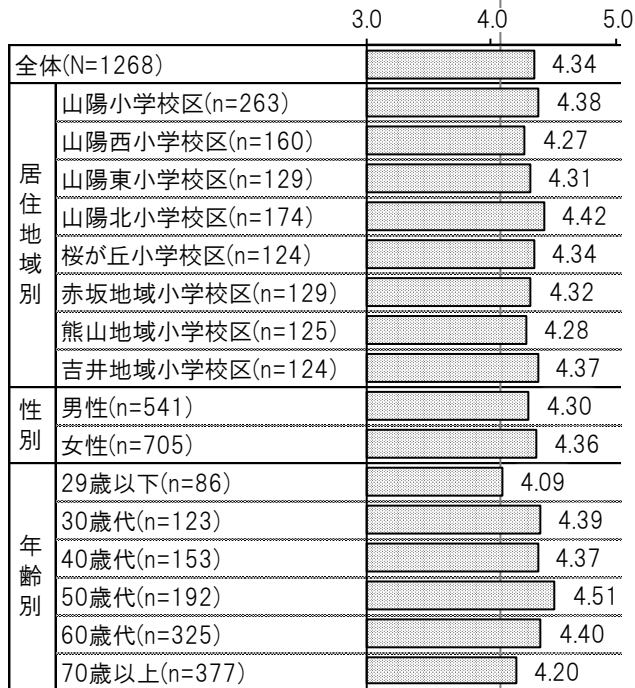
36. 歴史・文化の保存と活用(市民活動や地域づくり)

低い ← 重要度 → 高い
平均(4.08)



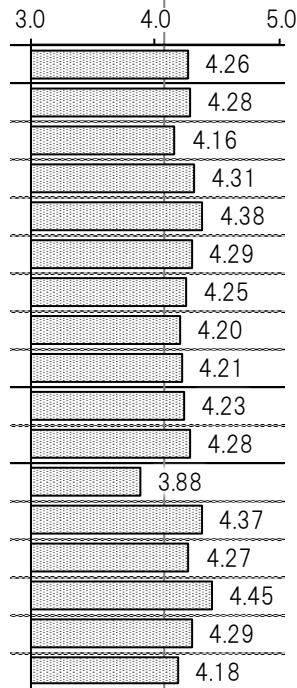
37. 健全財政の推進(健全な財政運営)

低い ← 重要度 → 高い
平均(4.08)



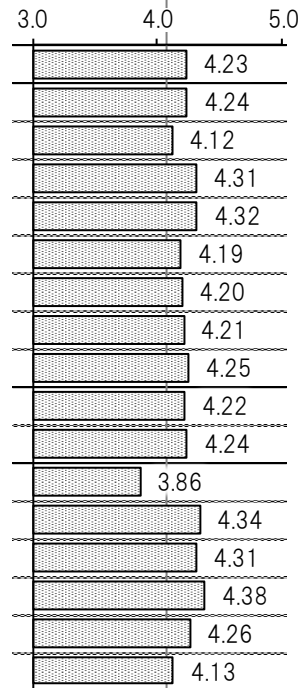
38. 健全財政の推進(行財政改革)

低い ← 重要度 → 高い
平均(4.08)



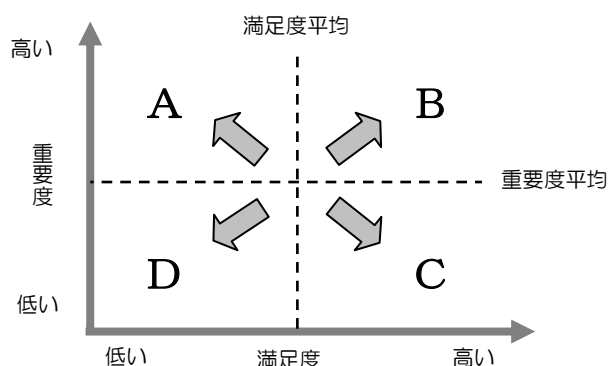
39. 地域経営の推進

低い ← 重要度 → 高い
平均(4.08)



（３）満足度と重要度の相関図による分析

満足度と重要度それぞれの加重平均値をもとに、縦軸に重要度、横軸に満足度を設定し、39 の取り組みを散布図上に示したものが相関図です。



縦軸に重要度、横軸に満足度をとった相関図では、満足度と重要度をマトリクス上に示すことで、各取り組みの位置付けを整理します。満足度と重要度の各々の平均を示す点から左上（A）、右上（B）、右下（C）、左下（D）の4方向に進むにしたがい、以下のような傾向を示しています。

A. 重要度が高く、満足度が低い（重点化・見直し領域）

「9. 環境施策の推進」「11. 道路・交通ネットワークの整備（道路交通網の充実）」「12. 道路・交通ネットワークの整備（公共交通の充実）」「15. 交通安全・防犯体制」「23. 高齢者福祉の充実」「24. 障がい者福祉の充実」「30. 雇用・勤労者対策の充実」「37. 健全財政の推進（健全な財政運営）」「38. 健全財政の推進（行財政改革）」「39. 地域経営の推進」が該当します。

B. 重要度、満足度ともに高い（現状維持領域）

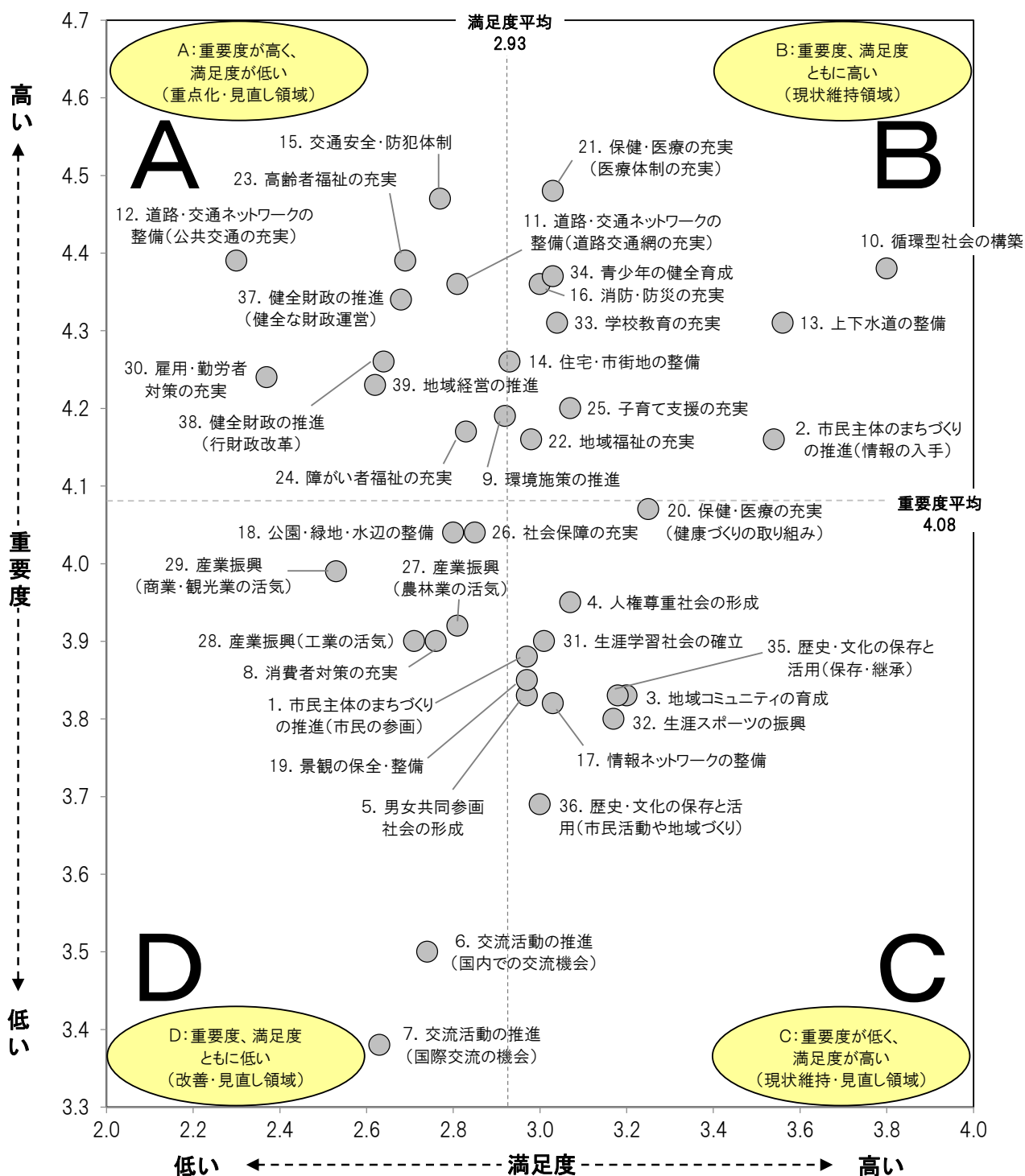
「2. 市民主体のまちづくりの推進（情報の入手）」「10. 循環型社会の構築」「13. 上下水道の整備」「14. 住宅・市街地の整備」「16. 消防・防災の充実」「21. 保健・医療の充実（医療体制の充実）」「22. 地域福祉の充実」「25. 子育て支援の充実」「33. 学校教育の充実」「34. 青少年の健全育成」が該当します。

C. 重要度が低く、満足度が高い（現状維持・見直し領域）

「1. 市民主体のまちづくりの推進（市民の参画）」「3. 地域コミュニティの育成」「4. 人権尊重社会の形成」「5. 男女共同参画社会の形成」「17. 情報ネットワークの整備」「19. 景観の保全・整備」「20. 保健・医療の充実（健康づくりの取り組み）」「31. 生涯学習社会の確立」「32. 生涯スポーツの振興」「35. 歴史・文化の保存と活用（保存・継承）」「36. 歴史・文化の保存と活用（市民活動や地域づくり）」が該当します。

D. 重要度、満足度ともに低い（改善・見直し領域）

「6. 交流活動の推進（国内での交流機会）」「7. 交流活動の推進（国際交流の機会）」
「8. 消費者対策の充実」「18. 公園・緑地・水辺の整備」「26. 社会保障の充実」「27. 産業振興（農林業の活気）」「28. 産業振興（工業の活気）」「29. 産業振興（商業・観光業の活気）」が該当します。



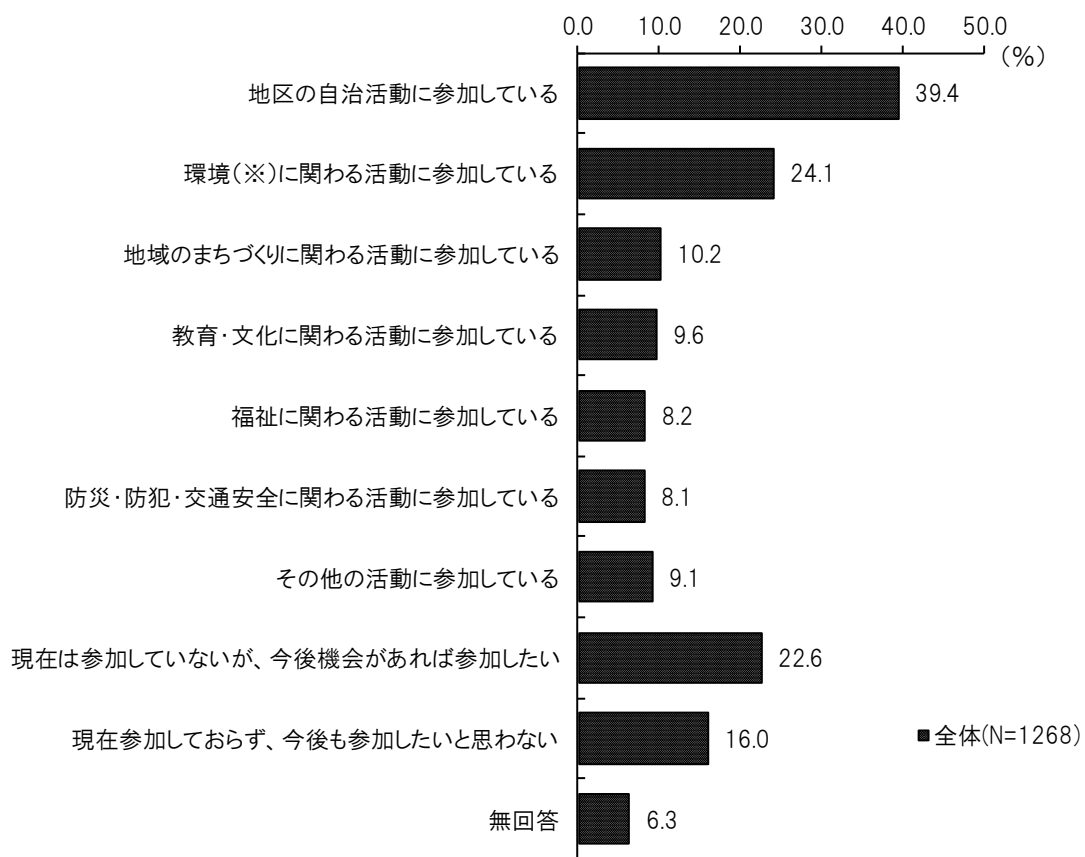
【3】赤磐市の今後のまちづくりについて

1. 市民主体の活動への参加状況と参加意向

問 18 あなたは、市民主体の活動に参加していますか。あてはまるものすべてを選んでください。

市民主体の活動への参加状況については、「地区の自治活動に参加している」が 39.4%と最も高く、次いで「環境（自然保全・ごみ対策など）に関わる活動に参加している」（24.1%）、「地域のまちづくりに関わる活動に参加している」（10.2%）の順となっています。

また参加意向については、「現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい」が 22.6%を占める一方で、「現在参加しておらず、今後も参加したいと思わない」が 16.0%となっています。



※ 自然保全・ごみ対策など

居住地域別でみると、桜が丘小学校区で「地区の自治活動に参加している」、吉井地域小学校区で「地域のまちづくりに関わる活動に参加している」の割合が他の地域に比べて高くなっています。

性別でみると、男性で「地区の自治活動に参加している」の割合が女性に比べて高くなっています。

年齢別でみると、29歳以下で「現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい」「現在参加しておらず、今後も参加したいと思わない」、40歳代で「教育・文化に関わる活動に参加している」、50歳代で「地区の自治活動に参加している」、60歳代で「環境（自然保全・ごみ対策など）に関わる活動に参加している」の割合が他の年齢層に比べてそれぞれ高くなっています。

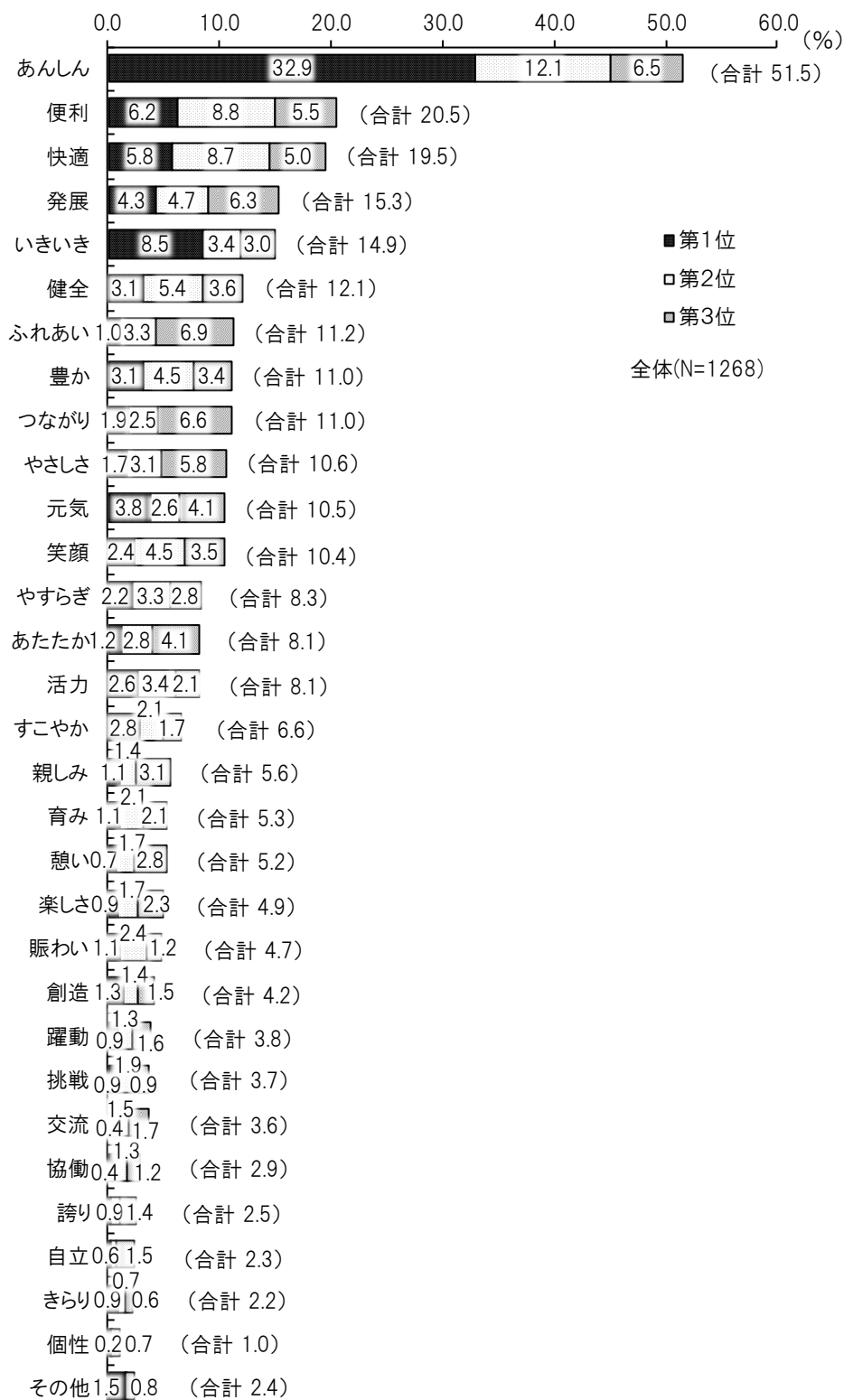
単位(%)		し地区 の自 治活 動に 参 加	動対環 に策境 参加(へ し自然 保全 るわ・ ご活 み	るわ地 域の 活 動ま ちづ くりに 関	動教 育・ 参 加文 化に 関 わ る 活	加福 し社 に 関 わ る 活 動に 参	てに防 災 の 防 犯 活 動・ 交 通 安 全	てそ の 他 の 活 動に 参 加 し	参が現 加、在 し今は た後参 い機加 ないし ばあ い	わ今現 な後 も参 加 し て お ら ず 、
全体(N=1268)		39.4	24.1	10.2	9.6	8.2	8.1	9.1	22.6	16.0
居住地 域別	山陽小学校区(n=263)	39.2	27.0	11.0	9.1	9.5	9.9	8.0	23.2	14.8
	山陽西小学校区(n=160)	36.3	19.4	5.6	13.8	6.3	3.8	10.6	23.8	15.6
	山陽東小学校区(n=129)	34.9	21.7	9.3	11.6	6.2	7.8	10.9	24.8	17.1
	山陽北小学校区(n=174)	35.6	14.9	6.3	8.6	8.0	8.6	7.5	32.2	14.9
	桜が丘小学校区(n=124)	50.8	21.0	7.3	9.7	6.5	4.0	8.1	16.9	20.2
	赤坂地域小学校区(n=129)	35.7	30.2	14.7	8.5	12.4	12.4	11.6	17.8	19.4
	熊山地域小学校区(n=125)	46.4	34.4	9.6	7.2	3.2	8.0	6.4	21.6	12.8
	吉井地域小学校区(n=124)	38.7	28.2	21.8	8.1	12.9	8.9	12.9	16.1	15.3
性別	男性(n=541)	44.2	24.6	10.7	8.7	7.6	10.9	10.5	22.9	16.3
	女性(n=705)	35.5	24.0	9.9	10.4	8.5	6.0	7.9	22.7	16.0
年齢 別	29歳以下(n=86)	14.0	7.0	2.3	4.7	1.2	4.7	2.3	44.2	30.2
	30歳代(n=123)	31.7	13.8	7.3	9.8	4.1	12.2	4.9	27.6	20.3
	40歳代(n=153)	39.9	16.3	7.2	17.0	5.2	10.5	7.2	26.1	13.1
	50歳代(n=192)	50.0	23.4	9.9	6.8	7.8	7.3	9.4	28.1	8.9
	60歳代(n=325)	46.8	32.0	13.5	9.5	9.5	8.0	12.0	20.6	11.1
	70歳以上(n=377)	35.5	28.6	11.7	9.3	11.4	7.2	10.3	13.8	20.2

2. 赤磐市にふさわしいキーワードについて

問 19 今後赤磐市が目指すまちには、どのようなキーワードがふさわしいと思いますか。
あなたの考えに最も近いものを3つ選び、順位をつけて記入してください。

赤磐市にふさわしいキーワードについては、「あんしん」が 51.5%と最も高く、次いで「便利」(20.5%)、「快適」(19.5%)、「発展」(15.3%)の順となっています。

第1位にあげられているものとしては「あんしん」が 32.9%と最も高くなっています。



※「無回答」(4.7%)は順位がないため、上グラフから除いています。

居住地域別でみると、山陽西小学校区で「便利」、山陽北小学校区で「快適」、熊山地域小学校区で「あんしん」「ふれあい」の割合が他の地域に比べてやや高くなっています。

性別、年齢別では大きな差は目立ちません。

単位(%)		あんしん	便利	快適	発展	いきいき	健全	ふれあい	豊か	つながり	やさしさ	元気	笑顔	やすらぎ	活力	あたたか	すこやか
全体(N=1268)		51.5	20.5	19.5	15.3	14.9	12.1	11.2	11.0	11.0	10.6	10.5	10.4	8.3	8.1	8.1	6.6
地域別	山陽小学校区(n=263)	52.1	16.3	16.3	19.8	14.5	11.7	9.9	14.5	10.6	10.2	12.9	9.4	11.0	8.4	8.4	6.5
	山陽西小学校区(n=160)	55.7	28.2	23.1	8.8	16.2	15.1	10.6	8.7	12.5	9.4	10.7	9.5	5.0	8.8	8.1	6.3
	山陽東小学校区(n=129)	53.5	18.6	21.7	17.9	15.5	14.8	8.6	11.7	14.7	10.2	11.6	6.3	7.8	7.0	7.0	7.8
	山陽北小学校区(n=174)	50.0	23.0	29.3	16.7	16.1	13.2	9.7	14.3	9.1	13.2	5.1	10.3	9.2	6.3	10.2	6.9
	桜が丘小学校区(n=124)	50.8	21.8	20.2	13.7	12.0	16.1	15.3	8.8	8.8	10.5	9.6	8.8	8.8	8.0	8.8	6.4
	赤坂地域小学校区(n=129)	51.1	23.3	17.9	12.4	14.0	10.0	10.1	10.9	12.4	9.4	14.1	14.8	6.3	4.7	6.3	7.0
	熊山地域小学校区(n=125)	60.0	13.6	12.0	12.0	16.0	11.2	19.2	8.0	12.0	13.6	7.2	10.4	8.8	11.2	9.6	4.0
	吉井地域小学校区(n=124)	40.3	20.2	16.1	17.7	16.1	5.6	4.8	7.2	8.0	10.4	13.6	15.3	5.6	10.4	6.4	8.0
性別	男性(n=541)	49.6	16.2	19.9	16.3	14.6	12.1	11.5	11.3	8.5	12.4	12.9	10.3	9.6	9.1	7.0	7.2
	女性(n=705)	53.1	23.9	19.1	14.9	15.4	12.3	10.9	10.9	13.0	9.2	8.8	10.4	7.3	7.3	9.2	6.1
年齢別	29歳以下(n=86)	53.5	24.4	23.2	12.8	19.8	5.8	10.4	12.8	5.8	10.5	5.8	9.3	8.2	4.7	10.5	7.0
	30歳代(n=123)	59.4	19.5	25.2	17.1	9.7	11.4	5.7	14.7	13.0	10.6	7.4	9.7	5.6	7.3	6.5	9.8
	40歳代(n=153)	48.4	22.9	21.0	18.3	15.0	17.0	9.1	15.1	13.8	6.5	8.6	9.8	7.2	4.0	6.6	4.6
	50歳代(n=192)	52.1	24.5	16.2	18.7	15.1	11.5	7.8	10.9	12.0	12.1	9.9	12.0	8.9	12.0	7.8	9.3
	60歳代(n=325)	51.4	22.1	25.3	14.4	16.4	12.3	12.0	9.5	10.8	12.6	10.5	10.4	9.2	6.8	8.3	5.6
	70歳以上(n=377)	49.8	15.6	13.0	13.0	14.3	12.2	14.5	9.3	10.1	9.9	14.0	10.4	8.2	9.5	9.1	5.6

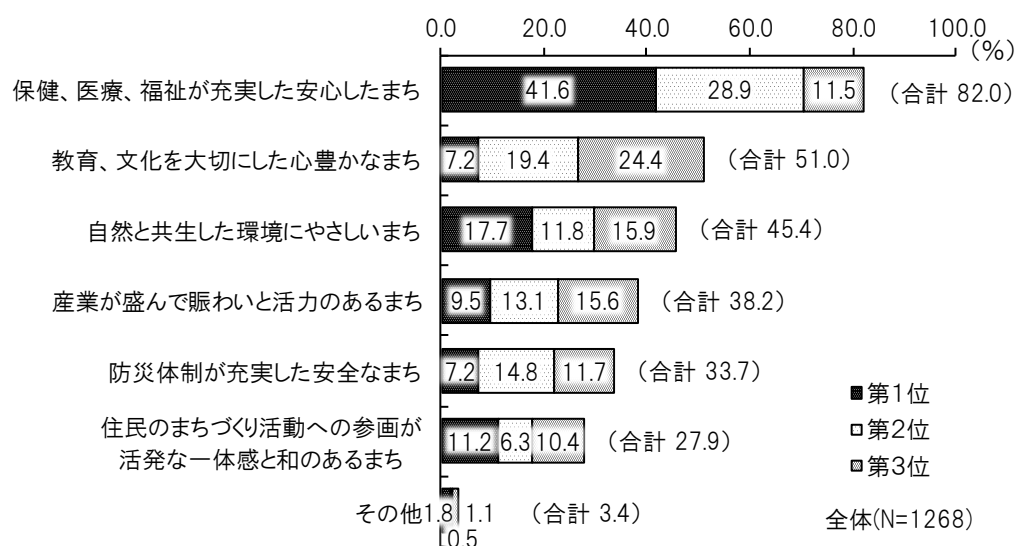
単位(%)		親しみ	育み	憩い	楽しさ	賑わい	創造	躍動	挑戦	交流	協働	誇り	自立	きらり	個性	その他
全体(N=1268)		5.6	5.3	5.2	4.9	4.7	4.2	3.8	3.7	3.6	2.9	2.5	2.3	2.2	1.0	2.4
地域別	山陽小学校区(n=263)	4.9	4.2	3.0	4.1	5.3	4.6	5.3	4.9	1.2	3.1	3.4	4.3	3.4	1.2	1.2
	山陽西小学校区(n=160)	3.7	2.5	6.2	8.2	5.0	5.7	1.9	4.4	5.0	4.4	1.2	3.1	1.2	1.9	1.9
	山陽東小学校区(n=129)	3.2	8.5	5.5	6.2	5.5	3.9	3.2	3.2	3.2	0.8	3.9	0.0	0.8	0.8	1.6
	山陽北小学校区(n=174)	5.1	6.3	8.1	1.2	5.1	4.6	2.9	3.5	4.0	0.6	1.1	0.6	1.8	0.0	2.3
	桜が丘小学校区(n=124)	7.2	7.2	7.2	7.2	4.8	2.4	4.8	4.0	4.8	2.4	1.6	1.6	2.4	1.6	1.6
	赤坂地域小学校区(n=129)	4.0	7.8	6.3	4.6	3.1	4.0	5.5	4.7	3.1	7.0	4.7	3.9	3.1	0.0	3.9
	熊山地域小学校区(n=125)	6.4	5.6	6.4	1.6	4.8	4.8	1.6	3.2	4.8	1.6	1.6	2.4	2.4	1.6	3.2
	吉井地域小学校区(n=124)	8.8	2.4	1.6	6.4	4.0	4.8	4.8	0.8	2.4	3.2	3.2	2.4	1.6	0.0	3.2
性別	男性(n=541)	5.1	2.6	4.8	6.6	5.2	6.8	2.6	4.8	3.9	3.3	3.1	2.9	2.0	2.1	2.4
	女性(n=705)	6.1	7.3	5.7	3.6	4.6	2.1	5.0	2.8	2.9	2.6	2.1	1.9	2.4	0.2	2.1
年齢別	29歳以下(n=86)	8.1	12.9	7.0	7.1	14.0	1.2	2.4	0.0	1.2	5.8	3.5	2.4	2.3	1.2	3.5
	30歳代(n=123)	3.2	13.9	6.5	1.6	9.0	4.0	3.2	6.5	4.0	0.8	0.8	1.6	3.2	2.4	2.4
	40歳代(n=153)	7.9	10.5	3.4	4.0	5.9	4.6	3.3	4.0	5.2	2.7	1.3	2.6	4.6	0.0	2.6
	50歳代(n=192)	4.7	5.2	5.7	4.7	5.3	3.1	5.2	3.6	3.0	2.1	2.6	1.0	2.1	1.5	2.5
	60歳代(n=325)	4.3	2.1	5.6	7.1	2.7	4.5	5.9	3.0	3.3	3.1	1.8	4.0	1.8	0.6	1.5
	70歳以上(n=377)	6.6	1.3	5.1	4.5	2.3	5.4	2.4	4.0	3.0	3.2	4.0	1.8	1.3	1.1	2.4

3. 赤磐市の今後のまちづくりについて

問 20 あなたは、これからの赤磐市をどのようなまちにしていきたいと思いますか。あなたの考えに最も近いものを3つ選び、順位をつけて記入してください。

赤磐市の今後のまちづくりについては、「保健、医療、福祉が充実した安心したまち」が 82.0%と最も高く、次いで「教育、文化を大切にしたい心豊かなまち」(51.0%)、「自然と共生した環境にやさしいまち」(45.4%)、「産業が盛んで賑わいと活力のあるまち」(38.2%)、「防災体制が充実した安全なまち」(33.7%)、「住民のまちづくり活動への参画が活発な一体感と和のあるまち」(27.9%)の順となっています。

また、第1位にあげられたものとしては、「保健、医療、福祉が充実した安心したまち」が 41.6%と最も高くなっています。



※「特になし」(1.0%)、「無回答」(2.8%)は順位がないため、上グラフから除いています。

居住地域別でみると、桜が丘小学校区で「自然と共生した環境にやさしいまち」の割合が他の地域に比べてやや高くなっています。

性別でみると、男性で「産業が盛んで賑わいと活力のあるまち」の割合が女性に比べてやや高くなっています。

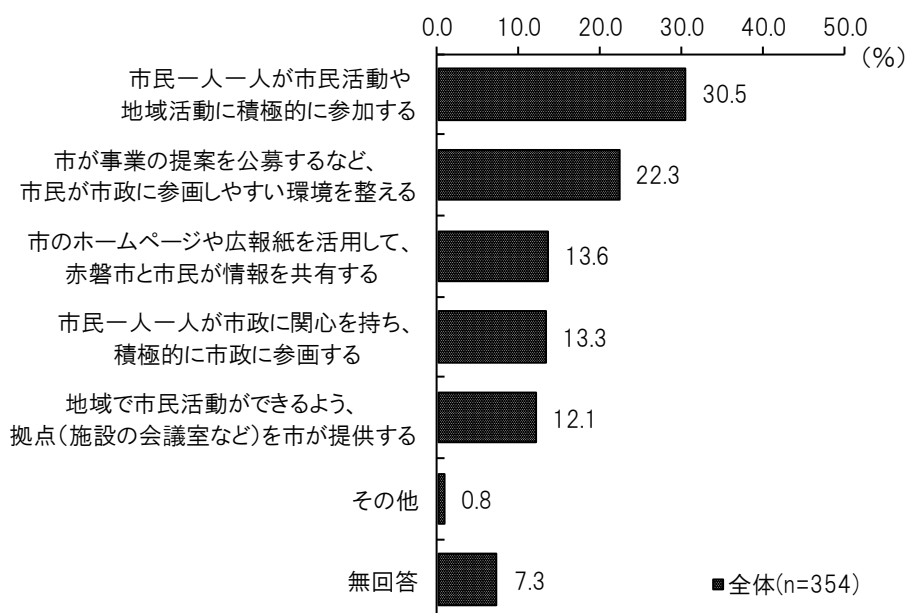
年齢別でみると、30歳代で「教育、文化を大切にしたい心豊かなまち」、40歳代で「産業が盛んで賑わいと活力のあるまち」の割合が他の年齢層に比べてそれぞれ高くなっています。

単位(%)		保健、医療、福祉が充実した安心したまち	教育、文化を大切にしたい心豊かなまち	自然と共生した環境にやさしいまち	産業が盛んで賑わいと活力のあるまち	防災体制が充実した安全なまち	住民のまちづくり活動への参加があるまち	その他	特になし
全体(N=1268)		82.0	51.0	45.4	38.2	33.7	27.9	3.4	1.0
地域別	山陽小学校区(n=263)	80.6	53.3	40.2	46.0	36.5	25.0	4.2	0.4
	山陽西小学校区(n=160)	86.2	58.1	46.9	33.2	33.2	35.0	1.9	0.0
	山陽東小学校区(n=129)	82.2	55.1	46.5	34.2	36.4	29.5	2.4	0.0
	山陽北小学校区(n=174)	83.8	50.6	47.6	32.7	32.2	33.3	4.0	1.7
	桜が丘小学校区(n=124)	79.0	48.5	56.5	33.1	31.4	21.9	4.8	2.4
	赤坂地域小学校区(n=129)	79.2	47.3	44.2	41.9	32.6	34.1	3.9	1.6
	熊山地域小学校区(n=125)	83.2	50.4	43.2	36.8	40.8	23.2	3.2	1.6
	吉井地域小学校区(n=124)	83.1	42.7	41.9	43.6	23.3	24.2	0.8	0.8
性別	男性(n=541)	81.8	49.6	46.3	42.4	32.7	28.3	4.1	0.4
	女性(n=705)	82.8	52.7	44.7	34.7	34.7	27.6	2.8	1.6
年齢別	29歳以下(n=86)	76.7	51.2	48.8	33.6	34.9	25.5	5.8	2.3
	30歳代(n=123)	80.5	66.7	42.3	32.5	35.8	24.3	5.7	1.6
	40歳代(n=153)	81.6	60.7	34.6	45.8	28.1	28.7	6.6	1.3
	50歳代(n=192)	84.9	52.6	44.8	43.2	39.5	25.0	2.6	0.5
	60歳代(n=325)	85.3	47.1	48.6	39.4	33.5	29.8	3.3	0.6
	70歳以上(n=377)	79.8	45.2	47.5	33.7	32.4	29.5	1.1	1.1

4. 住民の活動への参画が活発なまちづくりに必要な取り組み

問 21-1 問 20 で「1. 住民のまちづくり活動への参画が活発な一体感と和のあるまち」を選択された方にお聞きします。このようなまちにしていくなめには、どのような取り組みが必要だと思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。

住民の活動への参画が活発なまちづくりに必要な取り組みについては、「市民一人一人が市民活動や地域活動に積極的に参加する」が30.5%と最も高く、次いで「市が事業の提案を公募するなど、市民が市政に参画しやすい環境を整える」(22.3%)、「市のホームページや広報紙を活用して、赤磐市と市民が情報を共有する」(13.6%)、「市民一人一人が市政に関心を持ち、積極的に市政に参画する」(13.3%)、「地域で市民活動ができるよう、拠点(施設の会議室など)を市が提供する」(12.1%)の順となっています。



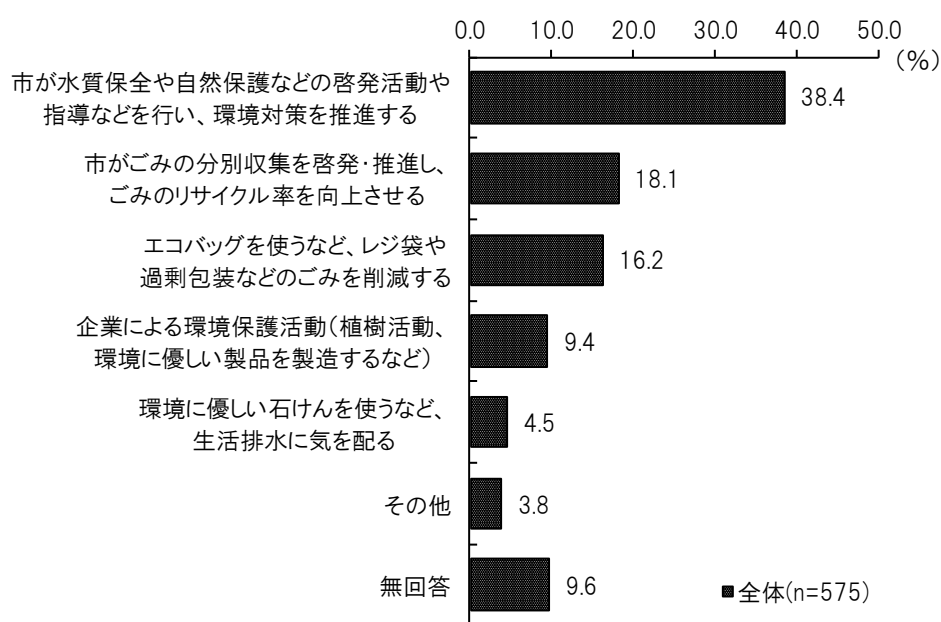
年齢別でみると、29歳以下で「市が事業の提案を公募するなど、市民が市政に参画しやすい環境を整える」の割合が他の年齢層に比べて高くなっています。

46

5. 自然と共生したまちづくりに必要な取り組み

問 21-2 問 20 で「2. 自然と共生した環境にやさしいまち」を選択された方にお聞きします。このようなまちにしていくなめには、どのような取り組みが必要だと思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。

自然と共生したまちづくりに必要な取り組みについては、「市が水質保全や自然保護などの啓発活動や指導などを行い、環境対策を推進する」が38.4%と最も高く、次いで「市がごみの分別収集を啓発・推進し、ごみのリサイクル率を向上させる」(18.1%)、「エコバッグを使うなど、レジ袋や過剰包装などのごみを削減する」(16.2%)の順となっています。



居住地域別でみると、山陽北小学校区で「市が水質保全や自然保護などの啓発活動や指導などを行い、環境対策を推進する」、桜が丘小学校区で「市がごみの分別収集を啓発・推進し、ごみのリサイクル率を向上させる」の割合が他の地域に比べてそれぞれ高くなっています。

性別でみると、男性で「市が水質保全や自然保護などの啓発活動や指導などを行い、環境対策を推進する」の割合が女性に比べて高くなっています。

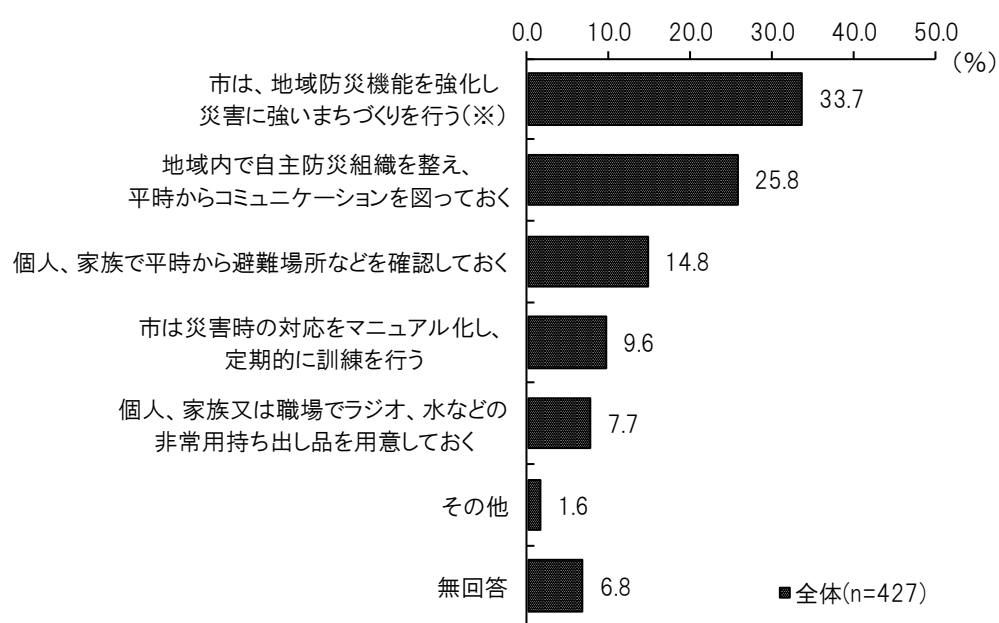
年齢別でみると、60歳代で「市が水質保全や自然保護などの啓発活動や指導などを行い、環境対策を推進する」の割合が他の年齢層に比べて高くなっています。

単位(%)		進どな市 すをどが る行の啓 い啓質 、発保 環活全 境動や 対や自 策指然 を導保 推な護	イ発市 ク・が ル推ご 率進み をし の、分 上ご別 さみ収 せの集 るリを サ啓	ごレエ みジコ を袋バ 削やッ 減過グ す剰を る包使 装うな どの、	いへ企 製植業 品樹に を活よ 製動る 造、環 す境保 る境に な優活 し動	配う環 るな境 に、優 生し 活い 排石 水け にん 気を使	その他
全体(n=575)		38.4	18.1	16.2	9.4	4.5	3.8
居住地域別	山陽小学校区(n=106)	41.5	16.0	18.9	5.7	5.7	2.8
	山陽西小学校区(n=75)	36.0	16.0	26.7	9.3	1.3	2.7
	山陽東小学校区(n=60)	28.3	20.0	20.0	15.0	3.3	5.0
	山陽北小学校区(n=83)	51.8	15.7	13.3	9.6	2.4	2.4
	桜が丘小学校区(n=70)	20.0	32.9	14.3	17.1	5.7	2.9
	赤坂地域小学校区(n=57)	47.4	7.0	3.5	12.3	7.0	7.0
	熊山地域小学校区(n=54)	44.4	18.5	11.1	5.6	3.7	7.4
	吉井地域小学校区(n=52)	38.5	17.3	17.3	1.9	7.7	3.8
性別	男性(n=251)	43.8	15.1	14.7	8.4	5.2	4.8
	女性(n=315)	34.3	20.3	17.8	10.5	3.8	2.9
年齢別	29歳以下(n=42)	28.6	21.4	23.8	14.3	4.8	4.8
	30歳代(n=52)	42.3	19.2	21.2	9.6	0.0	3.8
	40歳代(n=53)	28.3	18.9	13.2	18.9	9.4	7.5
	50歳代(n=86)	37.2	20.9	14.0	11.6	3.5	3.5
	60歳代(n=158)	46.2	15.2	15.2	5.7	5.7	3.2
	70歳以上(n=179)	37.4	17.9	15.6	7.8	3.4	3.4

6. 防災体制が充実したまちづくりに必要な取り組み

問 21-3 問 20 で「3. 防災体制が充実した安全なまち」を選択された方にお聞きします。
 このようなまちにしていくためには、どのような取り組みが必要だと思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。

防災体制が充実したまちづくりに必要な取り組みについては、「市は、砂川の改修、建築物の耐震化や避難所の指定など、地域防災機能を強化し災害に強いまちづくりを行う」が33.7%と最も高く、次いで「地域内で自主防災組織を整え、平時からコミュニケーションを図っておく」(25.8%)、「個人、家族で平時から避難場所などを確認しておく」(14.8%)の順となっています。



※市は、砂川の改修、建築物の耐震化や避難所の指定など、地域防災機能を強化し災害に強いまちづくりを行う

居住地域別でみると、赤坂地域小学校区や山陽小学校区で「市は、砂川の改修、建築物の耐震化や避難所の指定など、地域防災機能を強化し災害に強いまちづくりを行う」、山陽東小学校区で「地域内で自主防災組織を整え、平時からコミュニケーションを図っておく」の割合が他の地域に比べて高くなっています。

性別でみると、男性で「地域内で自主防災組織を整え、平時からコミュニケーションを図っておく」、女性で「市は、砂川の改修、建築物の耐震化や避難所の指定など、地域防災機能を強化し災害に強いまちづくりを行う」の割合がやや高くなっています。

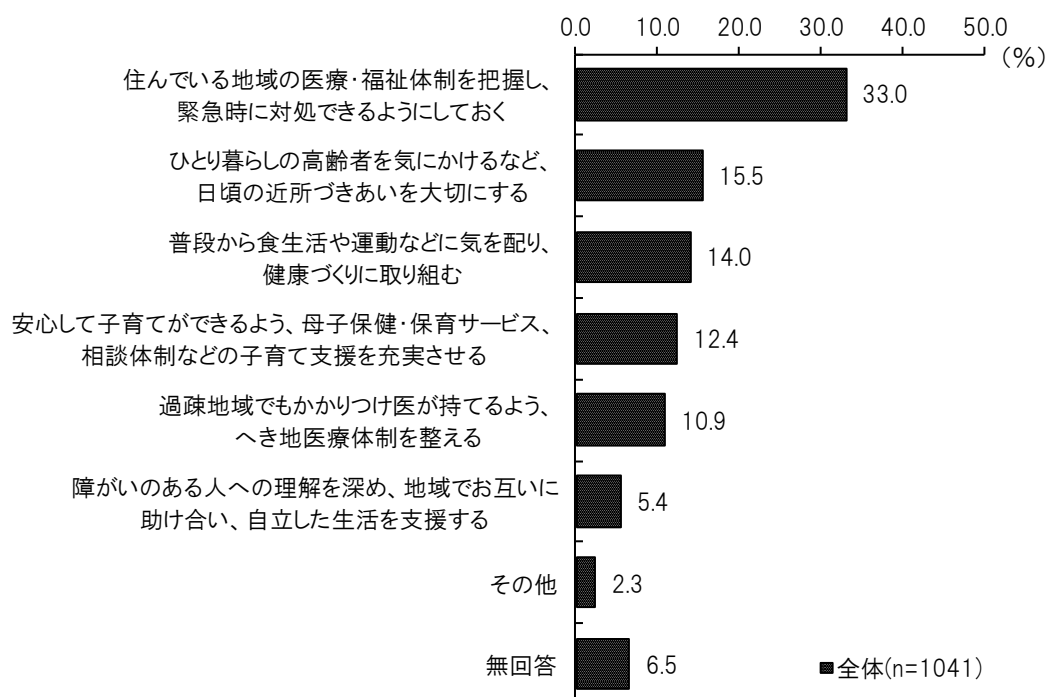
年齢別でみると、29歳以下や40歳代で「市は、砂川の改修、建築物の耐震化や避難所の指定など、地域防災機能を強化し災害に強いまちづくりを行う」、30歳代で「個人、家族又は職場でラジオ、水などの非常用持ち出し品を用意しておく」、50歳代で「地域内で自主防災組織を整え、平時からコミュニケーションを図っておく」の割合が他の年齢層に比べてそれぞれ高くなっています。

単位(%)		強い地域は、まちづくりを強化し、災害に強いまちづくりを行う	地域内で自主防災組織を整え、平時からコミュニケーションを図っておく	個人、家族又は職場でラジオ、水などの非常用持ち出し品を用意しておく	市は、砂川の改修、建築物の耐震化や避難所の指定など、地域防災機能を強化し災害に強いまちづくりを行う	市は、砂川の改修、建築物の耐震化や避難所の指定など、地域防災機能を強化し災害に強いまちづくりを行う	その他
全体(n=427)		33.7	25.8	14.8	9.6	7.7	1.6
居住地域別	山陽小学校区(n=96)	46.9	25.0	11.5	7.3	3.1	1.0
	山陽西小学校区(n=53)	26.4	18.9	18.9	11.3	17.0	0.0
	山陽東小学校区(n=47)	25.5	42.6	10.6	8.5	8.5	2.1
	山陽北小学校区(n=56)	23.2	26.8	19.6	10.7	8.9	1.8
	桜が丘小学校区(n=39)	28.2	20.5	12.8	17.9	10.3	0.0
	赤坂地域小学校区(n=42)	47.6	19.0	14.3	2.4	7.1	2.4
	熊山地域小学校区(n=51)	35.3	27.5	9.8	11.8	5.9	3.9
	吉井地域小学校区(n=29)	17.2	34.5	24.1	3.4	6.9	3.4
性別	男性(n=177)	29.9	30.5	14.1	11.9	6.8	2.8
	女性(n=245)	37.1	22.0	15.1	8.2	8.6	0.8
年齢別	29歳以下(n=30)	50.0	16.7	20.0	0.0	6.7	0.0
	30歳代(n=44)	31.8	13.6	13.6	11.4	20.5	2.3
	40歳代(n=43)	48.8	16.3	7.0	9.3	9.3	0.0
	50歳代(n=76)	32.9	36.8	10.5	10.5	1.3	5.3
	60歳代(n=109)	38.5	27.5	13.8	7.3	6.4	0.9
	70歳以上(n=122)	22.1	27.0	19.7	13.1	8.2	0.8

7. 保健、医療、福祉が充実したまちづくりに必要な取り組み

問 21-4 問 20 で「4. 保健、医療、福祉が充実した安心したまち」を選択された方にお聞きします。このようなまちにしていくなめには、どのような取り組みが必要だと思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。

保健、医療、福祉が充実したまちづくりに必要な取り組みについては、「住んでいる地域の医療・福祉体制を把握し、緊急時に対処できるようにしておく」が33.0%と最も高く、次いで「ひとり暮らしの高齢者を気にかけるなど、日頃の近所づきあいを大切にする」(15.5%)、「普段から食生活や運動などに気を配り、健康づくりに取り組む」(14.0%)、「安心して子育てができるよう、母子保健・保育サービス、相談体制などの子育て支援を充実させる」(12.4%)の順となっています。



居住地域別でみると、山陽西小学校区で「ひとり暮らしの高齢者を気にかけるなど、日頃の近所づきあいを大切にする」、山陽北小学校区で「安心して子育てができるよう、母子保健・保育サービス、相談体制などの子育て支援を充実させる」、桜が丘小学校区で「普段から食生活や運動などに気を配り、健康づくりに取り組む」の割合が他の地域に比べてやや高くなっています。

性別でみると、女性で「住んでいる地域の医療・福祉体制を把握し、緊急時に対処できるようにしておく」の割合が男性に比べやや高くなっています。

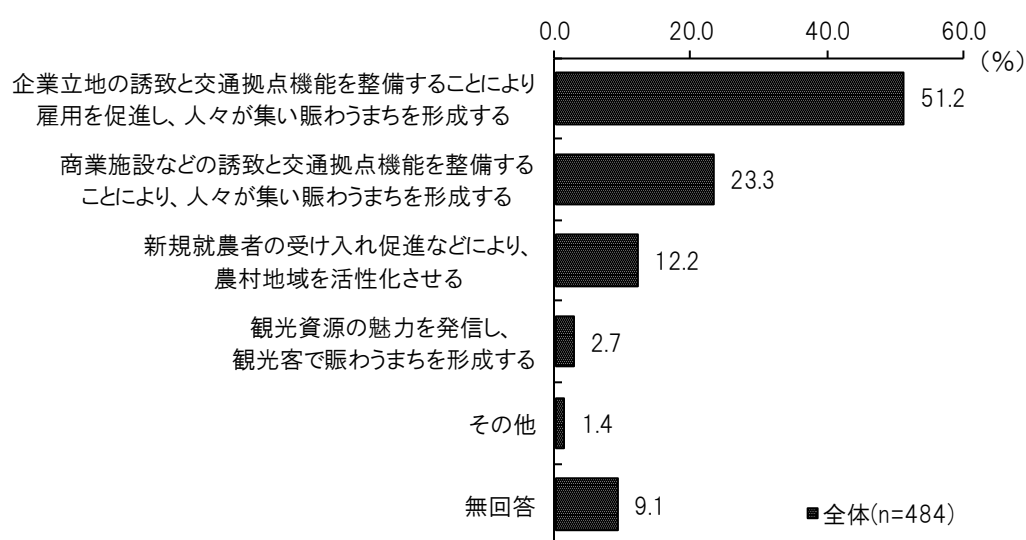
年齢別でみると、30 歳代で「安心して子育てができるよう、母子保健・保育サービス、相談体制などの子育て支援を充実させる」、60 歳代で「普段から食生活や運動などに気を配り、健康づくりに取り組む」の割合が他の年齢層に比べてそれぞれ高くなっています。

単位(%)		で体住 き制ん るをで よ把 う握 にし 域の お急 く時 に・ 対福 処祉	あかひ いけと るる 大な 暮ら し 日 頃 の 高 齢 者 を づ き に	組気普 むを段 配か りら 、食 健生 康活 づや く運 動に な ど り に	援スう安 を、心 充相母 実談子 させ体保 せるな・ ど保 の育 子サ 育ー てビ 支よ	を持過 整疎 える地 域 う 、 も へ か か り 医 療 け 体 医 制 が	いめ障 、、 自地い 立域の しである たおる 生互人 活いへ をにの 支助理 けけ解 す合を る深	そ の 他
全体(n=1041)		33.0	15.5	14.0	12.4	10.9	5.4	2.3
居住地域別	山陽小学校区(n=212)	34.9	13.7	15.1	13.7	4.7	6.6	2.4
	山陽西小学校区(n=138)	36.2	21.0	18.8	8.0	4.3	5.1	1.4
	山陽東小学校区(n=106)	32.1	16.0	16.0	15.1	5.7	5.7	1.9
	山陽北小学校区(n=146)	34.2	15.1	11.6	20.5	8.2	2.1	2.7
	桜が丘小学校区(n=98)	33.7	12.2	19.4	15.3	7.1	7.1	3.1
	赤坂地域小学校区(n=102)	34.3	17.6	11.8	11.8	8.8	5.9	2.9
	熊山地域小学校区(n=104)	32.7	17.3	9.6	8.7	17.3	5.8	3.8
	吉井地域小学校区(n=103)	24.3	11.7	8.7	2.9	38.8	3.9	1.0
性別	男性(n=442)	30.3	15.8	15.6	10.9	12.7	4.3	2.5
	女性(n=584)	35.1	15.4	12.5	13.7	9.2	6.3	2.2
年齢別	29歳以下(n=66)	21.2	15.2	10.6	30.3	13.6	6.1	0.0
	30歳代(n=99)	26.3	9.1	4.0	35.4	10.1	8.1	4.0
	40歳代(n=125)	25.6	16.8	8.0	23.2	12.0	9.6	0.8
	50歳代(n=163)	35.6	14.7	8.6	11.0	13.5	5.5	4.9
	60歳代(n=277)	37.5	14.1	19.5	6.5	7.6	5.4	2.2
	70歳以上(n=301)	35.2	18.6	18.3	3.0	11.6	2.7	1.7

8. 産業が盛んなまちづくりに必要な取り組み

問 21-5 問 20 で「5. 産業が盛んで賑わいと活力のあるまち」を選択された方にお聞きします。このようなまちにしていくなめには、どのような取り組みが必要だと思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。

産業が盛んなまちづくりに必要な取り組みについては、「企業立地の誘致と交通拠点機能を整備することにより雇用を促進し、人々が集い賑わうまちを形成する」が51.2%と最も高く、次いで「商業施設などの誘致と交通拠点機能を整備することにより、人々が集い賑わうまちを形成する」(23.3%)、「新規就農者の受け入れ促進などにより、農村地域を活性化させる」(12.2%)の順となっています。



居住地域別でみると、山陽北小学校区で「企業立地の誘致と交通拠点機能を整備することにより雇用を促進し、人々が集い賑わうまちを形成する」の割合が他の地域に比べてやや高くなっています。

性別でみると、男性で「企業立地の誘致と交通拠点機能を整備することにより雇用を促進し、人々が集い賑わうまちを形成する」の割合が女性に比べて高くなっています。

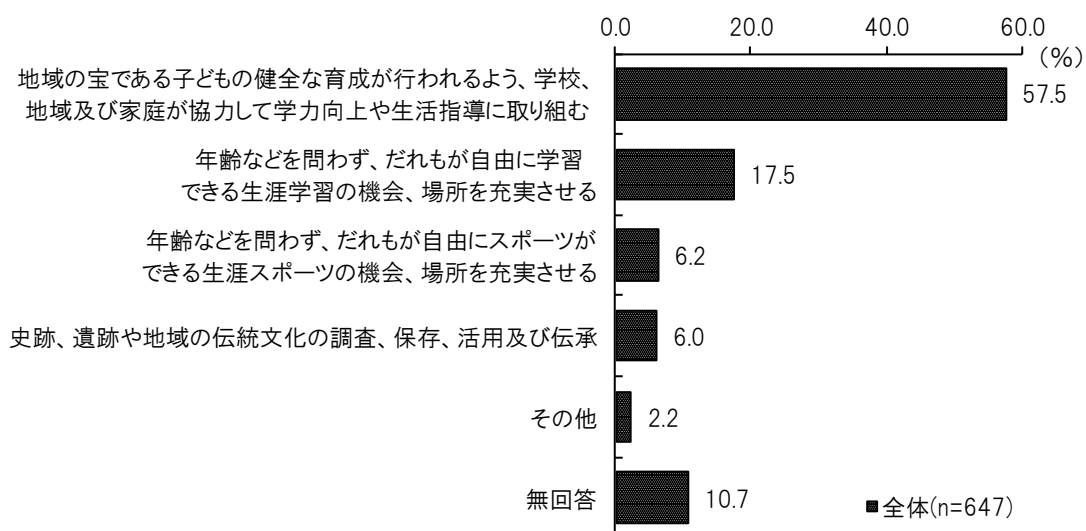
年齢別でみると、30歳代で「商業施設などの誘致と交通拠点機能を整備することにより、人々が集い賑わうまちを形成する」の割合が他の年齢層に比べて高くなっています。

単位(%)		雇用を促進する人々の集い	企業立地の整備による交通拠点の形成	商業施設の整備による交通拠点の形成	新たな就業場の創出による農村地域の活性化	観光客の増加による観光資源の魅力を発信	その他
全体(n=484)		51.2	23.3	12.2	2.7	1.4	
居住地域別	山陽小学校区(n=121)	54.5	19.8	11.6	4.1	0.0	
	山陽西小学校区(n=53)	50.9	28.3	7.5	0.0	3.8	
	山陽東小学校区(n=44)	43.2	27.3	13.6	2.3	0.0	
	山陽北小学校区(n=57)	57.9	29.8	5.3	1.8	1.8	
	桜が丘小学校区(n=41)	53.7	24.4	17.1	0.0	0.0	
	赤坂地域小学校区(n=54)	51.9	20.4	14.8	1.9	0.0	
	熊山地域小学校区(n=46)	45.7	19.6	15.2	6.5	4.3	
	吉井地域小学校区(n=54)	51.9	20.4	11.1	3.7	3.7	
性別	男性(n=230)	57.8	20.4	9.6	1.7	2.2	
	女性(n=244)	45.1	25.8	14.8	3.7	0.8	
年齢別	29歳以下(n=29)	31.0	37.9	17.2	3.4	3.4	
	30歳代(n=40)	35.0	42.5	20.0	0.0	0.0	
	40歳代(n=70)	52.9	24.3	10.0	4.3	2.9	
	50歳代(n=83)	59.0	16.9	8.4	6.0	1.2	
	60歳代(n=128)	53.1	26.6	9.4	2.3	0.8	
	70歳以上(n=127)	54.3	13.4	15.7	0.8	1.6	

9. 教育、文化を大切にしたいまちづくりに必要な取り組み

問 21-6 問 20 で「6. 教育、文化を大切にしたい心豊かなまち」を選択された方にお聞きします。このようなまちにしていくなめには、どのような取り組みが必要だと思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。

教育、文化を大切にしたいまちづくりに必要な取り組みについては、「地域の宝である子どもの健全な育成が行われるよう、学校、地域及び家庭が協力して学力向上や生活指導に取り組む」が57.5%と最も高く、次いで「年齢などを問わず、だれもが自由に学習できる生涯学習の機会、場所を充実させる」(17.5%)、「年齢などを問わず、だれもが自由にスポーツができる生涯スポーツの機会、場所を充実させる」(6.2%)、「史跡、遺跡や地域の伝統文化の調査、保存、活用及び伝承」(6.0%)の順となっています。



居住地域別でみると、桜が丘小学校区で「地域の宝である子どもの健全な育成が行われるよう、学校、地域及び家庭が協力して学力向上や生活指導に取り組む」の割合が他の地域に比べて高くなっています。

性別でみると、女性で「地域の宝である子どもの健全な育成が行われるよう、学校、地域及び家庭が協力して学力向上や生活指導に取り組む」の割合が男性に比べてやや高くなっています。

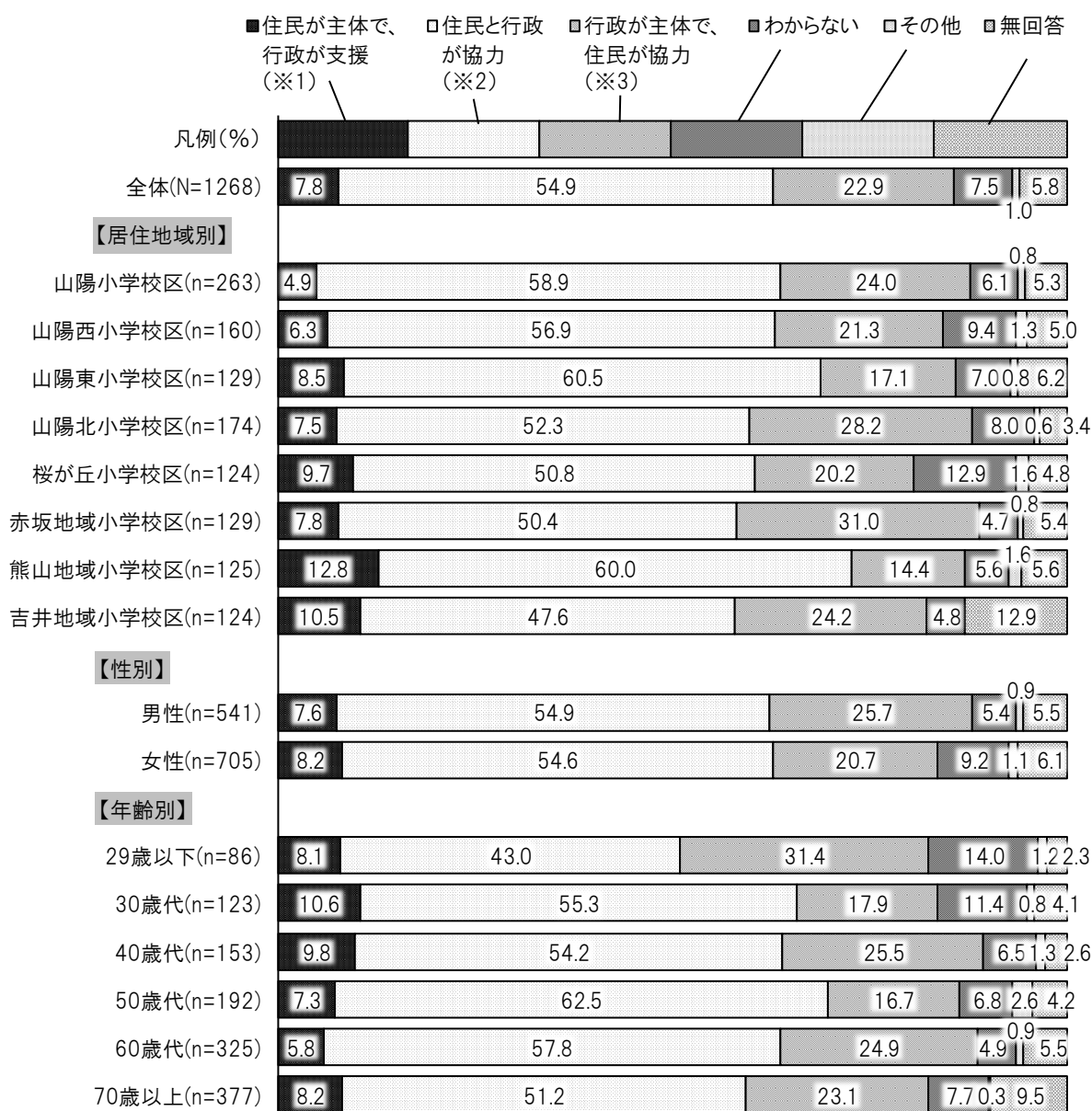
年齢別でみると、30歳代で「地域の宝である子どもの健全な育成が行われるよう、学校、地域及び家庭が協力して学力向上や生活指導に取り組む」の割合が他の年齢層に比べて高くなっています。

単位(%)		地域育成の宝である子どもの健全な育成	地域生活指導に協力する学力向上	地域生活指導に協力する学力向上	地域生活指導に協力する学力向上	地域生活指導に協力する学力向上	地域生活指導に協力する学力向上
		地域生活指導に協力する学力向上	地域生活指導に協力する学力向上	地域生活指導に協力する学力向上	地域生活指導に協力する学力向上	地域生活指導に協力する学力向上	地域生活指導に協力する学力向上
全体(n=647)		57.5	17.5	6.2	6.0	2.2	
居住地域別	山陽小学校区(n=140)	56.4	15.0	5.7	10.7	0.7	
	山陽西小学校区(n=93)	57.0	19.4	9.7	1.1	1.1	
	山陽東小学校区(n=71)	59.2	19.7	5.6	2.8	2.8	
	山陽北小学校区(n=88)	55.7	17.0	5.7	5.7	4.5	
	桜が丘小学校区(n=60)	70.0	6.7	8.3	5.0	0.0	
	赤坂地域小学校区(n=61)	57.4	19.7	3.3	8.2	1.6	
	熊山地域小学校区(n=63)	54.0	20.6	4.8	7.9	3.2	
	吉井地域小学校区(n=53)	56.6	18.9	3.8	5.7	3.8	
性別	男性(n=268)	53.0	17.5	7.8	9.0	2.2	
	女性(n=372)	61.0	17.5	4.8	4.0	1.9	
年齢別	29歳以下(n=44)	68.2	11.4	11.4	2.3	2.3	
	30歳代(n=82)	78.0	7.3	3.7	1.2	3.7	
	40歳代(n=93)	63.4	17.2	6.5	4.3	5.4	
	50歳代(n=101)	55.4	22.8	5.0	8.9	0.0	
	60歳代(n=153)	51.6	19.0	7.8	5.2	1.3	
	70歳以上(n=170)	48.2	20.0	5.3	8.8	1.8	

10. 赤磐市を良くするためのまちづくりを進める方法

問 22 赤磐市を良くするためのまちづくりを進める方法として、どのようなやり方が望ましいと思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。

赤磐市を良くするためのまちづくりを進める方法については、「住民と行政が役割を分担しながら協力して取り組む（市民との対話を重視した行政運営）」が 54.9%と最も高く、次いで「行政が主体となって取り組み、住民は理解して協力する（行政のリーダーシップの発揮）」（22.9%）、「住民が主体となって取り組み、行政はその取り組みを支援する（市民主体のまちづくりの推進）」（7.8%）の順となっています。



※1 住民が主体となって取り組み、行政はその取り組みを支援する（市民主体のまちづくりの推進）

※2 住民と行政が役割を分担しながら協力して取り組む（市民との対話を重視した行政運営）

※3 行政が主体となって取り組み、住民は理解して協力する（行政のリーダーシップの発揮）

居住地域別でみると、山陽東小学校区や熊山地域小学校区で「住民と行政が役割を分担しながら協力して取り組む（市民との対話を重視した行政運営）」の割合が他の地域に比べてやや高くなっています。

性別では大きな差は目立ちませんが、年齢別でみると、29 歳以下で「行政が主体となって取り組み、住民は理解して協力する（行政のリーダーシップの発揮）」、50 歳代で「住民と行政が役割を分担しながら協力して取り組む（市民との対話を重視した行政運営）」の割合が他の年齢層に比べてやや高くなっています。

第2次赤磐市総合計画策定のための市民アンケート調査

赤磐市の未来のために皆さまのご意見をお聞かせください。

アンケート調査へのご協力をお願い

市民の皆さまには、日頃から市政に対して御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございます。
現在、赤磐市では、平成27年度から平成36年度を計画期間とする第2次赤磐市総合計画の策定を進めているところです。

この、第2次赤磐市総合計画は、私たちが暮らす赤磐市を将来どんなまちにしていきたいのかといった、赤磐市のまちづくり全体の方針を定めるものです。

そこで、今後のまちづくりについて市民の皆さまからご意見をいただき、その結果を計画の策定に活かすため、この度アンケート調査を実施することとしました。

アンケート調査は、市内にお住まいの18歳以上の方の中から、2,800人を無作為に選ばせていただき、お願いするものです。

御回答いただいた内容は、統計的に処理し、プライバシーの保護はもとより、他の目的に利用することは一切ございません。

お忙しいところ大変恐縮ですが、本調査の趣旨を御理解の上、御協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。



平成26年6月

赤磐市長 友實 武則

<調査票の記入について>

1. アンケート調査票は、封筒のあて名のご本人様自らがご回答ください。
(ご本人様が記入できない場合は、ご本人様と相談の上、ご家族の方が記入してください。)
2. 回答にあたっては、設問で特に注意書きのない場合は、該当する選択肢を1つ選んで、番号に○印をつけてください。ただし、「その他」を選択する場合は、(カッコ)内に内容を具体的にご記入ください。
設問に注意書きがある場合は、その指示に従って回答してください。
3. ご記入いただいた調査票は、平成26年7月25日(金)までに同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、郵便ポストに投函してください。
4. このアンケートについてご質問がありましたら、下記までお問い合わせください。

赤磐市役所総合政策部秘書企画課 政策企画班

TEL : 086-955-2692(直通) FAX : 086-955-1261

Eメール : kikaku@city.akaiwa.lg.jp

あなた自身のことについておたずねします。

問1 あなたの性別を教えてください。

1. 男性

2. 女性

問2 あなたの年齢を教えてください。

1. 18～19 歳

2. 20～24 歳

3. 25～29 歳

4. 30～34 歳

5. 35～39 歳

6. 40～44 歳

7. 45～49 歳

8. 50～54 歳

9. 55～59 歳

10. 60～64 歳

11. 65～69 歳

12. 70～74 歳

13. 75～79 歳

14. 80 歳以上

問3 あなたがお住まいの地域を教えてください。

赤磐市（ ）

※字名または〇〇丁目まで記入してください。

例：赤磐市下市、赤磐市桜が丘東〇丁目

問4 あなたの職業を教えてください。

1. 会社（団体）役員

2. 会社（団体）職員

3. 公務員・教職員

4. パート・アルバイト

5. 派遣社員

6. 自営業等

7. 農林業

8. 学生

9. 専業主婦・主夫

10. 無職

11. その他（ ）

問5 あなたが就業・就学している地域を教えてください。

1. 赤磐市（旧山陽町）

2. 赤磐市（旧赤坂町）

3. 赤磐市（旧熊山町）

4. 赤磐市（旧吉井町）

5. 岡山市（瀬戸地域）

6. 岡山市（その他地域）

7. その他の地域

8. 就業・就学していない

問6 あなたのお住まいを教えてください。

1. 一戸建持家

2. 一戸建借家

3. 分譲マンション

4. 賃貸マンション・アパート

5. 公営住宅

6. 社宅・寮

7. その他（ ）

問7 あなたのご家族の構成を教えてください。

1. 単身世帯

2. 一世代世帯（夫婦のみ）

3. 二世代世帯（親と子）

4. 三世代世帯（親と子と孫）

5. その他（ ）

問 8 あなたは赤磐市に住んで合計何年になりますか。

- | | | |
|------------------|------------------|-----------------|
| 1. 3 年未満 | 2. 3 年以上 5 年未満 | 3. 5 年以上 10 年未満 |
| 4. 10 年以上 20 年未満 | 5. 20 年以上 30 年未満 | 6. 30 年以上 |

問 9 あなたは、生まれたときからずっと赤磐市に住んでいますか。

- | |
|------------------------------------|
| 1. 生まれたときからずっと赤磐市に住んでいる |
| 2. 生まれてから今までの間に赤磐市に移り住んだ（Uターンを含む。） |

問 10 問 9 で「2. 生まれてから今までの間に赤磐市に移り住んだ」を選択された方にお聞きします。あなたが赤磐市に移り住んだきっかけは何ですか。

- | | | |
|---------------|----------------|--------------------|
| 1. 就職・就学のため | 2. 自身の転勤・転職のため | 3. 親の転勤・転職のため |
| 4. 住宅を住みかえたため | 5. 結婚のため | 6. 親や子どもと同居・近居するため |
| 7. その他（ ） | | |

問 11 問 9 で「2. 生まれてから今までの間に赤磐市に移り住んだ」を選択された方にお聞きします。お住まいとして赤磐市を選ぶ際に考慮したことは何ですか。あなたの考えに最も近いものを 3 つ選び、順位をつけて記入してください。

順位	1 位	2 位	3 位
右の回答欄に、選択肢の番号を記入してください。			

- | |
|--|
| 1. 会社・学校が近くにあったため
2. 手頃な価格・賃料の住宅があったため
3. 通学・通勤の公共交通の便がよかったため
4. 通学・通勤の道路網が便利であったため
5. 買い物などが便利のため
6. 高齢者・障がい者への福祉が充実していたため
7. 子育て環境が充実していたため
8. 教育環境がよかったため
9. 緑や農地、自然が多く環境がよかったため
10. 下水道や公園などの都市基盤が整っていたため
11. 自然災害が少ないため
12. その他（ ）
13. 特になし |
|--|

赤磐市のまちについておたずねします。

問 12 あなたは、赤磐市の情報を主にどこから得ていますか。

- | | | |
|-----------------|-------------|------------|
| 1. 市の広報紙・パンフレット | 2. 市のホームページ | 3. 新聞 |
| 4. テレビ・ラジオ | 5. 人づて | 6. その他 () |

問 13 あなたは、赤磐市に愛着を感じますか。

- | | | |
|---------------|-------------|--------------|
| 1. 愛着を感じる | 2. やや愛着を感じる | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり愛着を感じない | 5. 愛着を感じない | |

問 14 あなたは、赤磐市は暮らしやすいまちだと思いますか。

- | | | |
|-------------------|-------------------|--------------|
| 1. 暮らしやすい | 2. どちらかといえば暮らしやすい | 3. どちらともいえない |
| 4. どちらかといえば暮らしにくい | 5. 暮らしにくい | |

問 15 あなたは、これからも赤磐市に住み続けたいと思いますか。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 住み続けたい | 2. どちらかといえば住み続けたい |
| 3. どちらかといえば住みたくない | 4. 住みたくない |

問 16 問 15 で「4. 住みたくない」を選択された方にお聞きします。あなたが赤磐市に住みたくない主な理由は何ですか。あなたの考えに最も近いものを3つ選び、順位をつけて記入してください。

順位	1 位	2 位	3 位
右の回答欄に、選択肢の番号を記入してください。			

- | |
|---|
| 1. 道路事情や交通の便が悪い
2. 日常の買い物が不便
3. 保健・医療分野のサービスや施設が不十分
4. 市内に適当な職場がない
5. 地域の行事や近所づきあいが面倒
6. スポーツ・レジャー施設や文化施設が不十分
7. 福祉分野のサービスや施設が不十分
8. 子どもの保育・教育のことが心配
9. 自然の減少や環境の悪化が進んでいる
10. 上下水道等の生活環境施設整備が遅れている
11. 住環境の整備が遅れている
12. 消防、防災、防犯体制に不安を感じる
13. その他 () |
|---|

赤磐市の取り組みについておたずねします。

問 17-1 赤磐市の取り組み状況または地域の現状に対する満足度をお聞きます。

下記の項目ごとに、「5（満足）」～「1（不満）」のうち、あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。

問 17-2 今後、赤磐市が重点的・優先的に取り組んでいく必要があるかをお聞きます。

下記の項目ごとに、「5（重要）」～「1（重要でない）」のうち、あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。

項目		現在の満足度(問 17-1)					今後の重要度(問 17-2)				
		満足	やや満足	わからない	やや不満	不満	重要	やや重要	わからない	あまり重要ではない	重要ではない
市民生活											
1	(市民主体のまちづくりの推進) 市民活動や地域活動などにより、市民がまちづくり(市政)に参画できていますか。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2	(市民主体のまちづくりの推進) 広報紙やホームページなどにより、赤磐市の情報は入手しやすいですか。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3	(地域コミュニティの育成) 地域のコミュニティ活動は活発ですか。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4	(人権尊重社会の形成) 人権を尊重するまちですか。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
5	(男女共同参画社会の形成) 性別に関係なく、個性や能力が発揮できるまちですか。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
6	(交流活動の推進) 国内の他地域(他県の団体等)と交流できる機会は十分ですか。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
7	(交流活動の推進) 国際交流できる機会は十分ですか。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
8	(消費者対策の充実) 消費者保護のため、適正な情報提供等が十分なされていますか。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

項目		現在の満足度 (問 17-1)					今後の重要度 (問 17-2)				
		満足	やや満足	わからない	やや不満	不満	重要	やや重要	わからない	あまり重要ではない	重要ではない
生活環境											
9	(環境施策の推進) 地球温暖化や水質保全などの環境課題に対して、十分な対策がとられていますか。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
10	(循環型社会の構築) ごみの分別収集など、循環型社会に向けた取り組みが充実していますか。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
11	(道路・交通ネットワークの整備) 道路交通網は充実していますか。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
12	(道路・交通ネットワークの整備) 公共交通（バス・電車等）は充実していますか。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
13	(上下水道の整備) 下水道は十分整備されていますか。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
14	(住宅・市街地の整備) 住みやすく、利便性が良い良好な市街地形成がなされていますか。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
15	(交通安全・防犯体制) 交通事故や犯罪の少ない安全・安心なまちですか。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
16	(消防・防災の充実) 災害の発生に備えた体制が十分に築かれていますか。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
17	(情報ネットワークの整備) I T化により、市への手続きは便利になっていますか。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
18	(公園・緑地・水辺の整備) 防災機能を備えた公園は充実していますか。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
19	(景観の保全・整備) 景観に配慮したまちになっていますか。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

項目		現在の満足度 (問 17-1)					今後の重要度 (問 17-2)					
		満足	やや満足	わからない	やや不満	不満	重要	やや重要	わからない	あまり重要ではない	重要ではない	
保健・医療・福祉												
20	(保健・医療の充実) 健康教室など、健康づくりのための取り組みが充実していますか。	5	4	3	2	1		5	4	3	2	1
21	(保健・医療の充実) 医療体制が充実していますか。	5	4	3	2	1		5	4	3	2	1
22	(地域福祉の充実) 地域での支えあいや助け合い等の地域福祉が浸透していますか。	5	4	3	2	1		5	4	3	2	1
23	(高齢者福祉の充実) 高齢になっても安心して暮らせる、福祉が充実したまちですか。	5	4	3	2	1		5	4	3	2	1
24	(障がい者福祉の充実) 障がいのある人に十分なサービスが提供されていますか。	5	4	3	2	1		5	4	3	2	1
25	(子育て支援の充実) 子育て支援体制は充実していますか。	5	4	3	2	1		5	4	3	2	1
26	(社会保障の充実) 自立を支援し、自立を促進させる取り組みは十分なされていますか。	5	4	3	2	1		5	4	3	2	1
産業振興												
27	(産業振興) 赤磐市の農林業は活気がありますか。	5	4	3	2	1		5	4	3	2	1
28	(産業振興) 赤磐市の工業は活気がありますか。	5	4	3	2	1		5	4	3	2	1
29	(産業振興) 赤磐市の商業・観光業は活気がありますか。	5	4	3	2	1		5	4	3	2	1
30	(雇用・勤労者対策の充実) 赤磐市には雇用の場が十分ありますか。	5	4	3	2	1		5	4	3	2	1

項目		現在の満足度 (問 17-1)						今後の重要度 (問 17-2)				
		満足	やや満足	わからない	やや不満	不満		重要	やや重要	わからない	あまり重要ではない	重要ではない
教育・文化												
31	(生涯学習社会の確立) 生涯にわたり学習できる機会に恵まれていますか。	5	4	3	2	1		5	4	3	2	1
32	(生涯スポーツの振興) スポーツを楽しむ機会に恵まれていますか。	5	4	3	2	1		5	4	3	2	1
33	(学校教育の充実) 子どもたちは、充実した教育を受けられていますか。	5	4	3	2	1		5	4	3	2	1
34	(青少年の健全育成) 子どもたちが健全に成長できる環境ですか。	5	4	3	2	1		5	4	3	2	1
35	(歴史・文化の保存と活用) 史跡や伝統文化の保存・継承がされていますか。	5	4	3	2	1		5	4	3	2	1
36	(歴史・文化の保存と活用) 歴史・文化を活用した市民活動や地域づくりが活発ですか。	5	4	3	2	1		5	4	3	2	1
行財政												
37	(健全財政の推進) 赤磐市は健全な財政運営ができていると思いますか。	5	4	3	2	1		5	4	3	2	1
38	(健全財政の推進) 赤磐市は行財政改革が進んでいると思いますか。	5	4	3	2	1		5	4	3	2	1
39	(地域経営の推進) 市民に開かれた、わかりやすい行政経営ができていると思いますか。	5	4	3	2	1		5	4	3	2	1

赤磐市の今後のまちづくりについておたずねします。

問 18 あなたは、市民主体の活動に参加していますか。あてはまるものすべてを選んでください。

1. 地区の自治活動に参加している
2. 福祉に関わる活動に参加している
3. 教育・文化に関わる活動に参加している
4. 環境（自然保全・ごみ対策など）に関わる活動に参加している
5. 防災・防犯・交通安全に関わる活動に参加している
6. 地域のまちづくりに関わる活動に参加している
7. その他の活動に参加している
8. 現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい
9. 現在参加しておらず、今後も参加したいと思わない

問 19 今後赤磐市が目指すまちには、どのようなキーワードがふさわしいと思いますか。あ
 なたの考えに最も近いものを3つ選び、順位をつけて記入してください。

順位	1 位	2 位	3 位
右の回答欄に、選択肢の番号を記入してください。			
1. いきいき 2. きらり 3. すこやか 4. あんしん 5. 活力 6. 発展 7. 賑わい 8. 豊か 9. やすらぎ 10. 快適 11. 便利 12. 交流 13. 創造 14. 挑戦 15. 躍動 16. 健全 17. 協働 18. 自立 19. 元気 20. 笑顔 21. 個性 22. 憩い 23. 誇り 24. 育み 25. 親しみ 26. 楽しさ 27. あたたか 28. やさしさ 29. ふれあい 30. つながり 31. その他（ ）			

問 20 あなたは、これからの赤磐市をどのようなまちにしていきたいと思いますか。あなたの考えに最も近いものを3つ選び、順位をつけて記入してください。

順位	1 位	2 位	3 位
右の回答欄に、選択肢の番号を記入してください。			

- 住民のまちづくり活動への参画が活発な一体感と和のあるまち
- 自然と共生した環境にやさしいまち
- 防災体制が充実した安全なまち
- 保健、医療、福祉が充実した安心したまち
- 産業が盛んで賑わいと活力のあるまち
- 教育、文化を大切にした心豊かなまち
- その他（ ）
- 特になし

問 21-1 問 20 で「1. 住民のまちづくり活動への参画が活発な一体感と和のあるまち」を選択された方にお聞きします。このようなまちにしていくなめには、どのような取り組みが必要だと思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。

1. 市民一人一人が市民活動や地域活動に積極的に参加する
2. 市民一人一人が市政に関心を持ち、積極的に市政に参画する
3. 地域で市民活動ができるよう、拠点（施設の会議室など）を市が提供する
4. 市のホームページや広報紙を活用して、赤磐市と市民が情報を共有する
5. 市が事業の提案を公募するなど、市民が市政に参画しやすい環境を整える
6. その他（ ）

問 21-2 問 20 で「2. 自然と共生した環境にやさしいまち」を選択された方にお聞きします。このようなまちにしていくなめには、どのような取り組みが必要だと思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。

1. 環境に優しい石けんを使うなど、生活排水に気を配る
2. エコバッグを使うなど、レジ袋や過剰包装などのごみを削減する
3. 企業による環境保護活動（植樹活動、環境に優しい製品を製造するなど）
4. 市がごみの分別収集を啓発・推進し、ごみのリサイクル率を向上させる
5. 市が水質保全や自然保護などの啓発活動や指導などを行い、環境対策を推進する
6. その他（ ）

問 21-3 問 20 で「3. 防災体制が充実した安全なまち」を選択された方にお聞きします。このようなまちにしていくなめには、どのような取り組みが必要だと思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。

1. 個人、家族又は職場でラジオ、水などの非常用持ち出し品を用意しておく
2. 個人、家族で平時から避難場所などを確認しておく
3. 地域内で自主防災組織を整え、平時からコミュニケーションを図っておく
4. 市は、砂川の改修、建築物の耐震化や避難所の指定など、地域防災機能を強化し災害に強いまちづくりを行う
5. 市は災害時の対応をマニュアル化し、定期的に訓練を行う
6. その他（ ）

問 21-4 問 20 で「4. 保健、医療、福祉が充実した安心したまち」を選択された方にお聞きします。このようなまちにしていくなめには、どのような取り組みが必要だと思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。

1. 普段から食生活や運動などに気を配り、健康づくりに取り組む
2. 住んでいる地域の医療・福祉体制を把握し、緊急時に対処できるようにしておく
3. ひとり暮らしの高齢者を気にかけるなど、日頃の近所づきあいを大切にする
4. 障がいのある人への理解を深め、地域でお互いに助け合い、自立した生活を支援する
5. 過疎地域でもかかりつけ医が持てるよう、へき地医療体制を整える
6. 安心して子育てができるよう、母子保健・保育サービス、相談体制などの子育て支援を充実させる
7. その他（ ）

問 21-5 問 20 で「5. 産業が盛んで賑わいと活力のあるまち」を選択された方にお聞きします。このようなまちにしていくなめには、どのような取り組みが必要だと思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。

1. 商業施設などの誘致と交通拠点機能を整備することにより、人々が集い賑わうまちを形成する
2. 企業立地の誘致と交通拠点機能を整備することにより雇用を促進し、人々が集い賑わうまちを形成する
3. 新規就農者の受け入れ促進などにより、農村地域を活性化させる
4. 観光資源の魅力を発信し、観光客で賑わうまちを形成する
5. その他（ ）

問 21-6 問 20 で「6. 教育、文化を大切にした心豊かなまち」を選択された方にお聞きします。このようなまちにしていくなめには、どのような取り組みが必要だと思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。

1. 地域の宝である子どもの健全な育成が行われるよう、学校、地域及び家庭が協力して学力向上や生活指導に取り組む
2. 年齢などを問わず、だれもが自由に学習できる生涯学習の機会、場所を充実させる
3. 年齢などを問わず、だれもが自由にスポーツができる生涯スポーツの機会、場所を充実させる
4. 史跡、遺跡や地域の伝統文化の調査、保存、活用及び伝承
5. その他（ ）

問 22 赤磐市を良くするためのまちづくりを進める方法として、どのようなやり方が望ましいと思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。

1. 住民が主体となって取り組み、行政はその取り組みを支援する（市民主体のまちづくりの推進）
2. 住民と行政が役割を分担しながら協力して取り組む（市民との対話を重視した行政運営）
3. 行政が主体となって取り組み、住民は理解して協力する（行政のリーダーシップの発揮）
4. わからない
5. その他（ ）

赤磐市のまちづくりについて、ご提案などがあればご自由にお書きください。

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。記入漏れがないか、もう一度御確認いただき、同封の返信用封筒にアンケート用紙を入れて、切手を貼らずにポストに投函してください。